

### 3 日ごろの食生活の状況

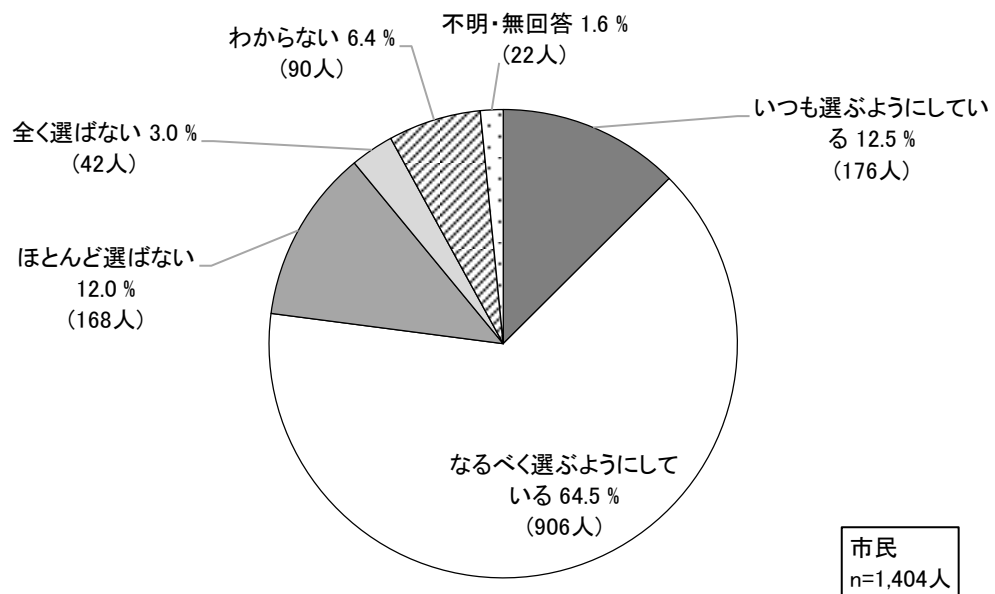
#### (1) 「地産地消」の実践度

問12 あなたは食材を選ぶ際に、身近な場所であつたものを選ぶようになっていますか。  
(〇は1つだけ)

8割弱が「いつも選ぶようになっている」「なるべく選ぶようになっている」と回答

「いつも選ぶようになっている」(12.5%)、「なるべく選ぶようになっている」(64.5%)と回答した人を合わせた割合は8割弱(77.1%)となっている。「ほとんど選ばない」(12.0%)、「全く選ばない」(3.0%)と回答した人を合わせた割合が2割弱(15.0%)で、「わからない」と回答した人は1割弱(6.4%)となっている。

図 3.1 「地産地消」の実践度



【性別・年齢別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、50歳代(82.6%)、70歳以上(81.7%)で高く、8割強となっている。一方、20歳代では「ほとんど選ばない」、「全く選ばない」を合わせた割合が比較的高く、地産地消を実践していない人が3割弱となっている。

性別では、20歳代を除いた各年代で、女性の方が男性よりも地産地消の実践度は高くなっている。

図 3.1-2 「地産地消」の実践度（年齢別・全体）

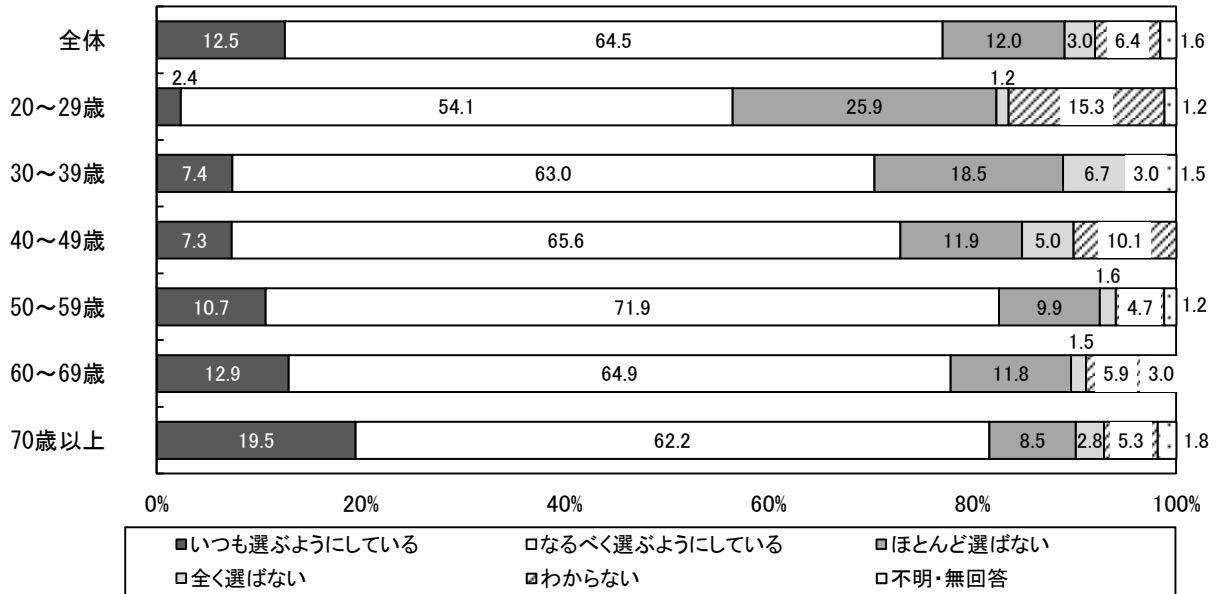
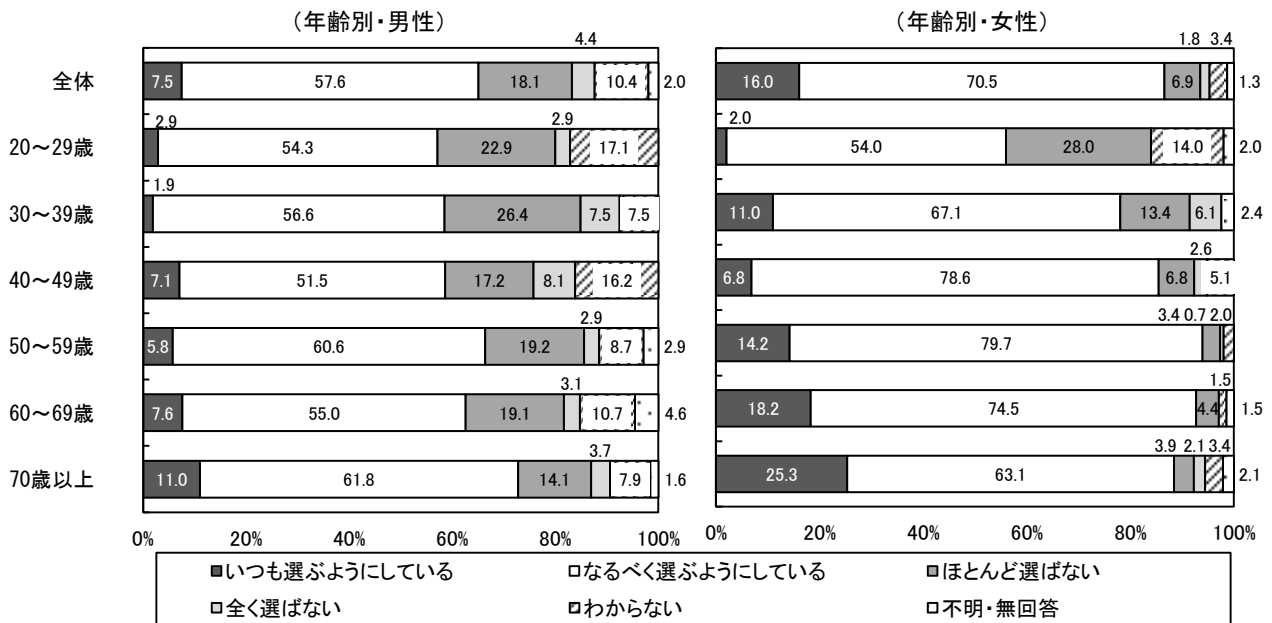


図 3.1-3 「地産地消」の実践度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

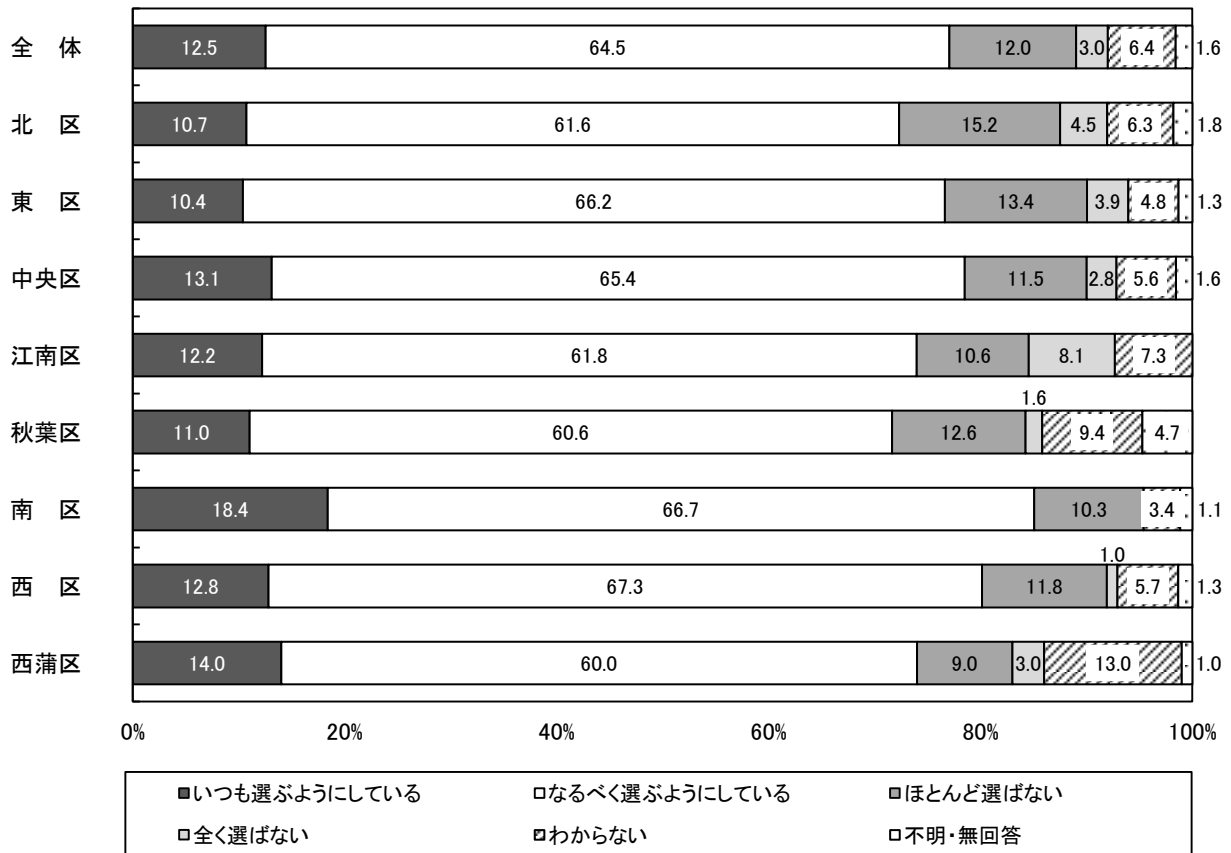
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、南区（85.1%）で高く、9割弱となっている。次いで西区（80.1%）が約8割と高い。

図 3.1-4 「地産地消」の実践度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

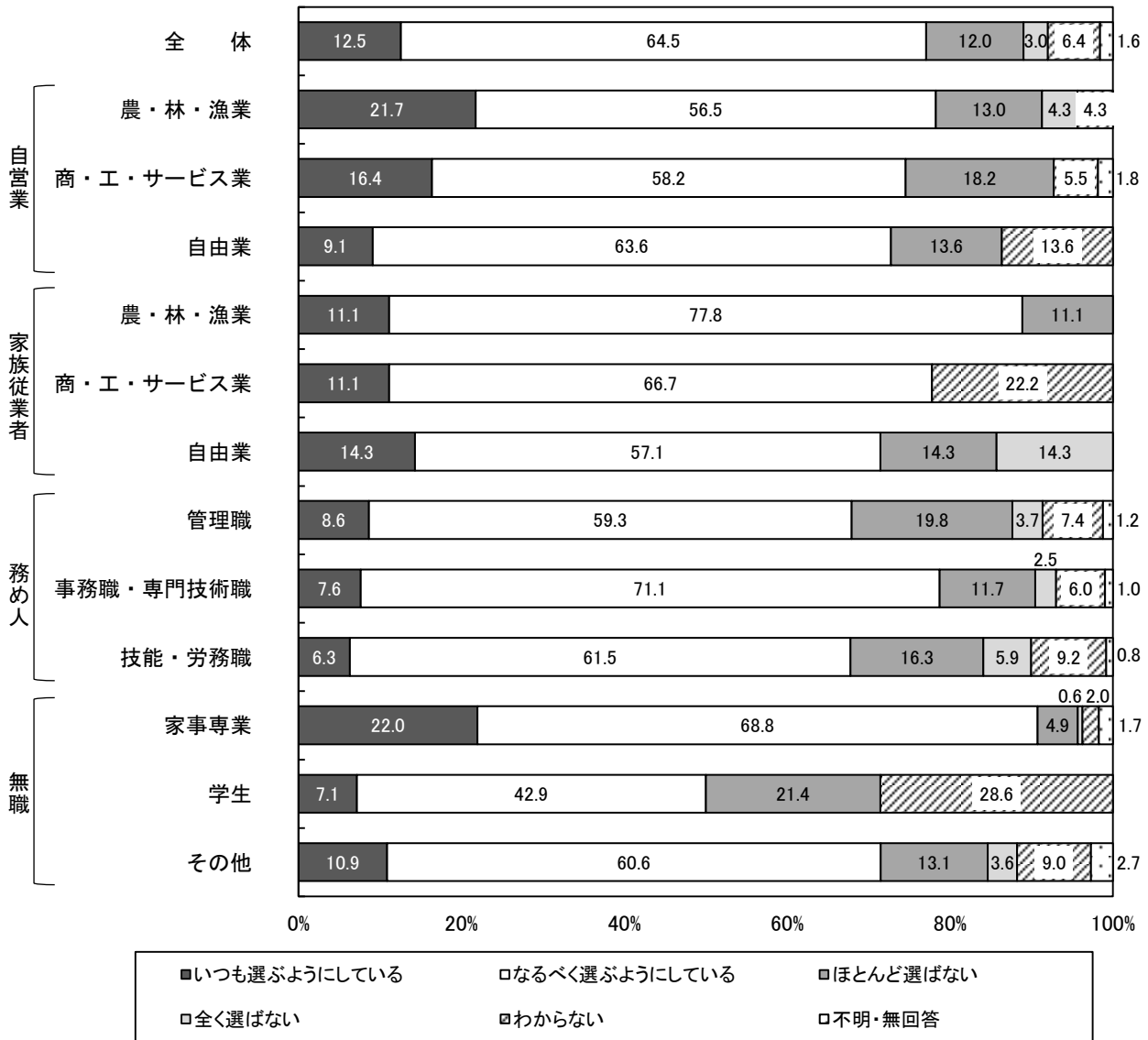
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.1-5 「地産地消」の実践度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

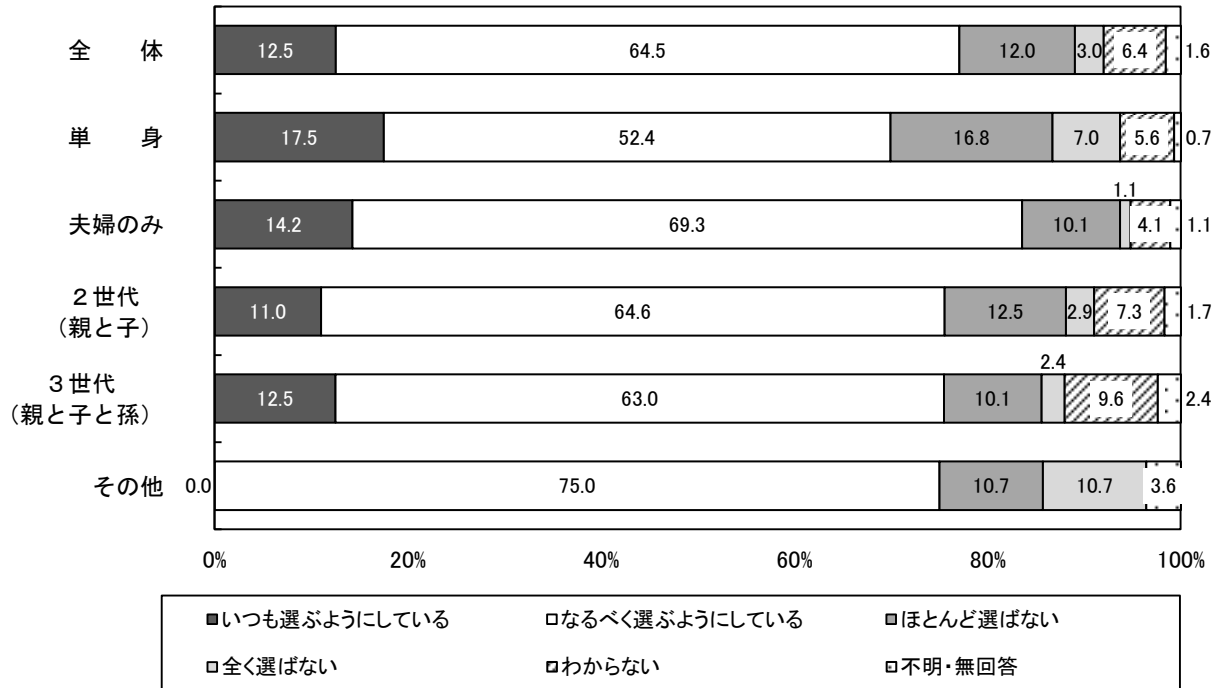
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、夫婦のみ（83.6%）で高くなっている。一方、単身では「ほとんど選ばない」、「全く選ばない」の割合が比較的高く、地産地消を実施していない人が2割強となっている。

図 3.1-6 「地産地消」の実践度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

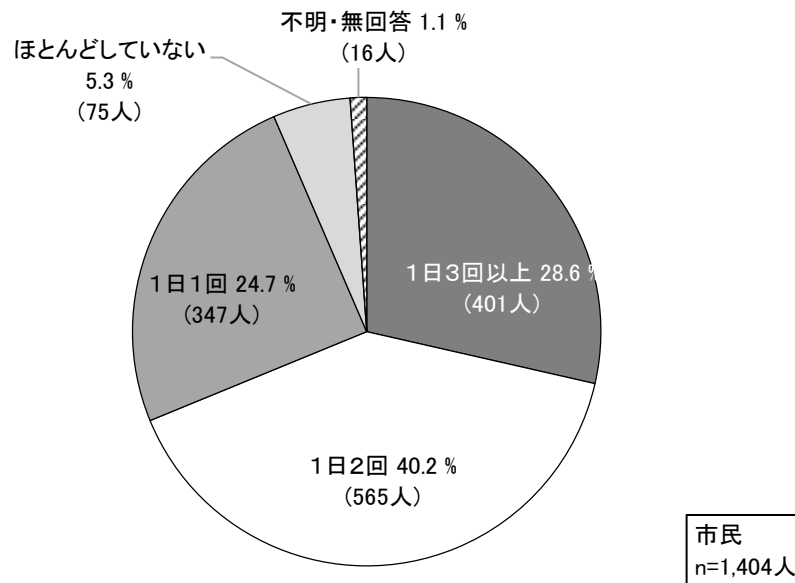
## (2) 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数

問13 あなたは日ごろ、主食（ごはん、パン、麺）・主菜（肉、魚、卵、大豆・大豆製品）・副菜（野菜、海藻、きのこ、いも）のそろった食事を、1日に何回していますか。（○は1つだけ）

7割弱が「1日2回」以上と回答

「1日3回以上」(28.6%)、「1日2回」(40.2%)を合わせると、7割弱(68.8%)の人が主食・主菜・副菜がそろっていてバランスのとれた食事を1日2回以上実践している。

図3.2 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数



## 【性別・年齢別】

主食・主菜・副菜のそろった食事を「1日3回以上」実践している人の割合は、30歳代以上で年齢が上がるにつれて高くなる傾向が見られ、最も高い70歳代（40.1%）では約4割となっている。

一方、20歳代と30歳代では「1日1回」、「ほとんどしていない」を合わせた割合が高く、主食・主菜・副菜のそろった食事が実践できていない人が4割以上となっている。性別では、女性は年齢が上がるにつれて、主食・主菜・副菜のそろった食事を実践している人の割合が高くなる傾向が見られる。

図 3.2-2 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（年齢別・全体）

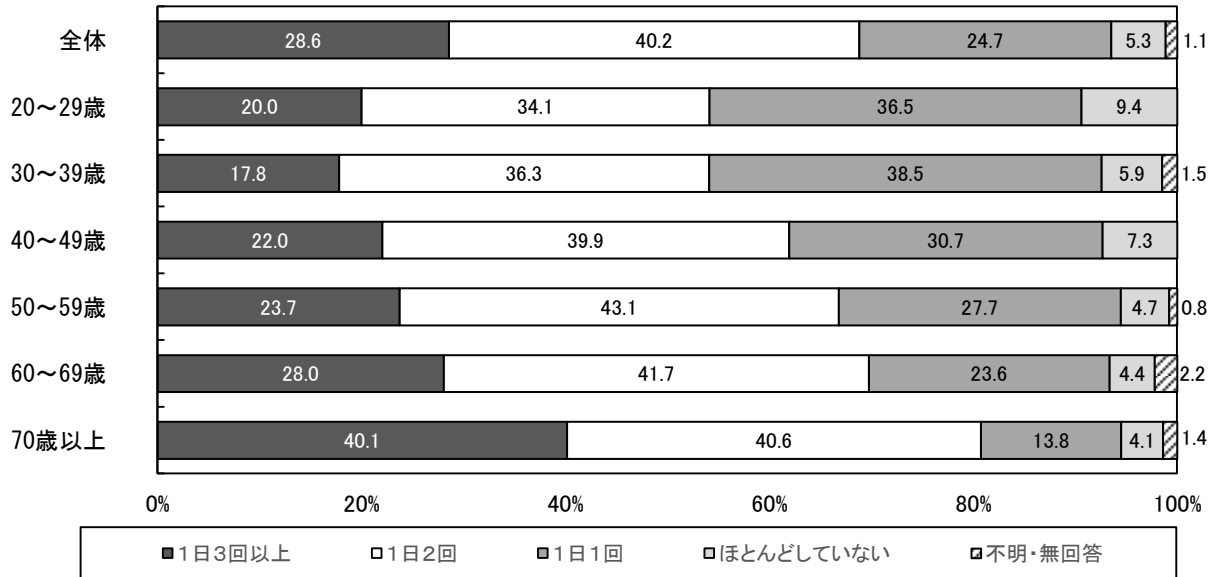
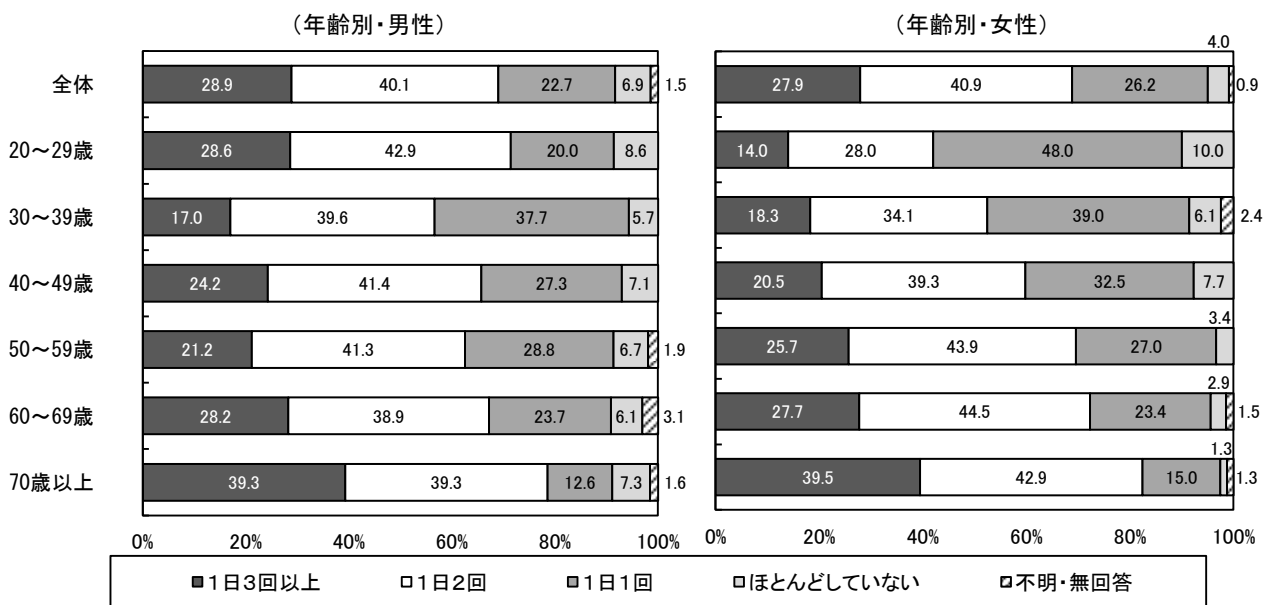


図 3.2-3 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

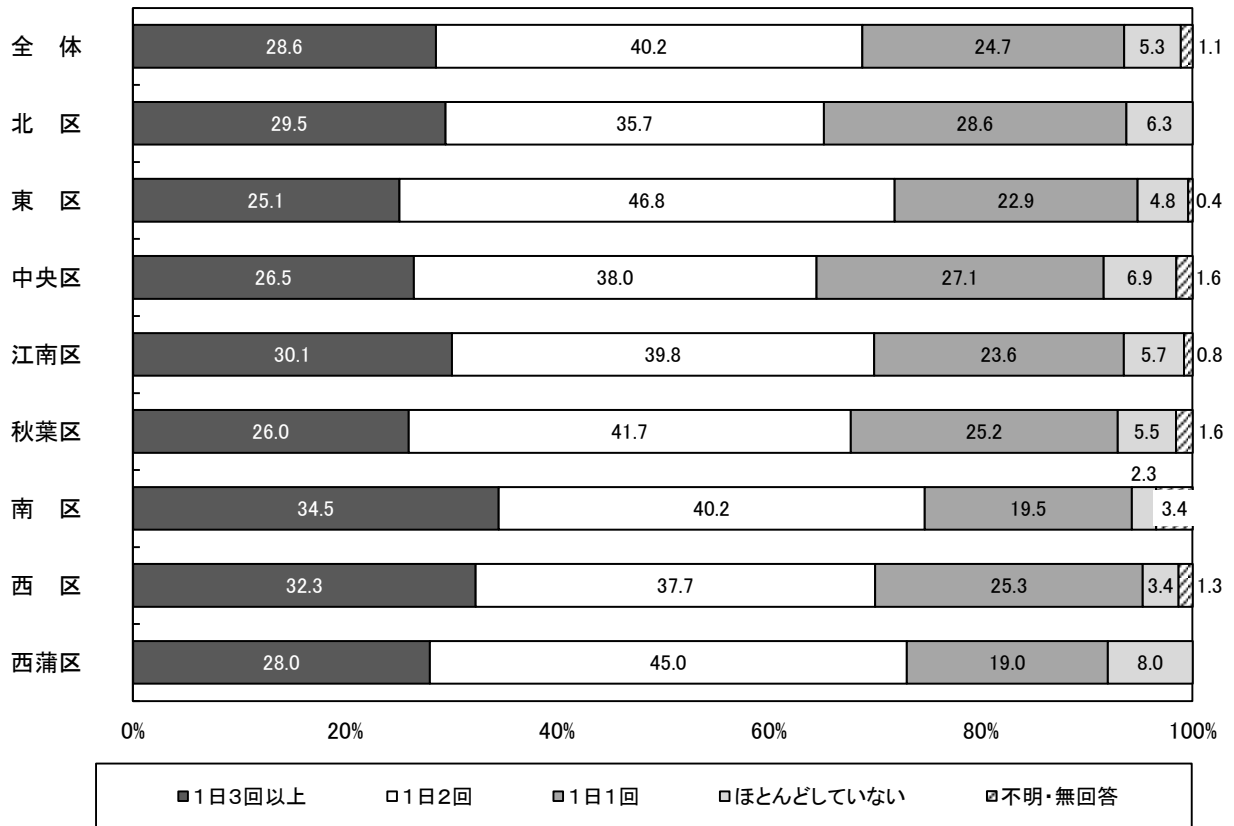
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

主食・主菜・副菜のそろったバランスのとれた食事を1日2回以上実践している人の割合は、南区(74.7%)で最も高くなっている。

図3.2-4 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	不明・無回答
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

(人)

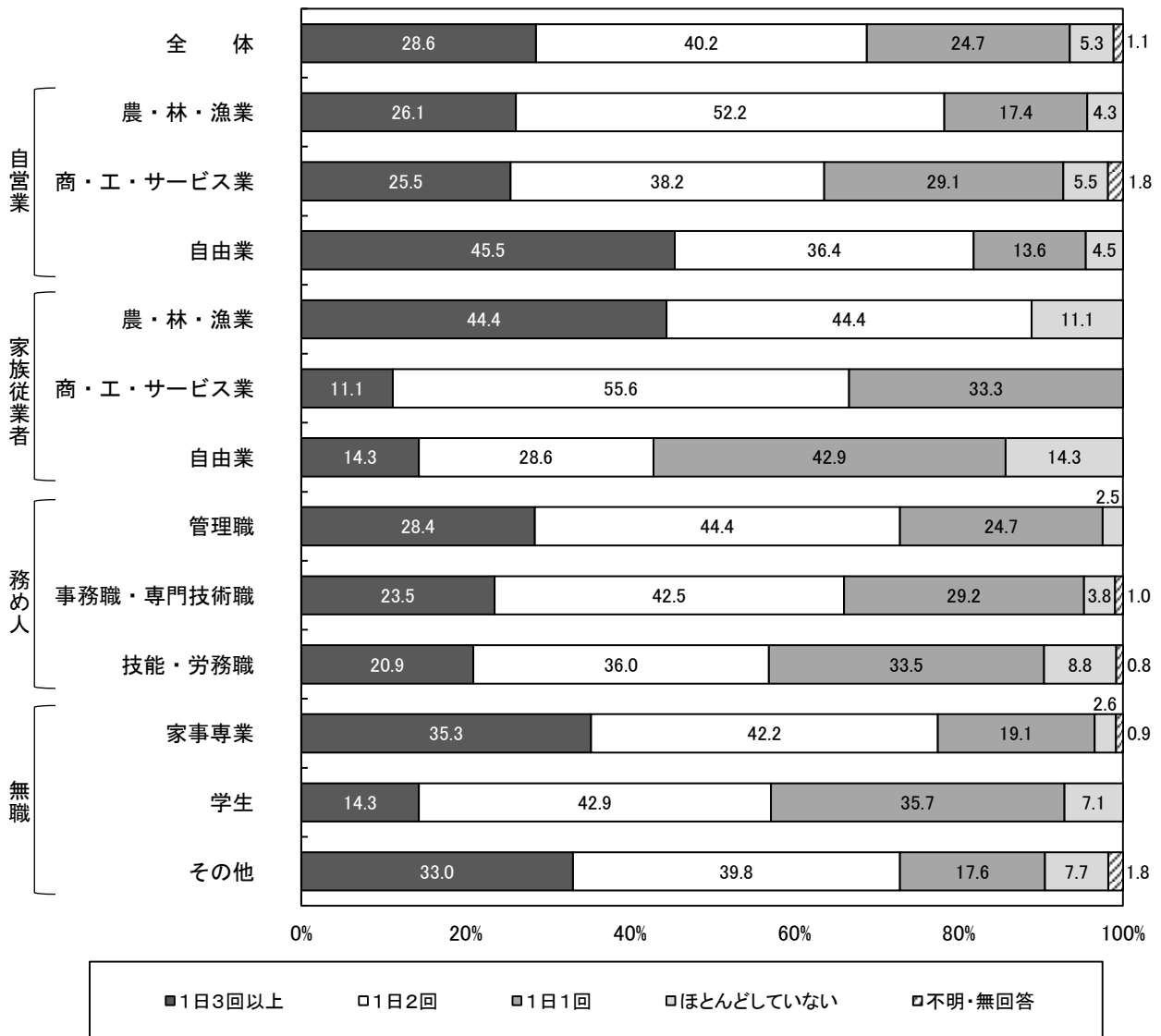
※地区不明者のグラフは省略した。



【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.2-5 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

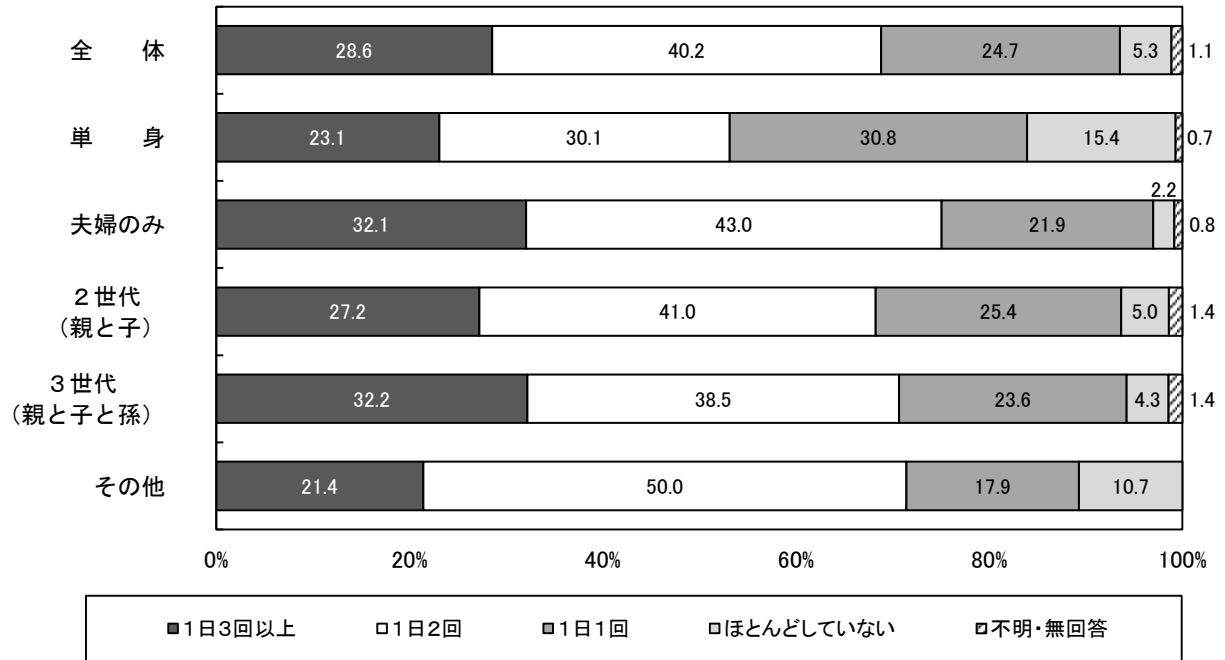
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「1日3回以上」、「1日2回」と回答した人の割合は、夫婦のみ（75.1%）で高くなっている。一方、「ほとんどしていない」と回答した人の割合は、単身（15.4%）で他の家族構成に比べ高くなっている。

図 3.2-6 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

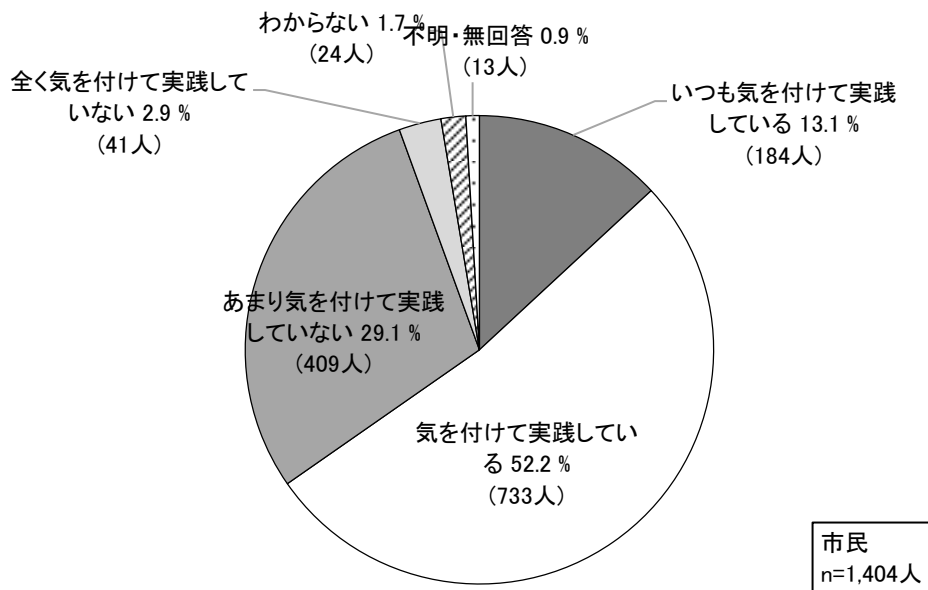
## (3) 生活習慣病予防や改善を意識した食生活の実践度

問14 生活習慣病予防や改善のために、あなたは普段から適正体重の維持や減塩、野菜の摂取などに気を付けた食生活を実践していますか。(〇は1つだけ)

7割弱が「いつも気を付けて実践している」「気を付けて実践している」と回答

「いつも気を付けて実践している」(13.1%)、「気を付けて実践している」(52.2%)と回答した人を合わせた割合は7割弱(65.3%)となっている。「あまり気を付けて実践していない」(29.1%)、「全く気を付けて実践していない」(2.9%)と回答した人を合わせた割合は3割強(32.1%)となっている。

図 3.3 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度



【性別・年齢別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、50歳代（71.5%）と70歳以上（71.6%）で高くなっている。

一方、30歳代では「あまり気を付けて実践していない」、「全く気を付けて実践していない」の割合が高く、生活習慣予防や改善を意識した食生活を実践できていない人が5割弱となっている。

図 3.3-2 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（年齢別・全体）

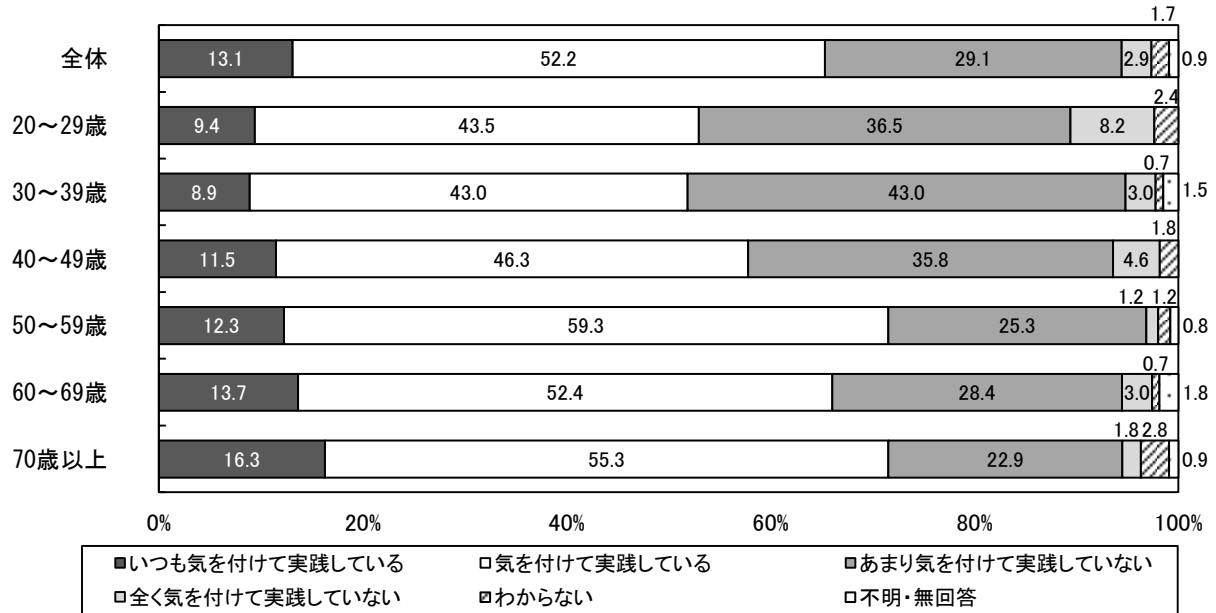
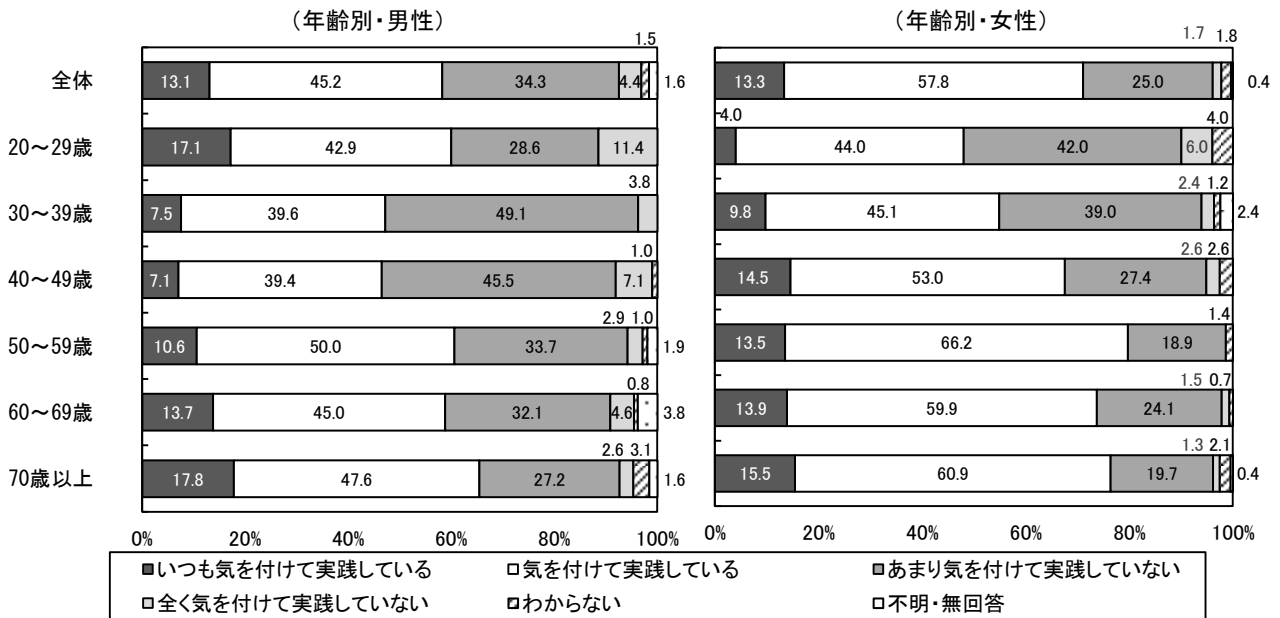


図 3.3-3 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

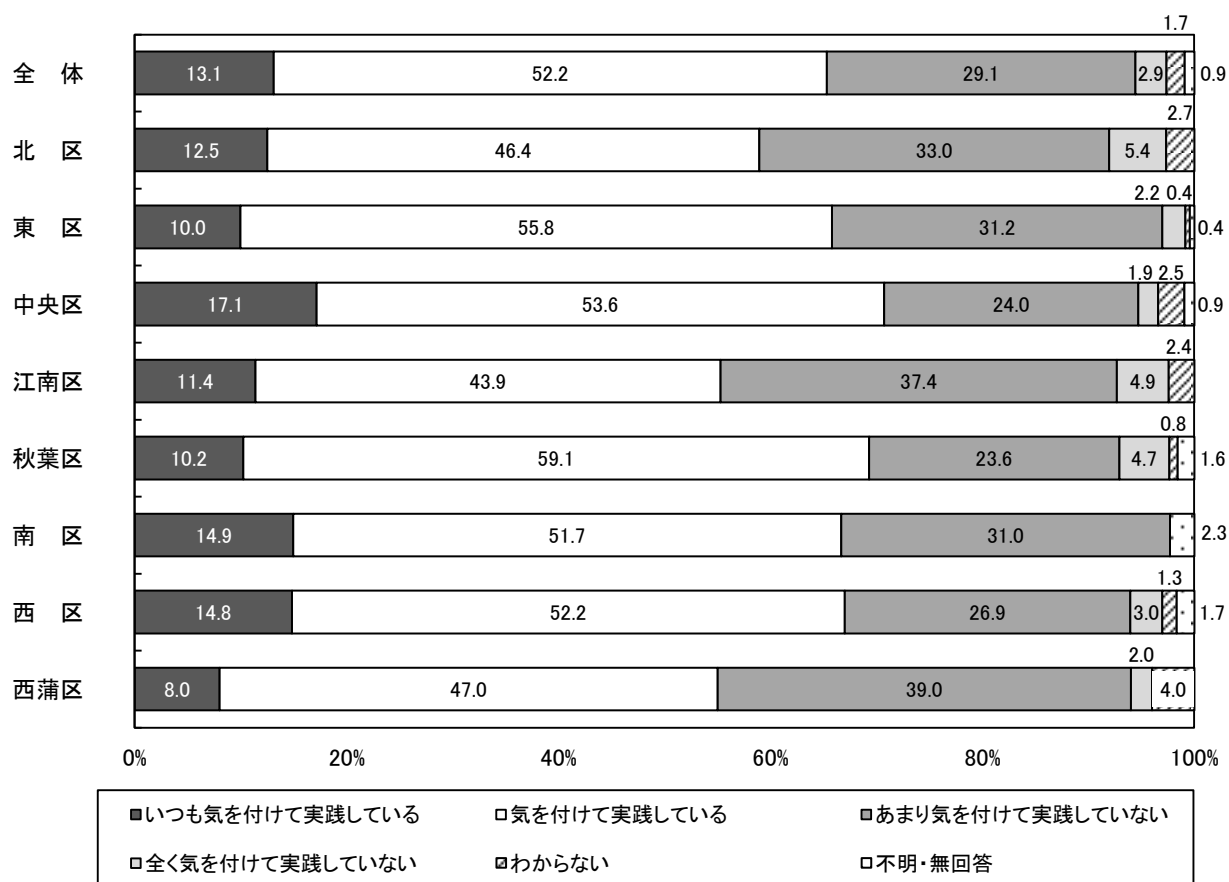
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、中央区（70.7%）で最も高くなっている。

図 3.3-4 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

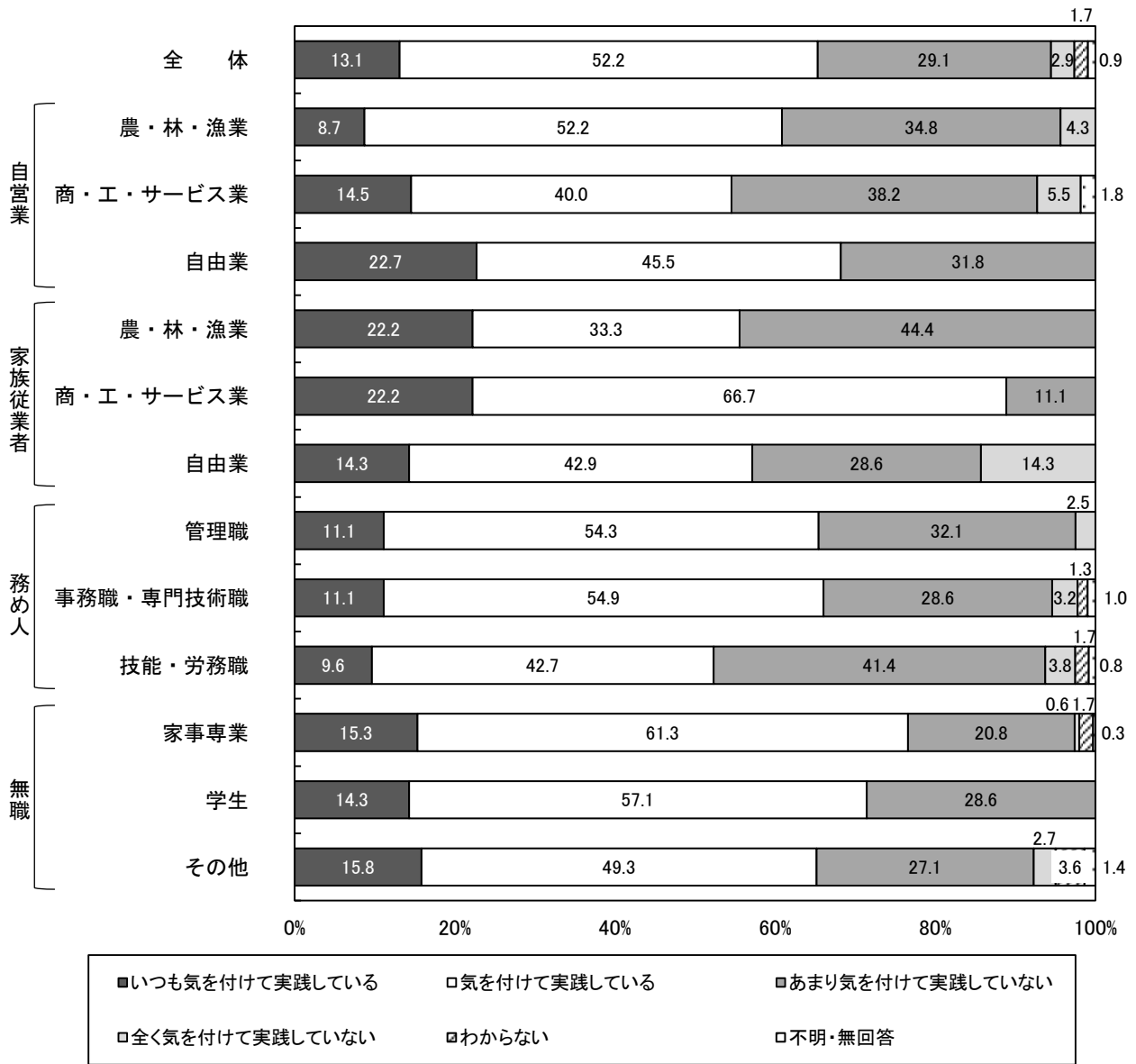
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.3-5 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

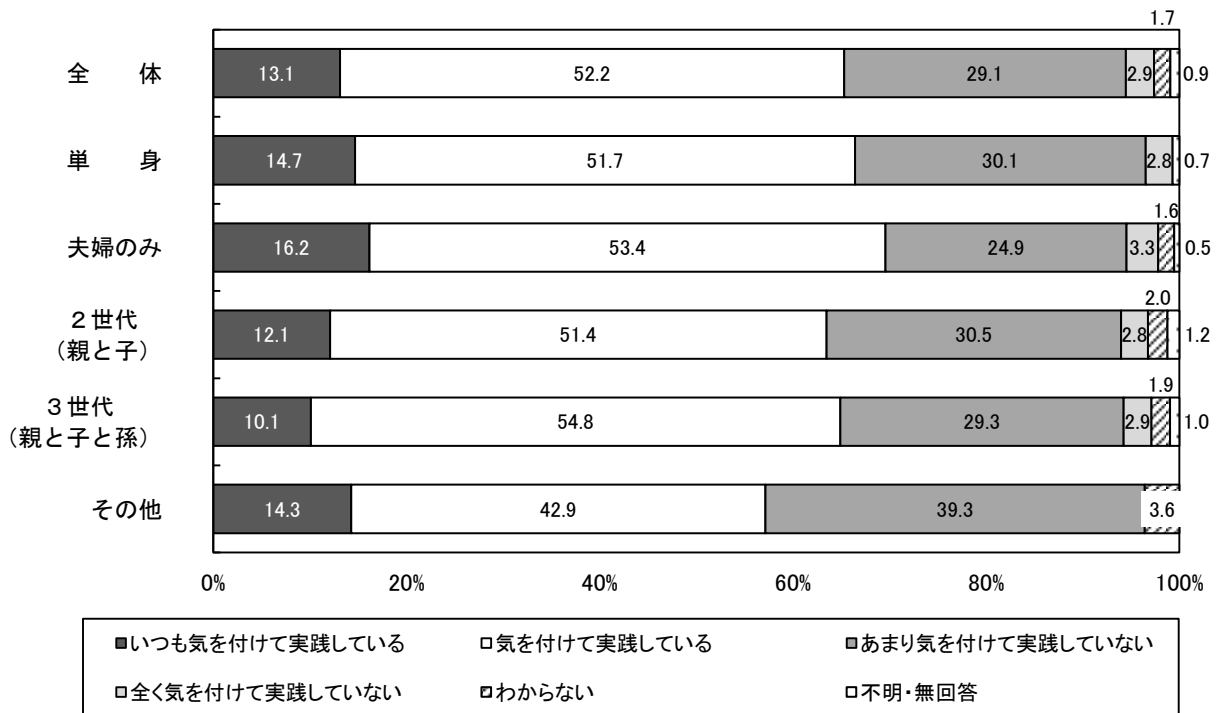
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、夫婦のみ（69.6%）で最も高くなっている。

図 3.3-6 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

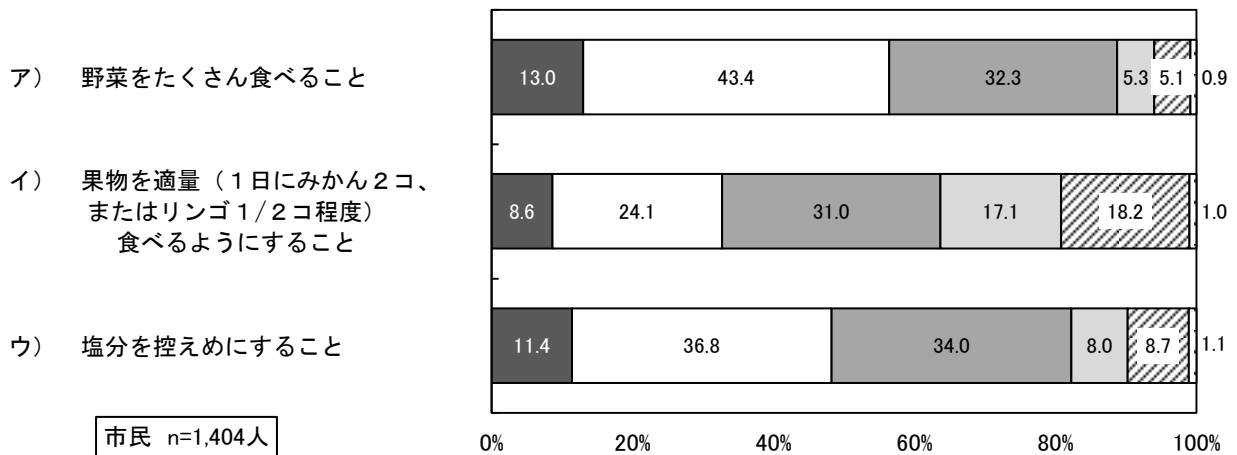
(4) 健康のための食事の認識と程度の度合い

問15 あなたは日ごろから、健康のために次のようなことを意識して食事をしていますか。  
(項目毎に○は1つだけ)

6割弱が「野菜をたくさん食べること」を意識していると回答

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人を合わせた割合は、『ア) 野菜をたくさん食べること』(56.4%)の項目が6割弱と高くなっている。一方、「意識しているが、あまりできていないと思う」「意識しているが、ほとんどできていないと思う」と回答した人を合わせた割合は、『イ) 果物を適量(1日にみかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること』(48.1%)で最も高く、「意識していない」の割合も、『イ) 果物を適量(1日みかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること』の項目が2割弱(18.2%)で最も高くなっている。

図 3.4 健康のための食事の認識と程度の度合い



<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 意識しているし、できていると思う</li> <li>□ 意識しているが、あまりできていないと思う</li> <li>□ 意識していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 意識しているし、だいたいできていると思う</li> <li>□ 意識しているが、ほとんどできていないと思う</li> <li>□ 不明・無回答</li> </ul>
---	---

	全体	意識しているし、できていると思う	意識しているし、だいたいできていると思う	意識しているが、あまりできていないと思う	意識しているが、ほとんどできていないと思う	意識していない	無回答
ア) 野菜をたくさん食べること	1,404	182	610	454	74	72	12
イ) 果物を適量(1日にみかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること	1,404	121	338	435	240	256	14
ウ) 塩分を控えめにすること	1,404	160	517	478	112	122	15

(人)



ア) 野菜をたくさん食べること

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上（64.0%）で最も高く、20歳代（42.4%）で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、20歳代を除いた各年代で、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-2 健康のための食事の認識と程度の度合い【野菜をたくさん食べること】（年齢別・全体）

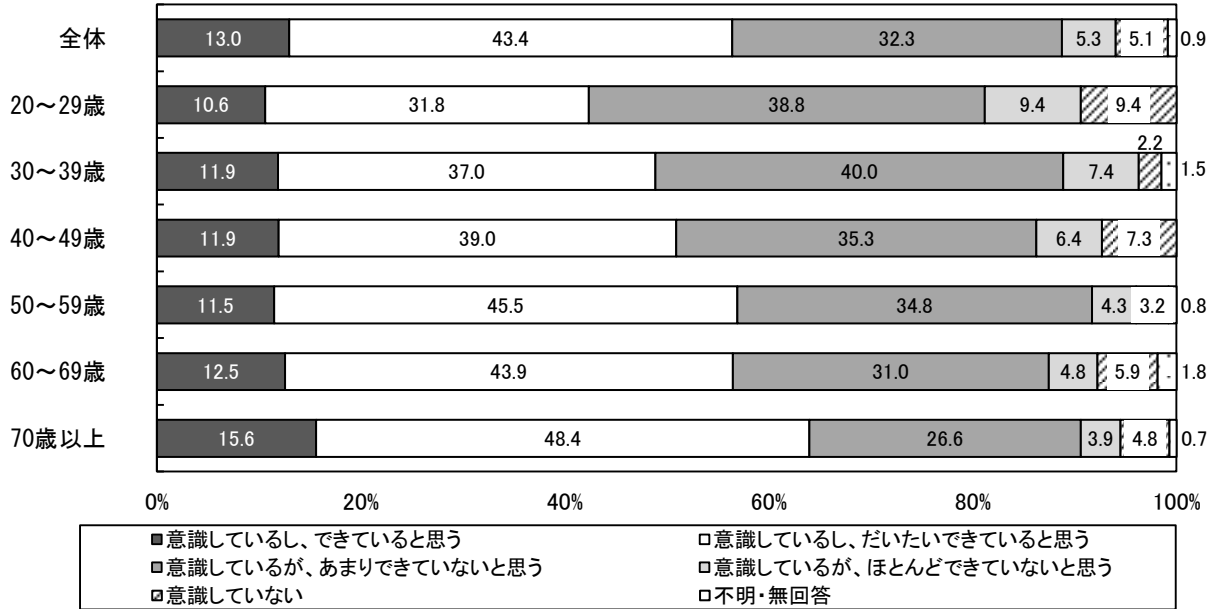
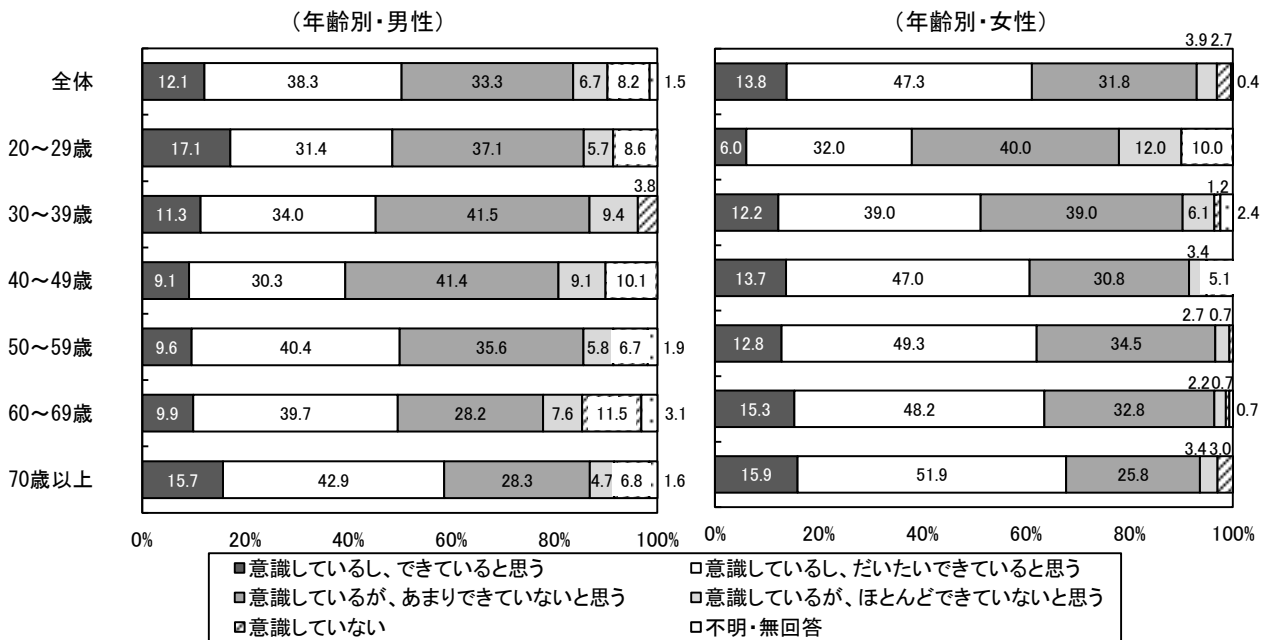


図 3.4-3 健康のための食事の認識と程度の度合い【野菜をたくさん食べること】



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

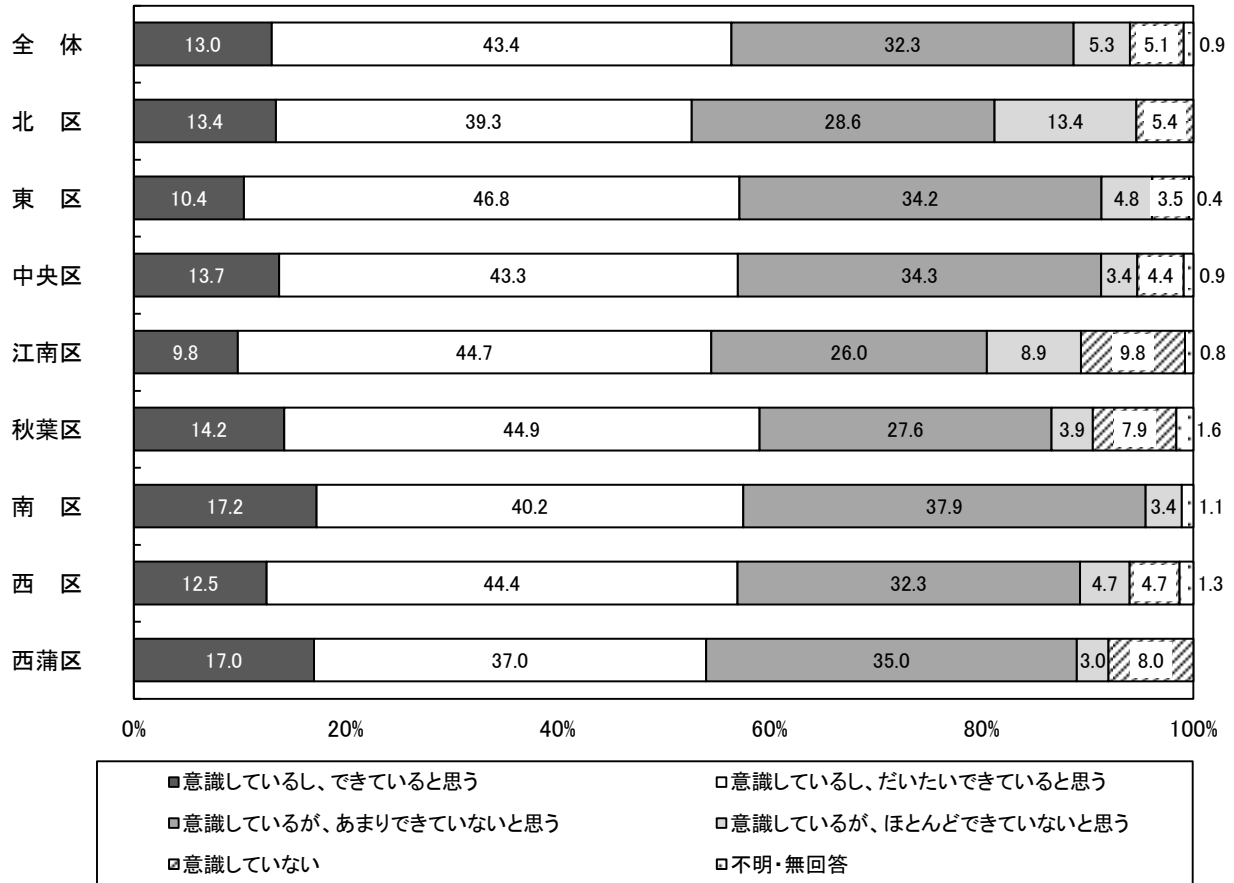
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、秋葉区（59.1%）で最も高く、北区（52.7%）で最も低くなっている。

図 3.4-4 健康のための食事の認識と程度の度合い〔野菜をたくさん食べること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

イ) 果物を適量（1日みかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度）食べるようにすること

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上（43.8%）で最も高く、20歳代（14.1%）で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、20歳代を除いた各年代で、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-5 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕  
（年齢別・全体）

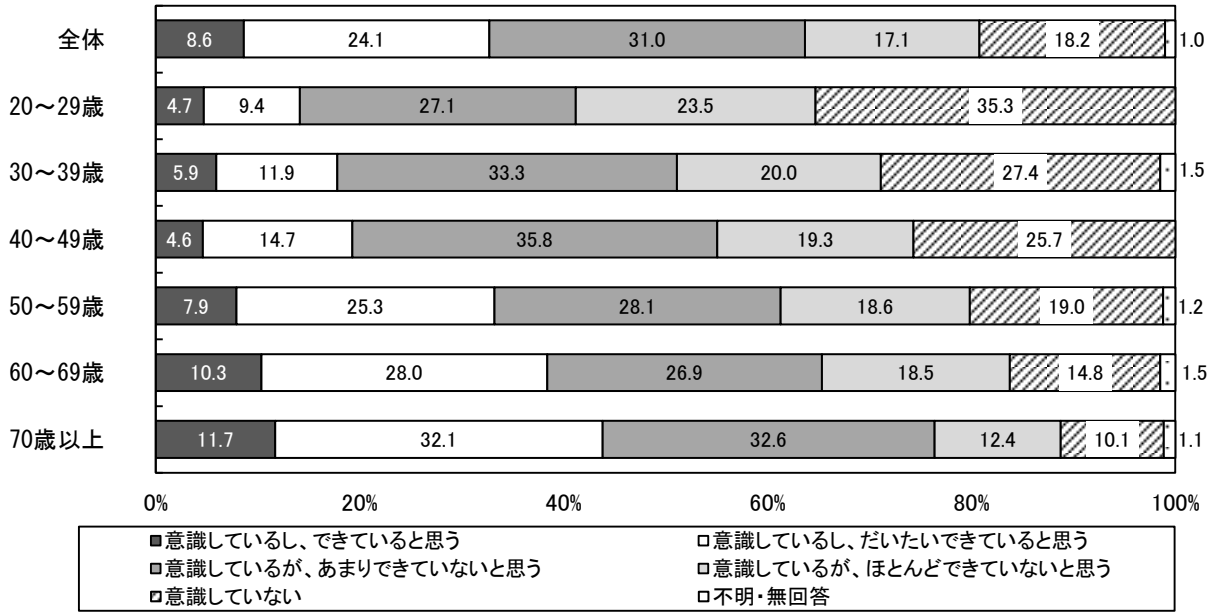
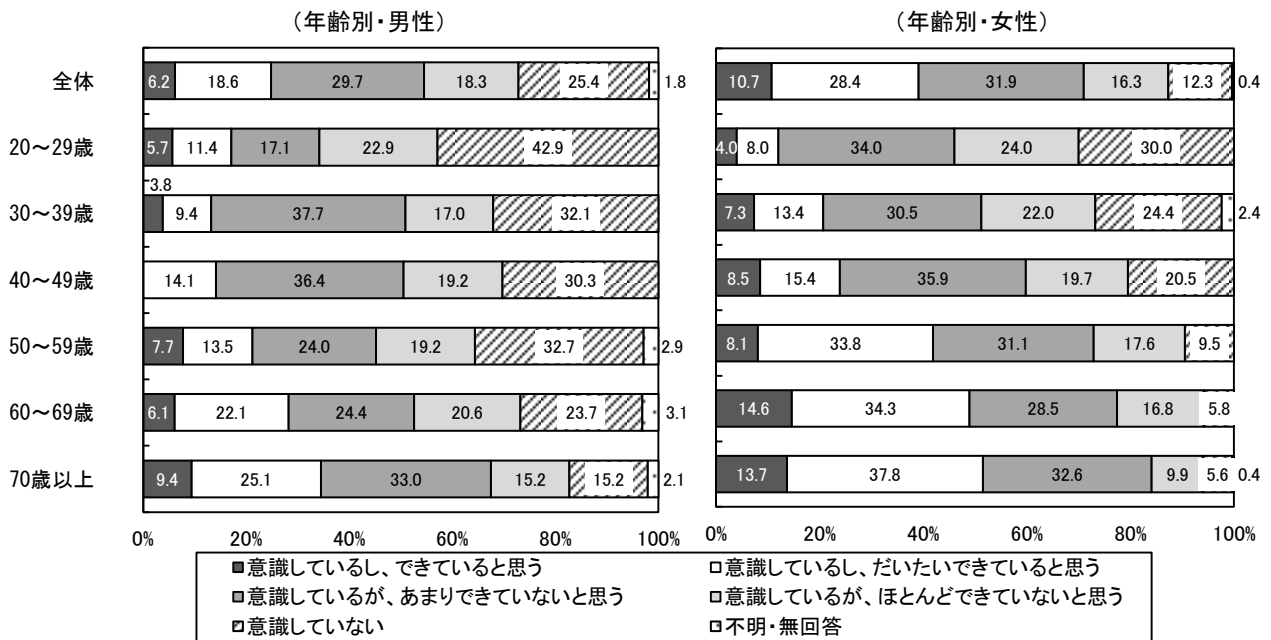


図 3.4-6 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

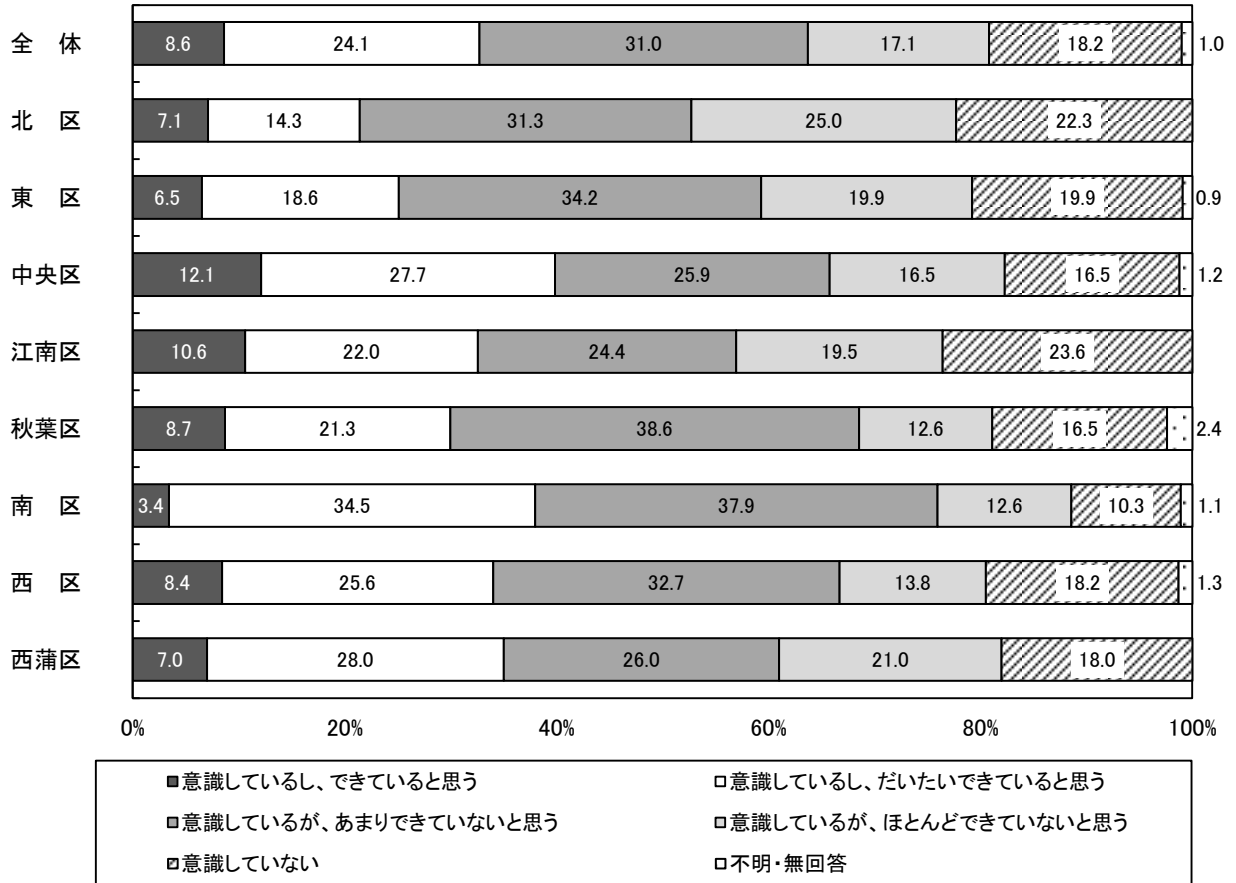
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、中央区（39.9%）で最も高く、北区（21.4%）で最も低くなっている。

図 3. 4-7 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

ウ) 塩分に控えめにする事

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上(61.2%)で最も高く、20歳代(27.1%)で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、20歳代を除いた年代で、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-8 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えめにする事〕(年齢別・全体)

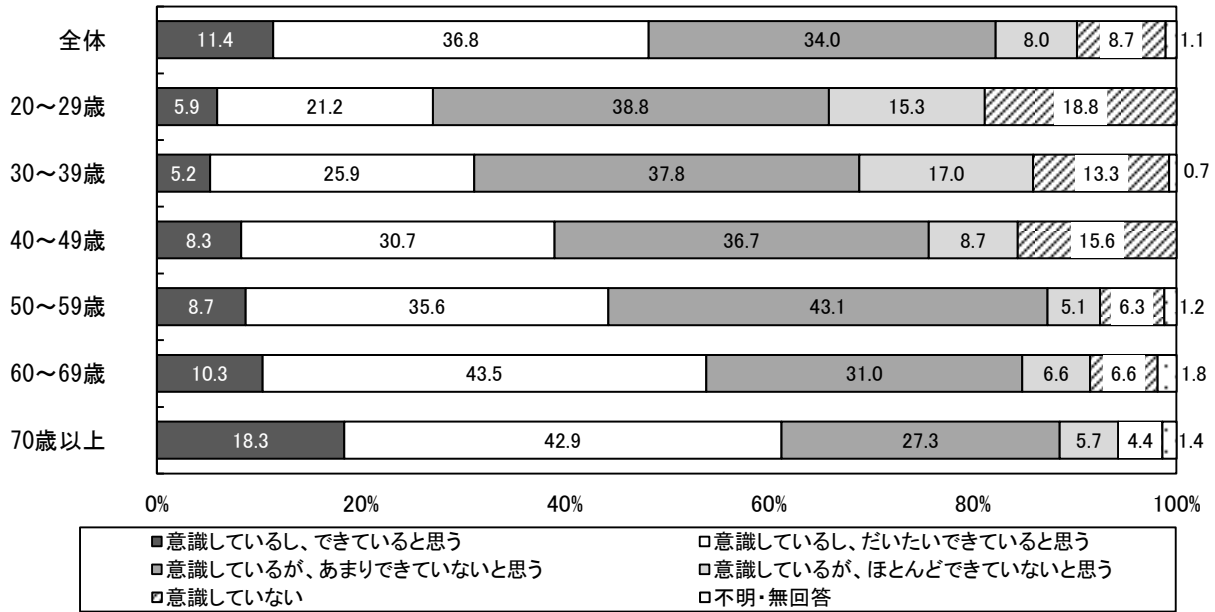
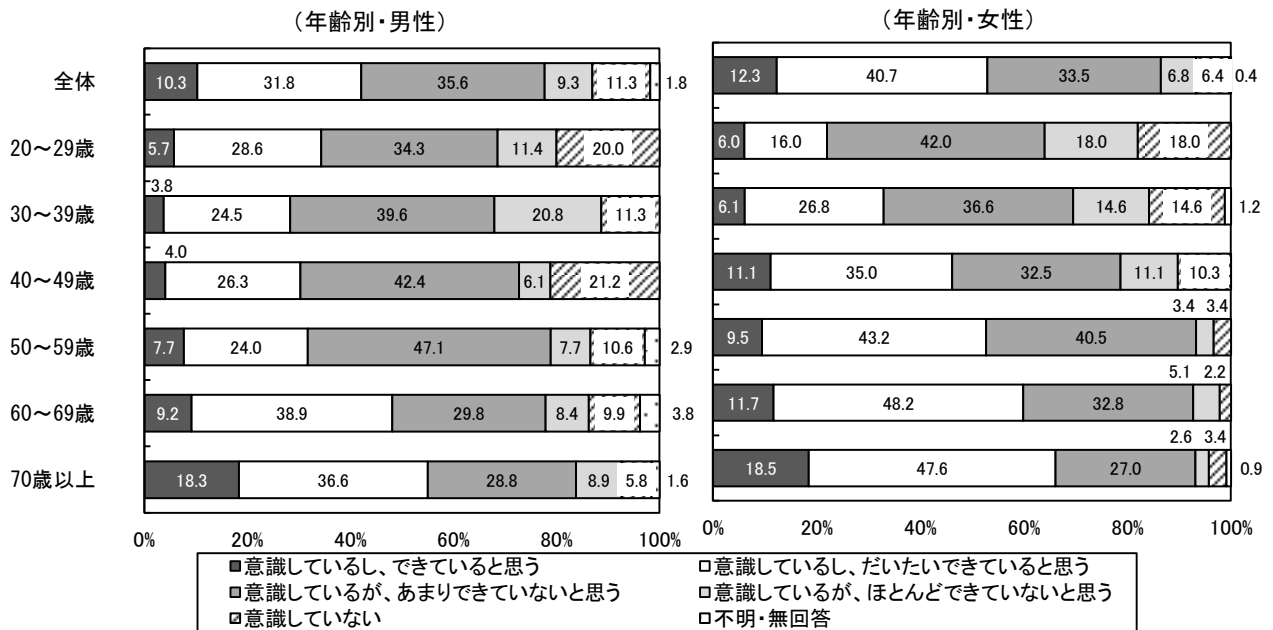


図 3.4-9 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えめにする事〕



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

(人)

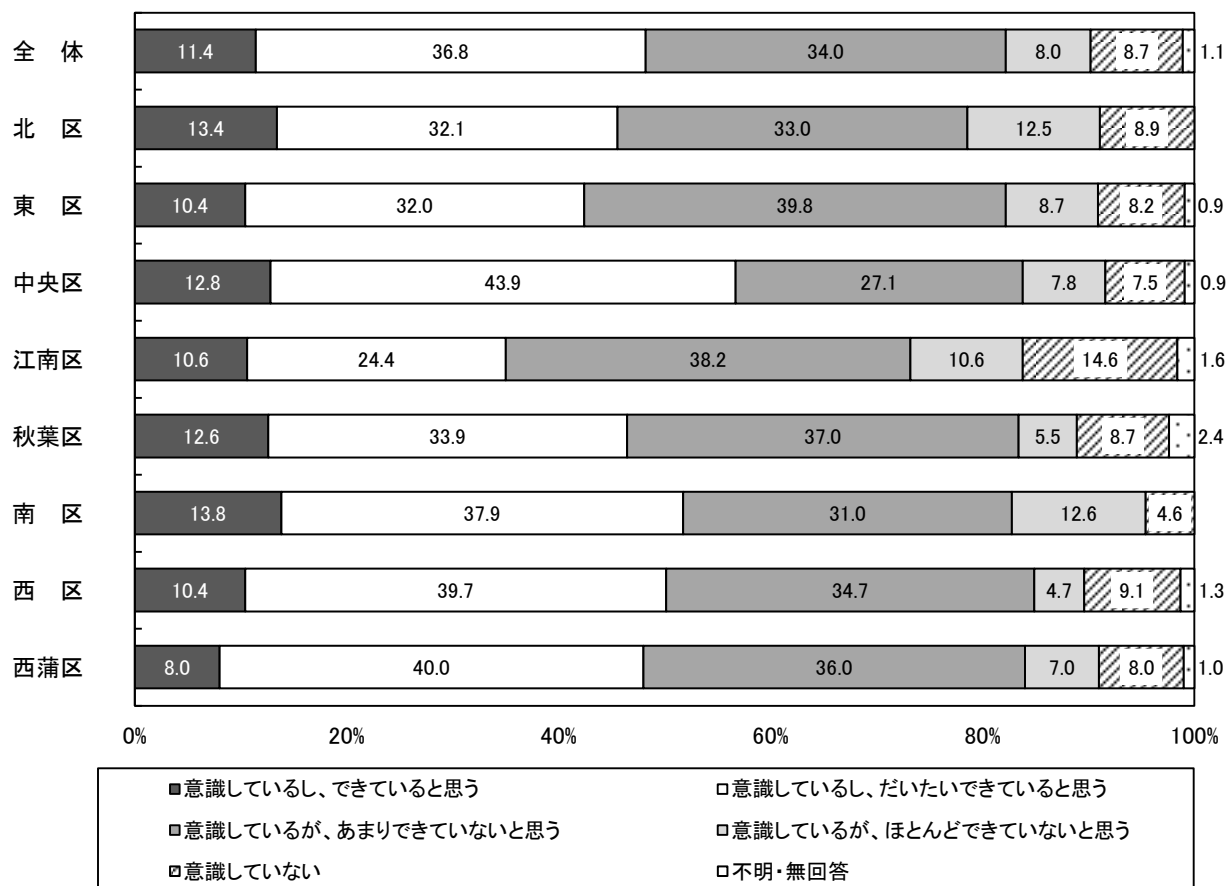
※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。



## 【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、中央区（56.7%）で最も高くなっている。

図 3.4-10 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

## (5) 朝食の回数

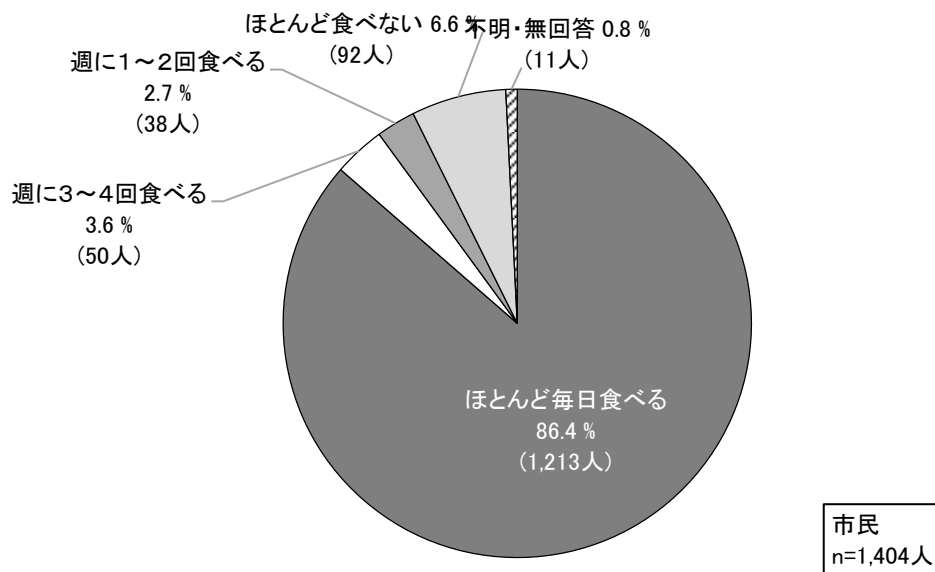
問16 あなたは日ごろ、朝食を食べていますか。(〇は1つだけ)

1割弱が「ほとんど食べない」「週に1～2回食べる」と回答

9割弱(86.4%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に3～4回食べる」(3.6%)を合わせると、9割(90.0%)の人が朝食を食べている。

一方、「週に1～2回食べる」(2.7%)、「ほとんど食べない」(6.6%)と回答した、朝食を食べない人は1割弱(9.3%)となっている。

図 3.5 朝食の回数





【性別・年齢別】

各年代とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、年齢上がるにつれて朝食の回数が増える傾向が見られる。60歳以上では、9割以上の人朝食をほぼ毎日食べている。

一方、「ほとんど食べない」と回答した人の割合は、20歳代～40歳代で1割を超えている。性別で見ると、男性は20歳代（14.3%）、女性は30歳代（13.4%）が最も高い。

図 3.5-2 朝食の回数（年齢別・全体）

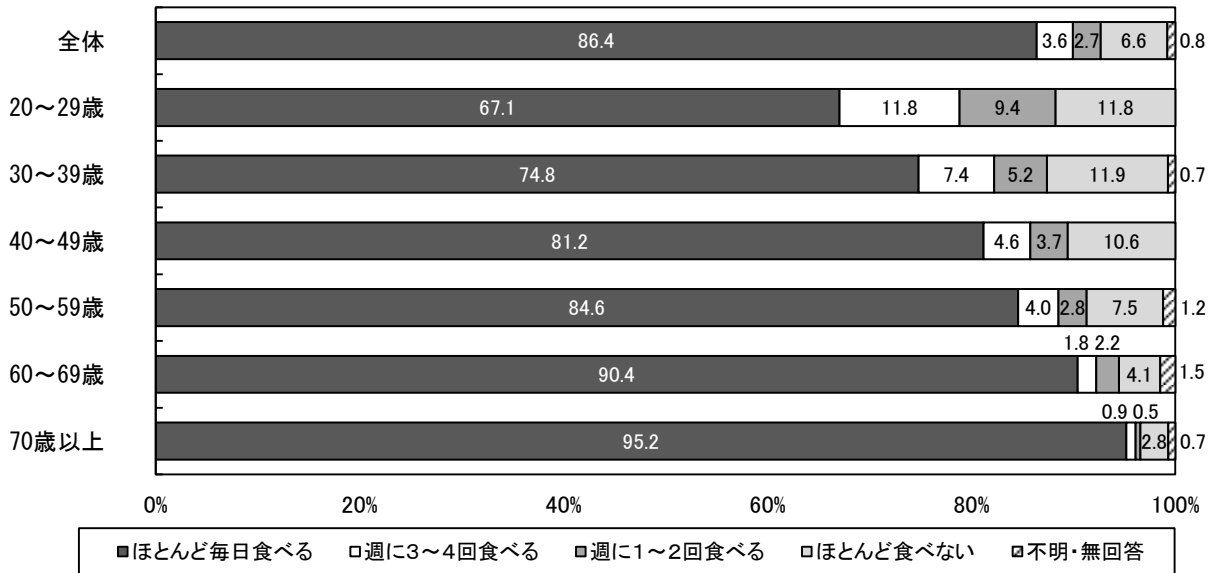
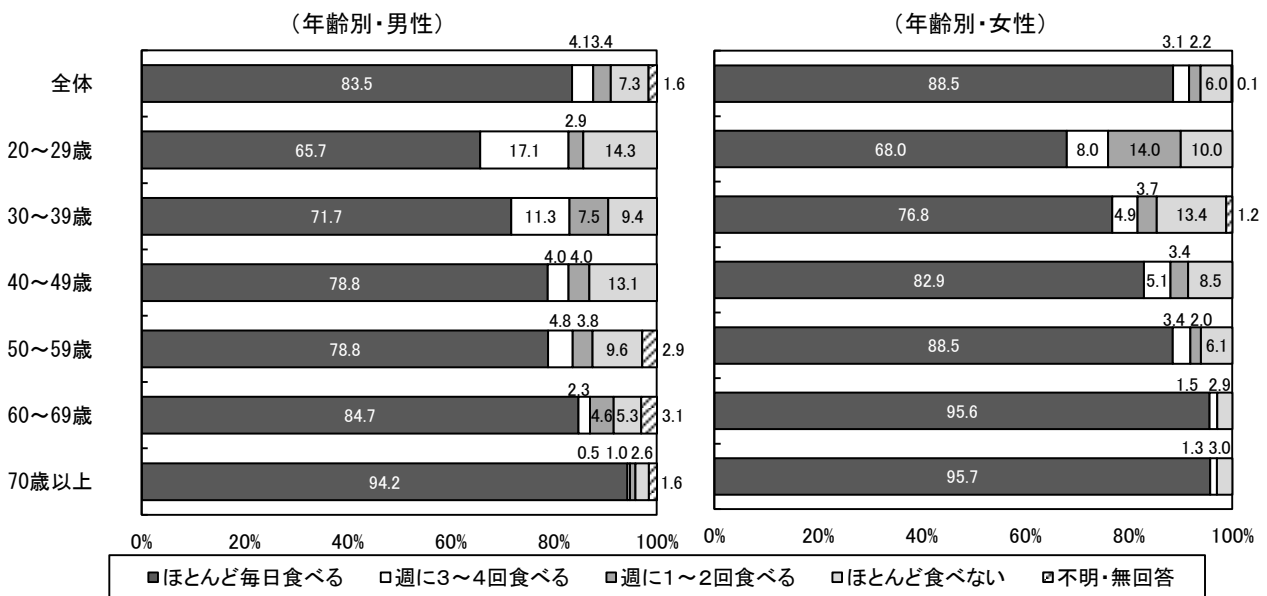


図 3.5-3 朝食の回数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

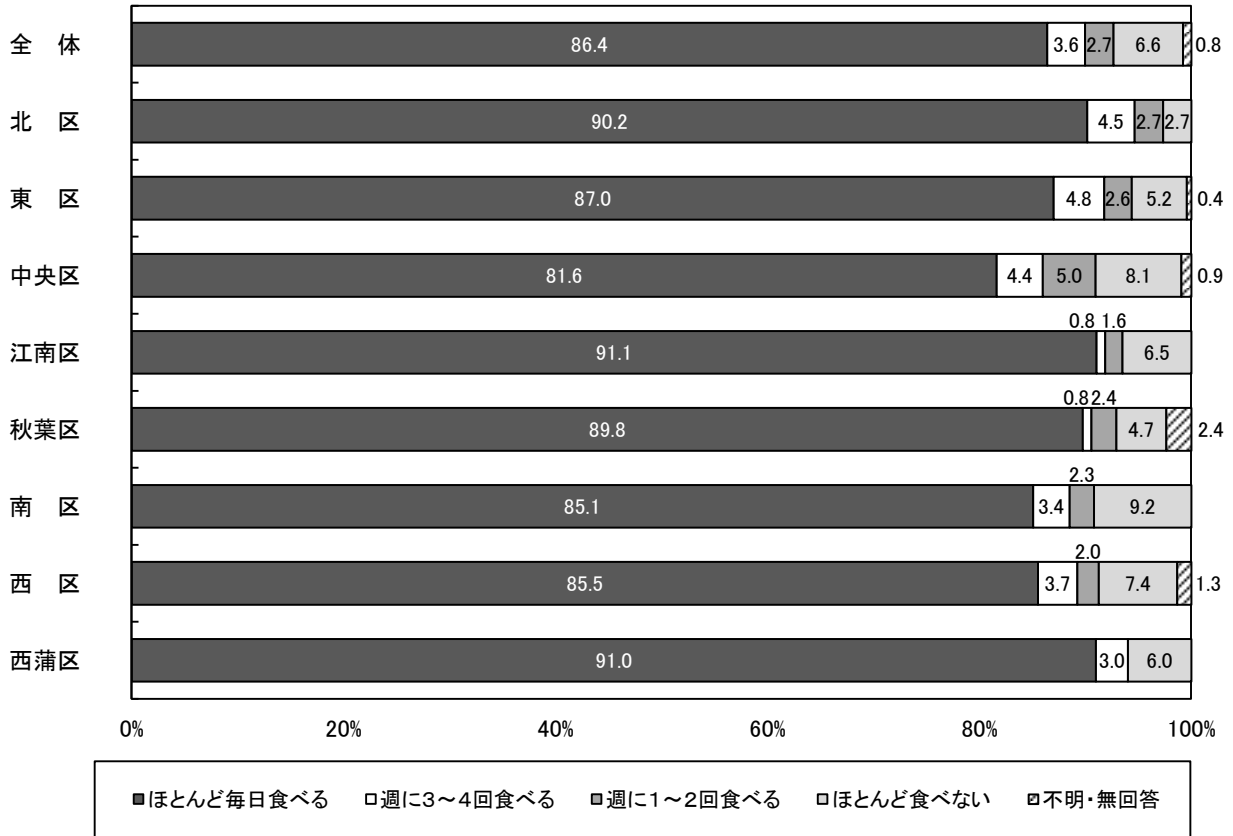
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、北区（90.2%）、江南区（91.1%）、西蒲区（91.0%）では、9割を超えている。

図 3.5-4 朝食の回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

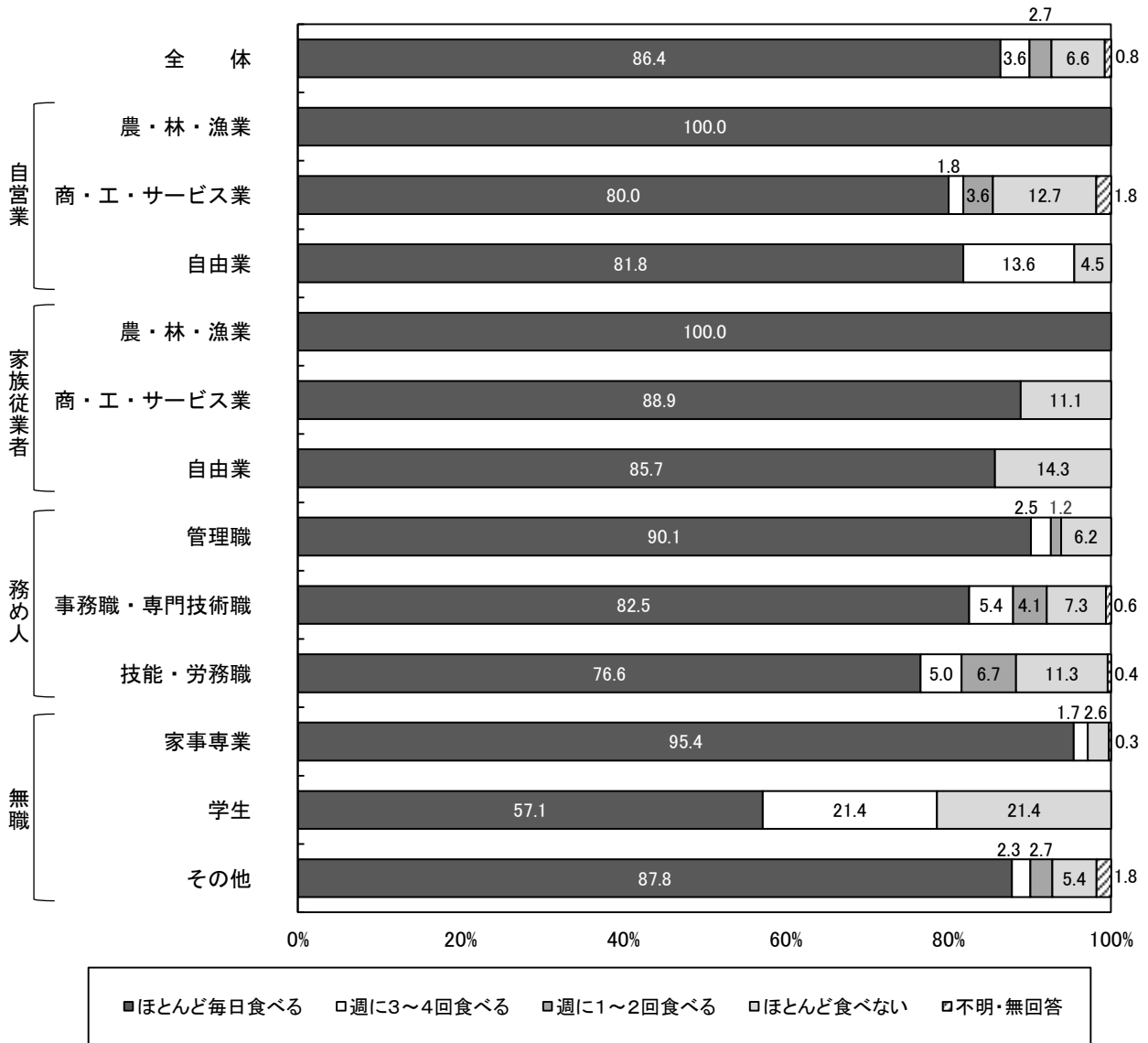
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.5-5 朝食の回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

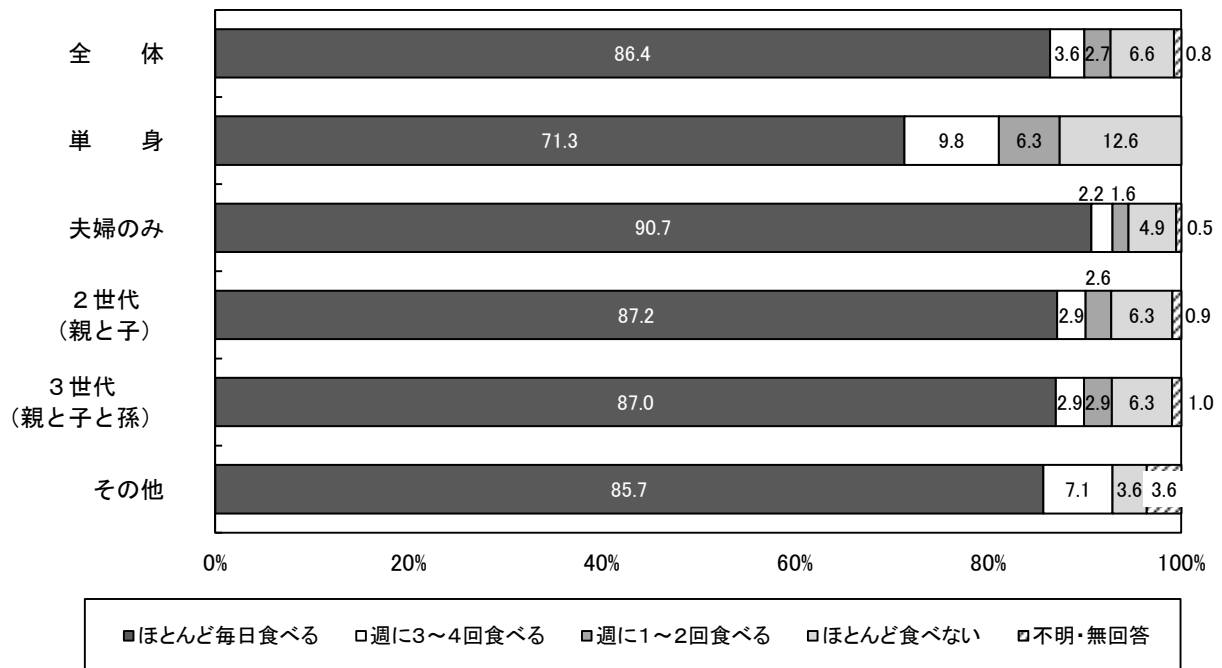
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

各家族構成別とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多くなっている。夫婦のみ（90.7%）では9割強となっている。単身（71.3%）では7割強に留まり、他の家族構成と比べて割合が低くなっている。

図 3.5-6 朝食の回数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

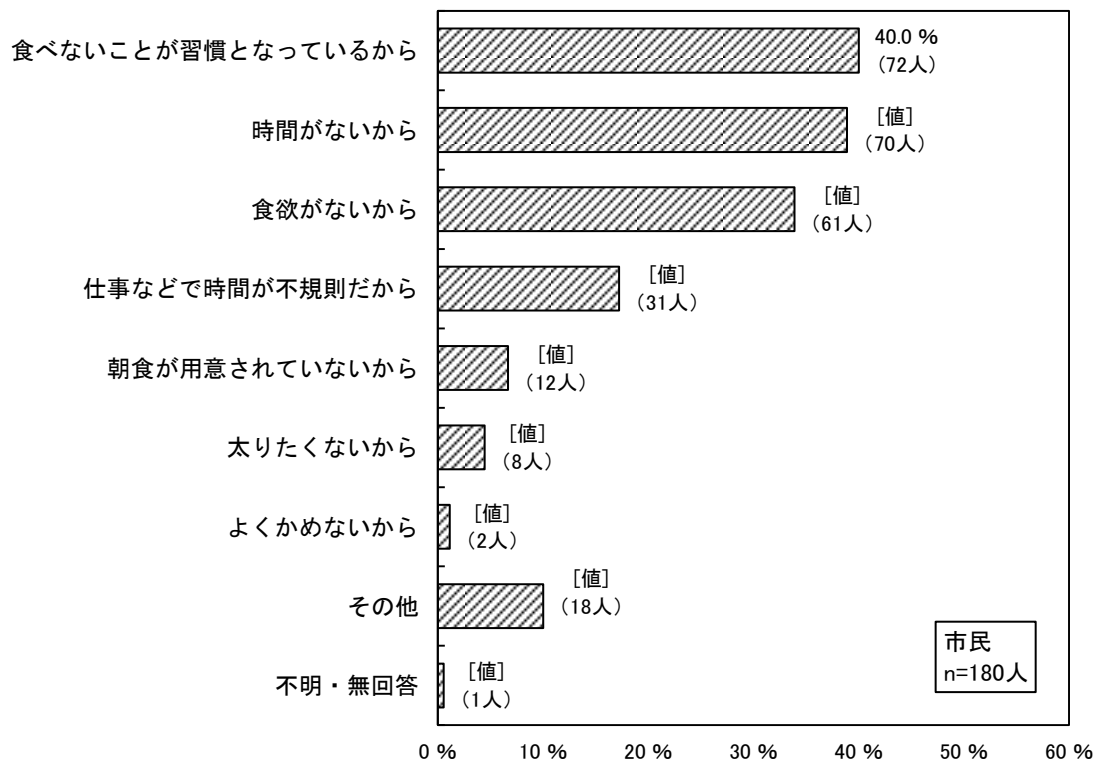
## (6) 朝食を食べない理由

問16-1 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「食べないことが習慣となっているから」が4割、「時間がないから」も4割弱

朝食を食べない理由については、「食べないことが習慣となっているから」(40.0%)と回答した人が最も多く、以下「時間がないから」(38.9%)、「食欲がないから」(33.9%)、「仕事などで時間が不規則だから」(17.2%)と続いている。

図 3.6 朝食を食べない理由



## 【性別・年齢別】

20歳代と30歳代は「時間がないから」と回答した人の割合が最も高く、40歳代～60歳代では「食べないことが習慣となっているから」、70歳以上では「食欲がないから」と回答した人の割合が最も高くなっている。

表 2.1 朝食を食べない理由（年齢別・全体）

	対象者	食べないことが習慣となっているから	時間がないから	食欲がないから	仕事などで時間が不規則だから	朝食が用意されていないから	太りたくないから	よくかめないから	その他	無回答
計	272	40.0	38.9	33.9	17.2	6.7	4.4	1.1	10.0	0.6
20～29歳	13	39.3	67.9	25.0	17.9	7.1	0.0	0.0	10.7	0.0
30～39歳	26	27.3	54.5	42.4	24.2	9.1	6.1	0.0	6.1	0.0
40～49歳	55	41.5	39.0	24.4	24.4	7.3	2.4	2.4	2.4	0.0
50～59歳	51	44.4	33.3	33.3	13.9	5.6	8.3	2.8	5.6	0.0
60～69歳	69	59.1	18.2	45.5	13.6	0.0	4.5	0.0	18.2	0.0
70歳以上	58	27.8	5.6	44.4	0.0	11.1	5.6	0.0	33.3	0.0
年齢不明	0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

対象者：人／回答：%

表 2.2 朝食を食べない理由（年齢別・男性）

	対象者	食べないことが習慣となっているから	時間がないから	食欲がないから	仕事などで時間が不規則だから	朝食が用意されていないから	太りたくないから	よくかめないから	その他	無回答
計	91	40.7	37.4	33.0	17.6	9.9	5.5	1.1	11.0	0.0
20～29歳	12	33.3	66.7	25.0	25.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
30～39歳	15	20.0	66.7	40.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
40～49歳	21	52.4	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0
50～59歳	19	47.4	26.3	31.6	15.8	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0
60～69歳	16	56.3	12.5	56.3	6.3	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0
70歳以上	8	12.5	0.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表 2.3 朝食を食べない理由（年齢別・女性）

	対象者	食べないことが習慣となっているから	時間がないから	食欲がないから	仕事などで時間が不規則だから	朝食が用意されていないから	太りたくないから	よくかめないから	その他	無回答
計	87	41.4	39.1	35.6	17.2	3.4	3.4	1.1	9.2	0.0
20～29歳	16	68.8	43.8	25.0	12.5	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0
30～39歳	18	44.4	33.3	44.4	27.8	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0
40～49歳	20	35.0	30.0	35.0	20.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0
50～59歳	17	41.2	41.2	35.3	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0
60～69歳	6	33.3	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
70歳以上	10	10.0	40.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

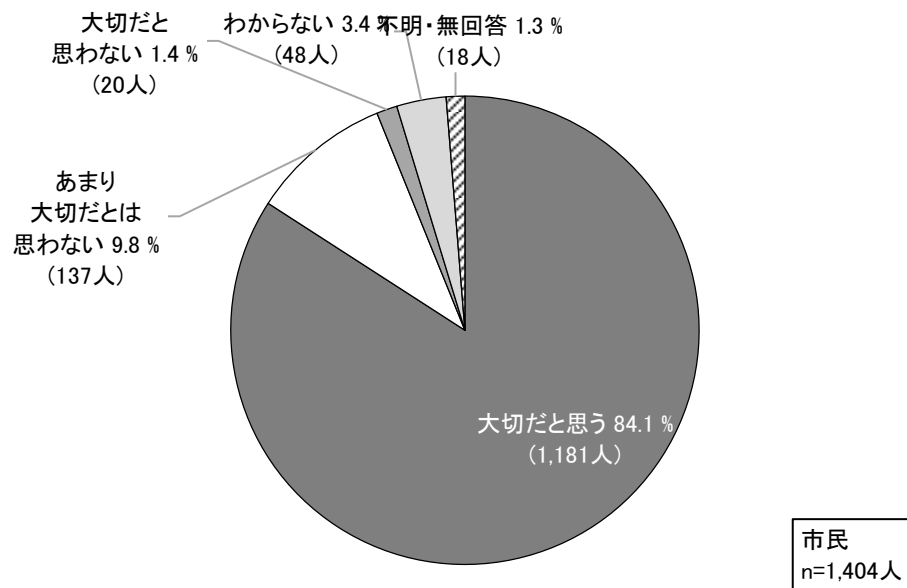
## (7) 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ

問17 あなたは地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をするのは大切だと思いますか。  
(〇は1つだけ)

8割強が「大切だと思う」と回答

「大切だと思う」と回答した人の割合は8割強（84.1%）となっている。「あまり大切だとは思わない」（9.8%）、「大切だと思わない」（1.4%）と回答した人を合わせた割合は1割強（11.2%）となっている。

図3.7 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ



【性別・年齢別】

各年代とも、「大切だと思う」と回答した人が最も多く、70歳代を除き8割を超えている。

性別では、「大切だと思う」割合は、40歳代以上では女性の方が男性よりも高く、女性は全ての年代で8割を超えている。

図 3.7-2 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ（年齢別・全体）

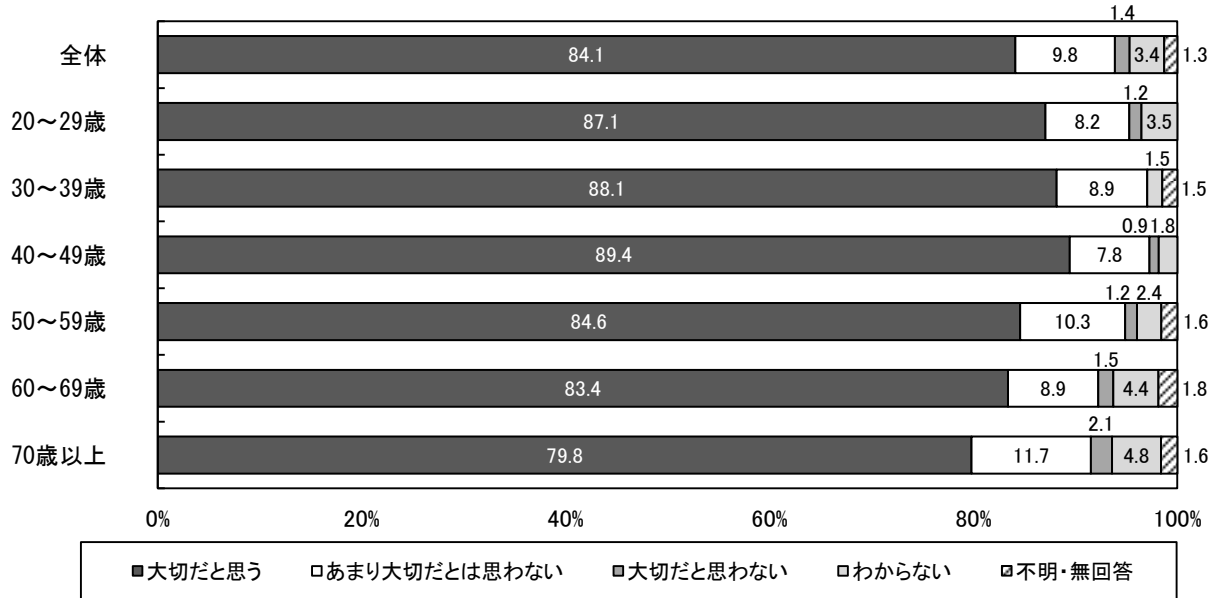
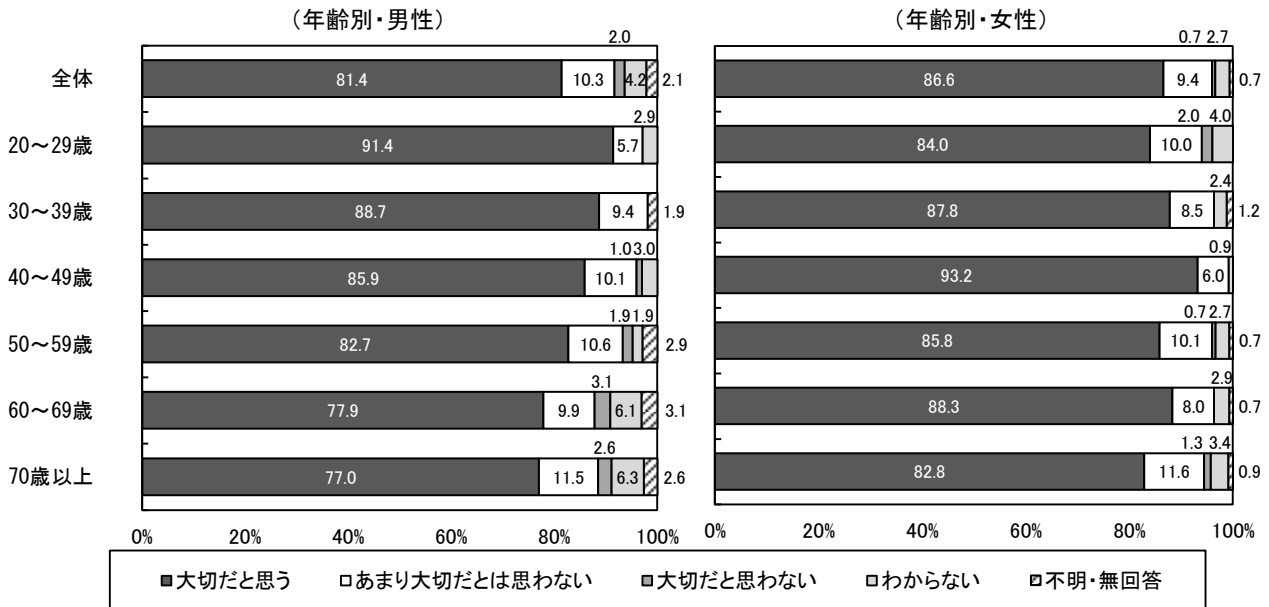


図 3.7-3 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

(人)

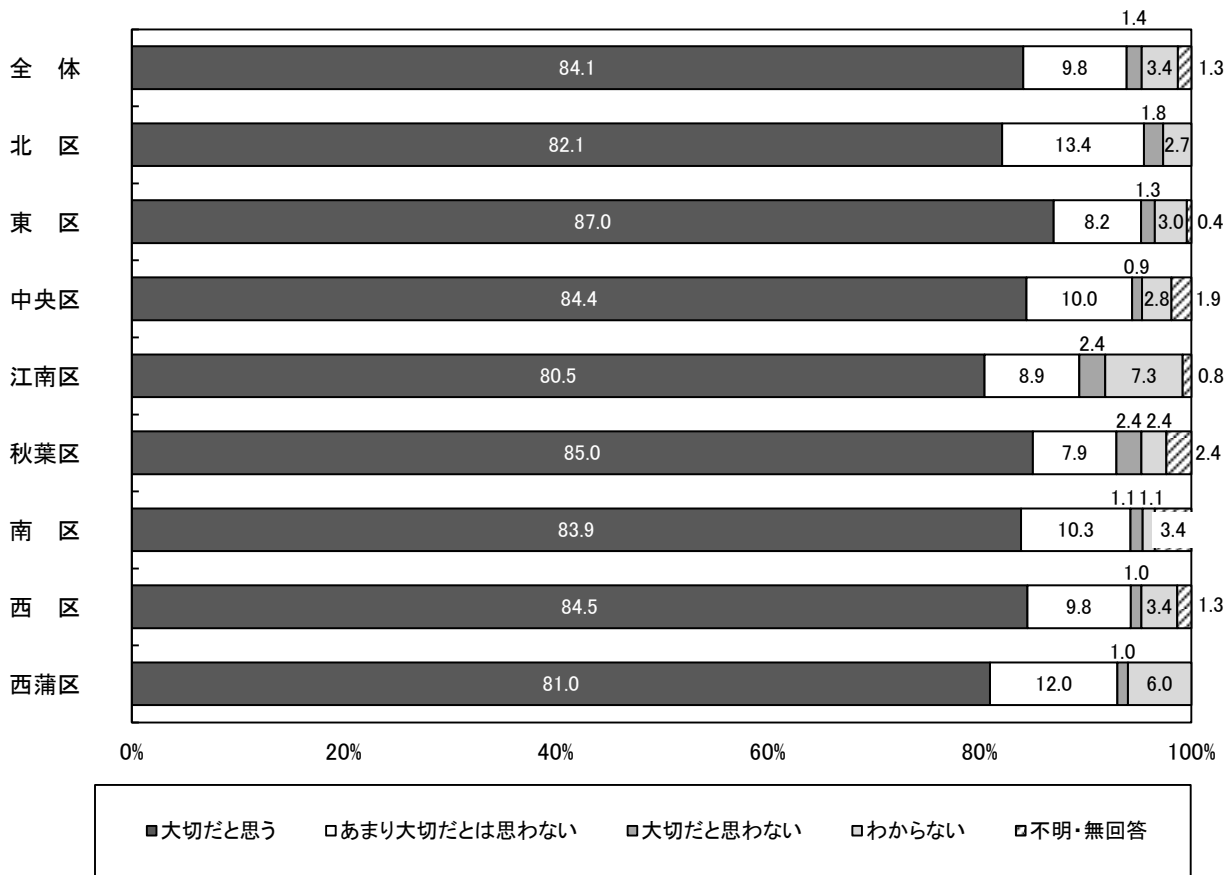
※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。



【地区別】

各地区ともに「大切だと思う」と回答した人が最も多く、全ての区で8割を超えている。

図 3.7-4 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

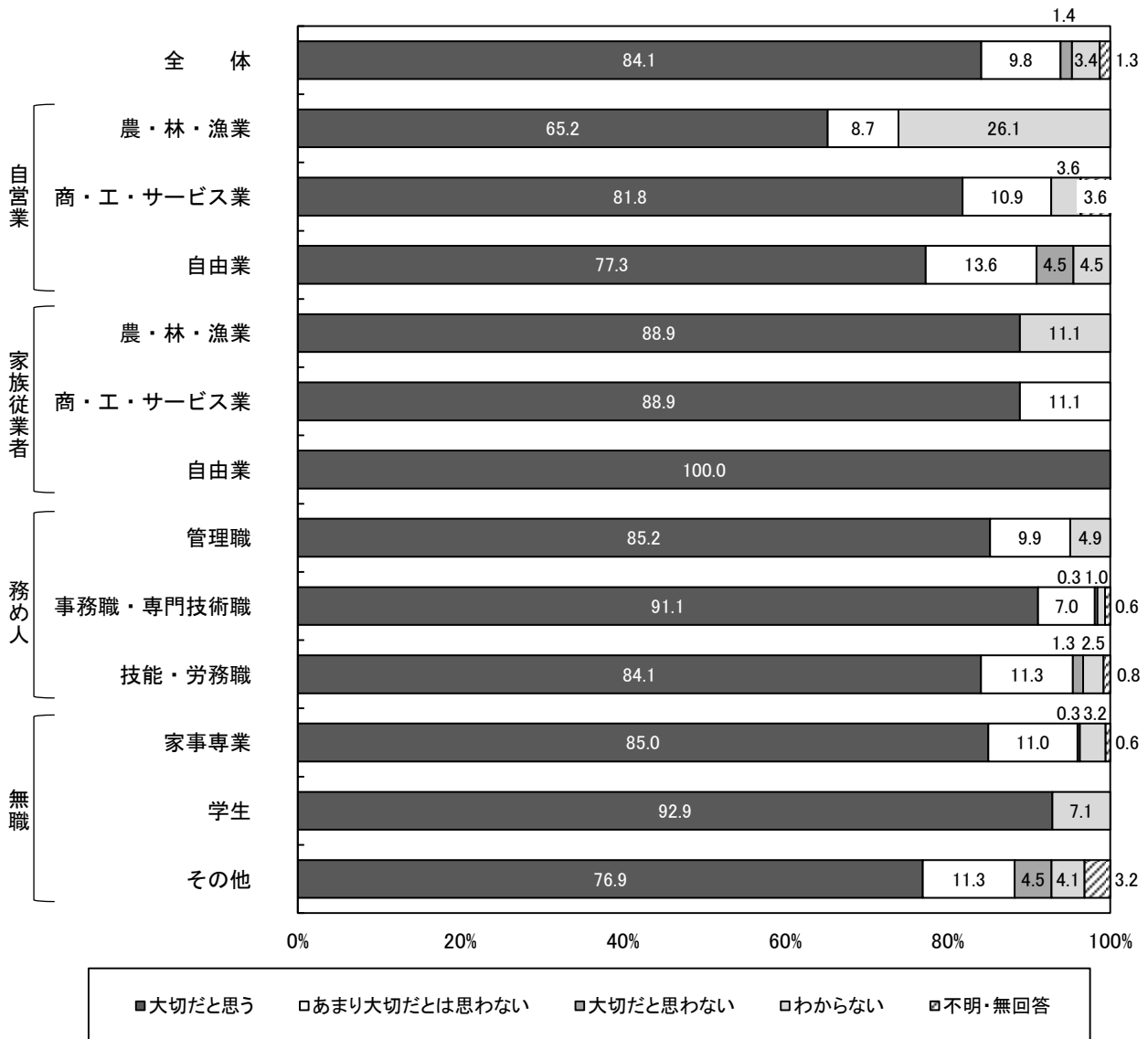
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.7-5 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

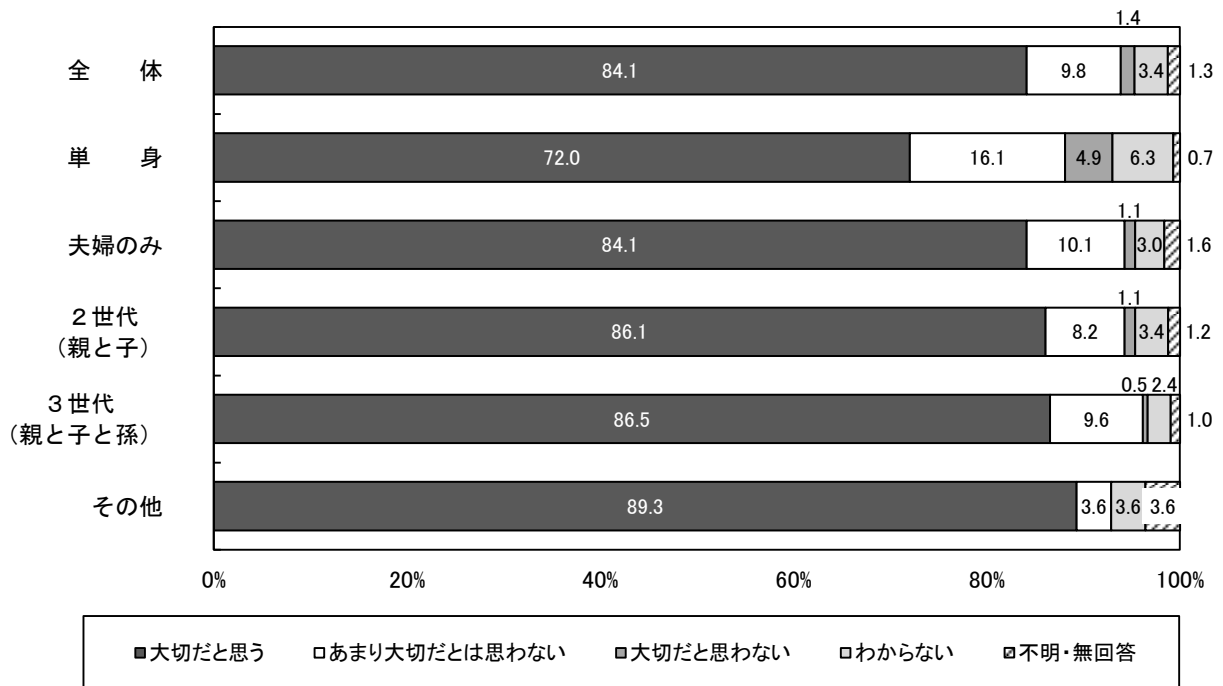
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

各家族構成別とも、「大切だと思う」と回答した人が最も多いが、単身（72.0%）では7割強と、他の家族構成に比べて低くなっている。

図 3.7-6 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (8) 家族と朝食を食べる回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

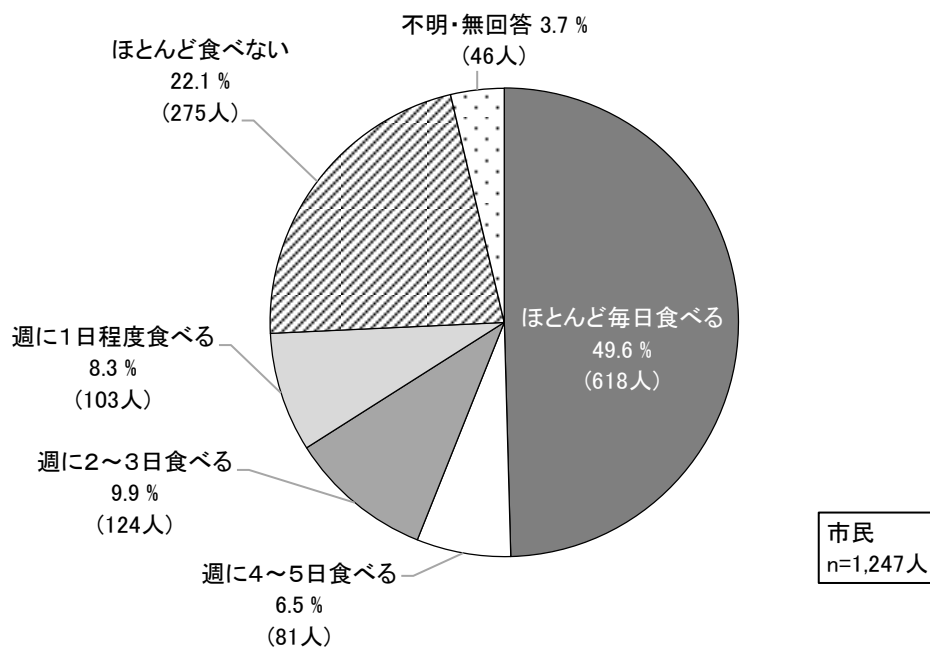
ア) 朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

約5割が「ほとんど毎日食べる」と回答

約5割(49.6%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に4～5日食べる」(6.5%)、「週に2～3日食べる」(9.9%)を合わせると、7割弱(66.0%)の人が家族と一緒に朝食を食べている。

一方、「週に1日程度食べる」(8.3%)、「ほとんど食べない」(22.1%)と回答した、家族と一緒に朝食を食べない人は約3割(30.3%)となっている。

図 3.8 家族と朝食を食べる回数



【性別・年齢別】

30歳以上では「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、70歳以上では6割強となっている。一方、20歳代では4割弱（36.9%）の人が「ほとんど食べない」と回答している

図 3.8-2 家族と朝食を食べる回数（年齢別）

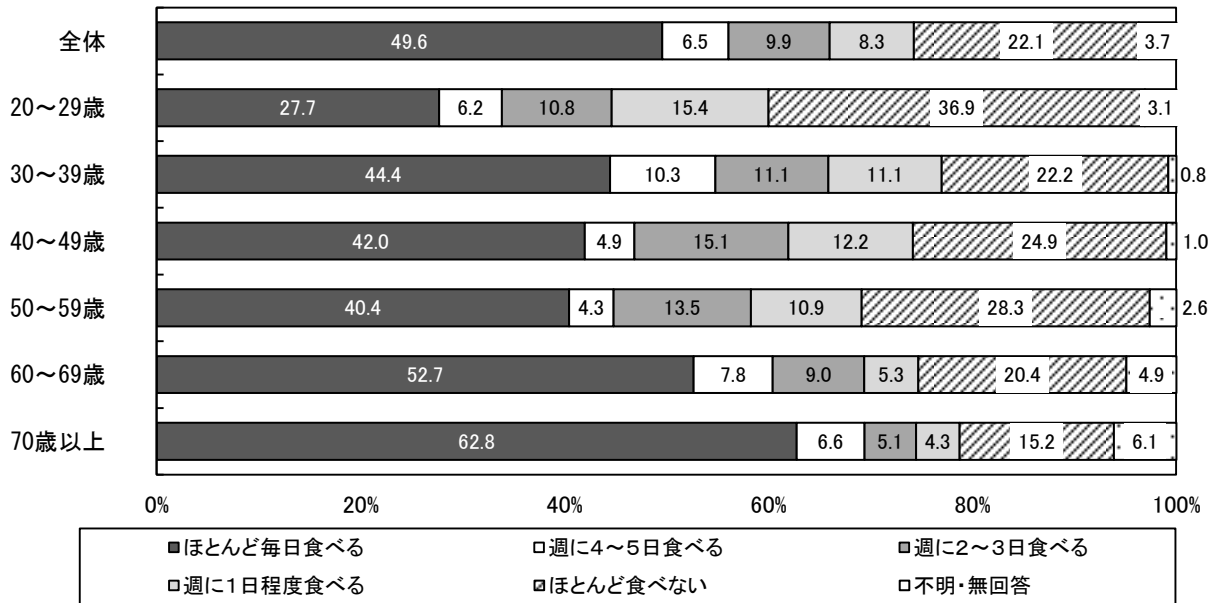
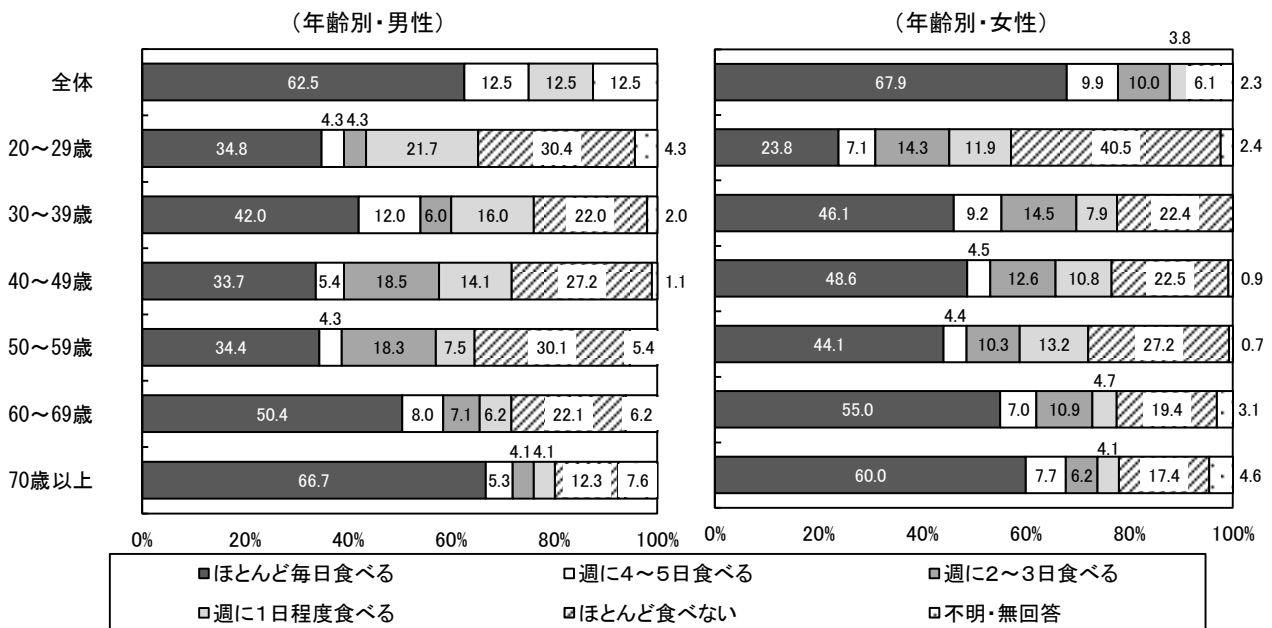


図 3.8-3 家族と朝食を食べる回数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

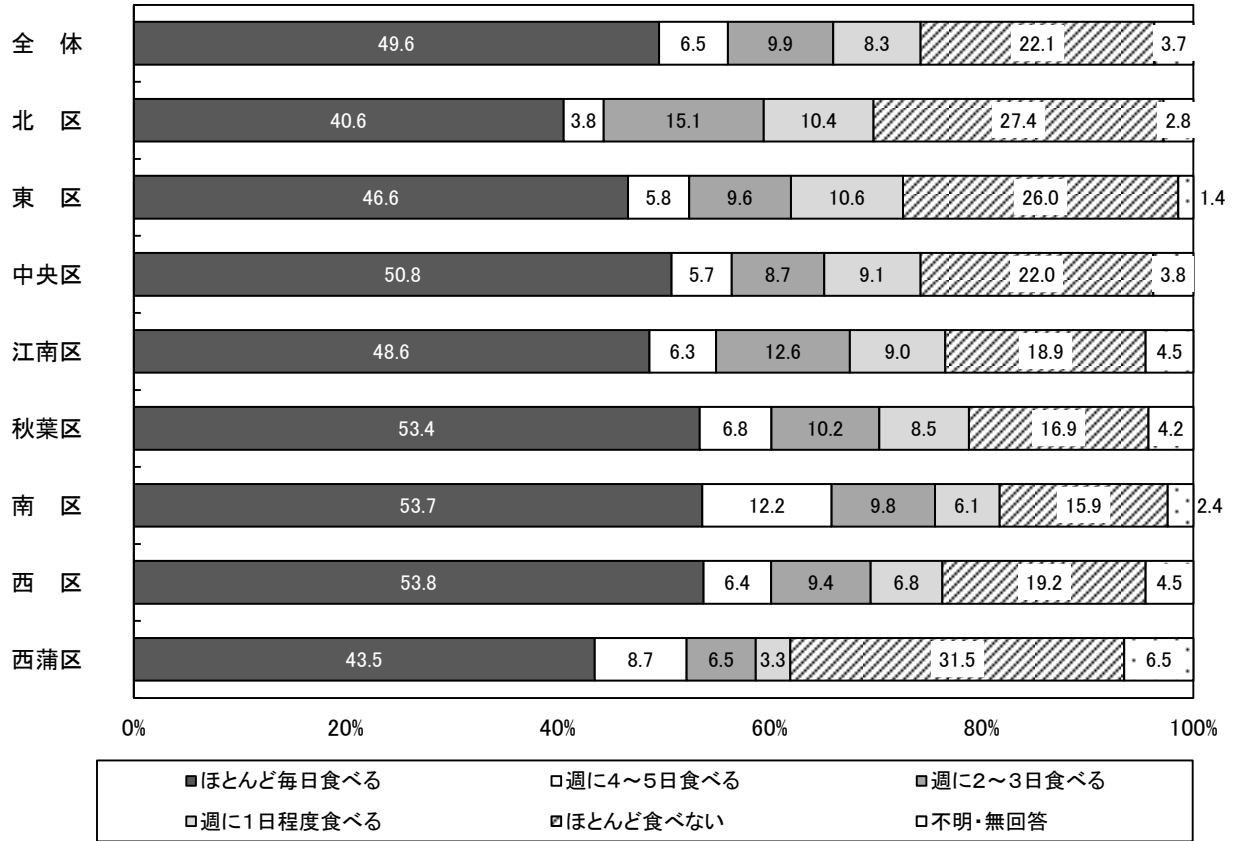
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、秋葉区（53.4%）、南区（53.7%）、西区（58.8%）で高くなっている。一方「ほとんど食べない」の割合は、西蒲区（31.5%）が最も高くなっている。

図 3.8-4 家族と朝食を食べる回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

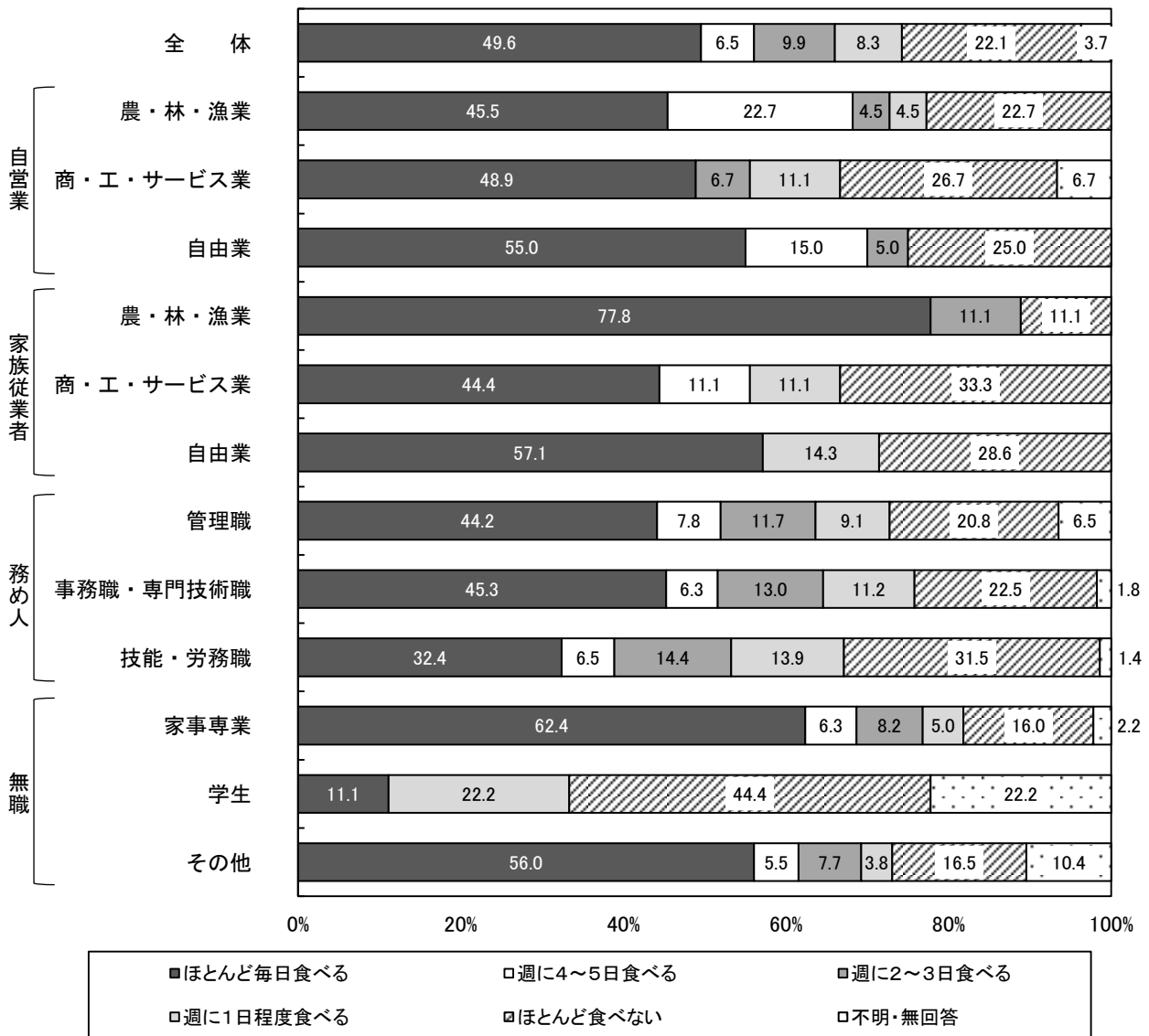
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.8-5 家族と朝食を食べる回数（職業別）



全体	自営業			家族従業者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,247	22	45	20	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
77	285	216	319	9	182	47

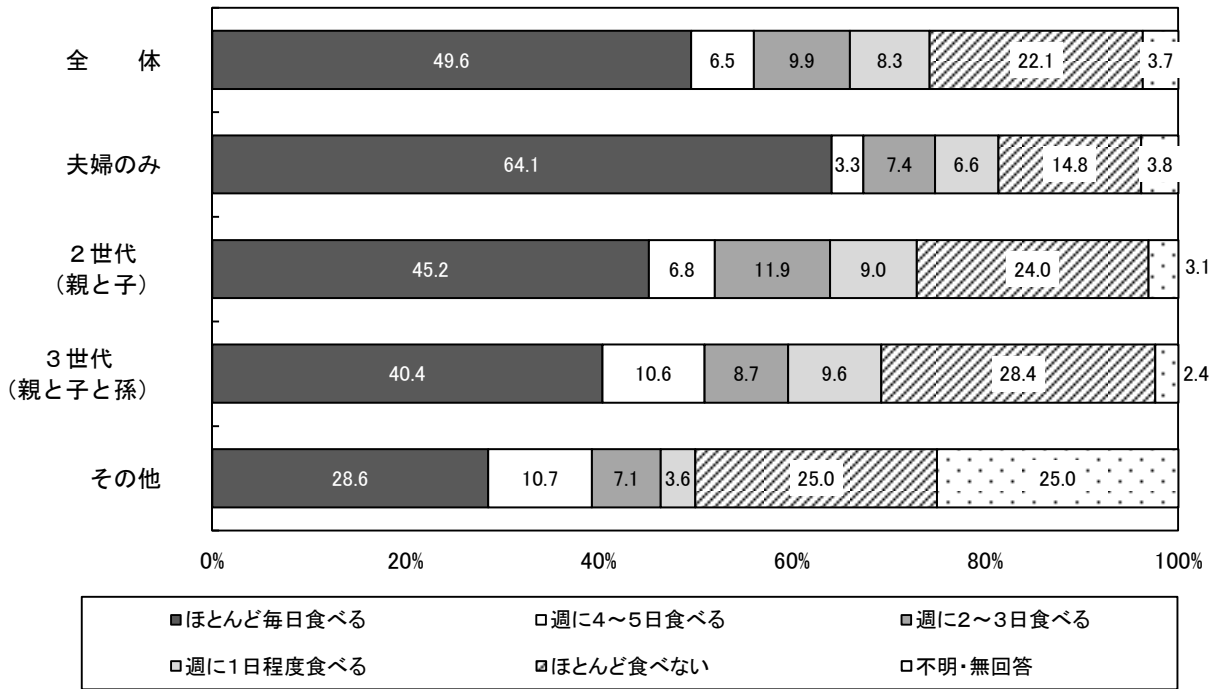
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、夫婦のみ（64.1%）で最も高く、6割強となっている。

図 3.8-6 家族と朝食を食べる回数（家族構成別）



全 体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,247	0	365	646	208	28	0

(人)

※無回答者のグラフは省略した。



## (9) 家族と夕食を食べる回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

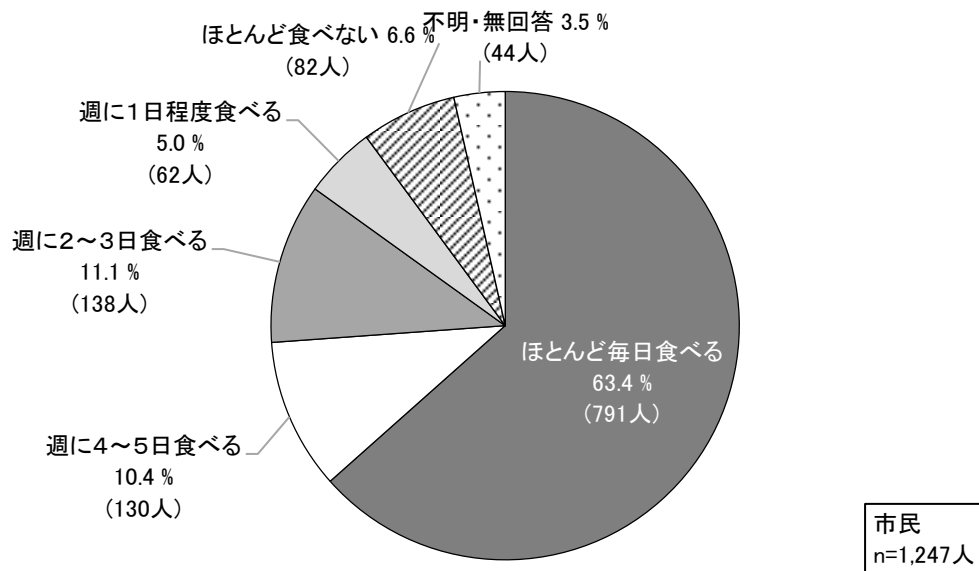
イ) 夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

6割強が「ほとんど毎日食べる」と回答

6割強(63.4%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に4～5日食べる」(10.4%)、「週に2～3日食べる」(11.1%)を合わせると、9割弱(84.9%)の人が家族と一緒に夕食を食べている。

一方、「週に1日程度食べる」(5.0%)、「ほとんど食べない」(6.6%)と回答した、家族と一緒に夕食を食べない人は1割強(11.5%)となっている。

図 3.9 家族と夕食を食べる回数



【性別・年齢別】

各年代とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、70歳以上では7割を超えている。  
 また、性別で見ると、「ほとんど毎日食べる」の割合は、30～60歳代で女性の方が高くなっている。  
 一方、20歳代では、男性（73.9%）と女性を大きく上回っている。

図 3.9-2 家族と食を食べる回数（年齢別）

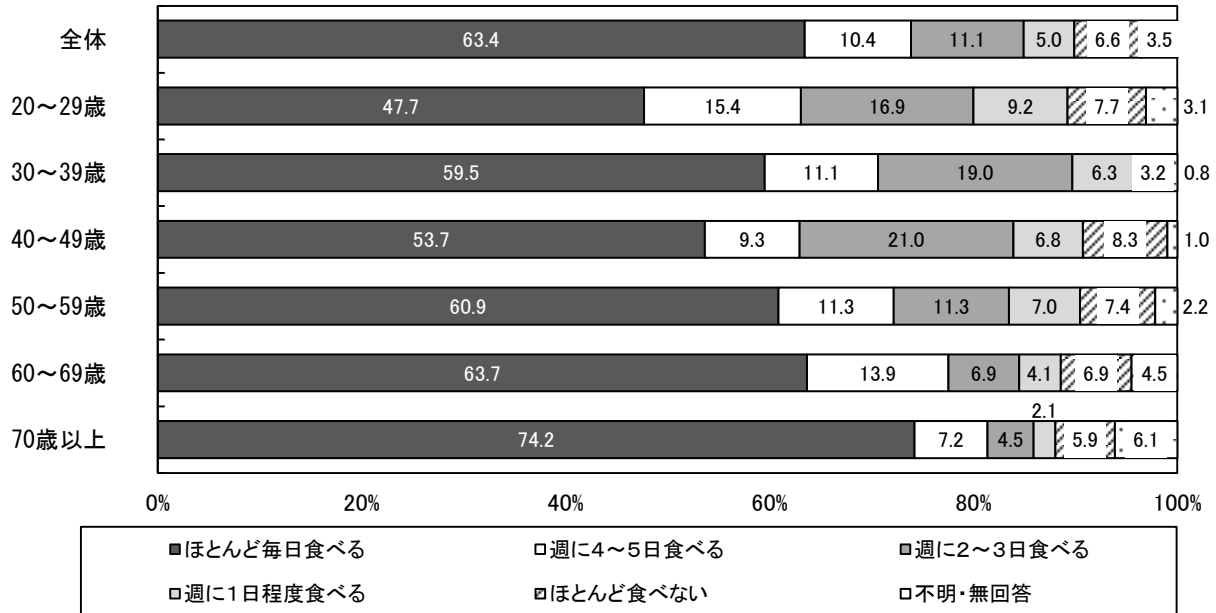
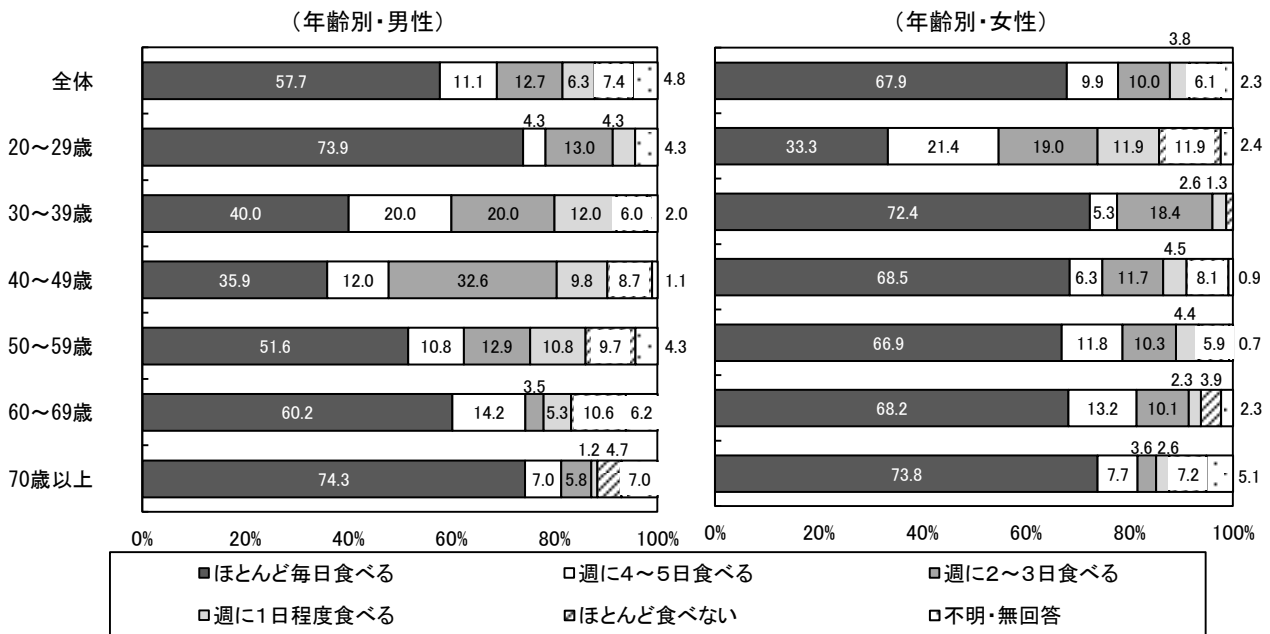


図 3.9-3 家族と夕食を食べる回数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

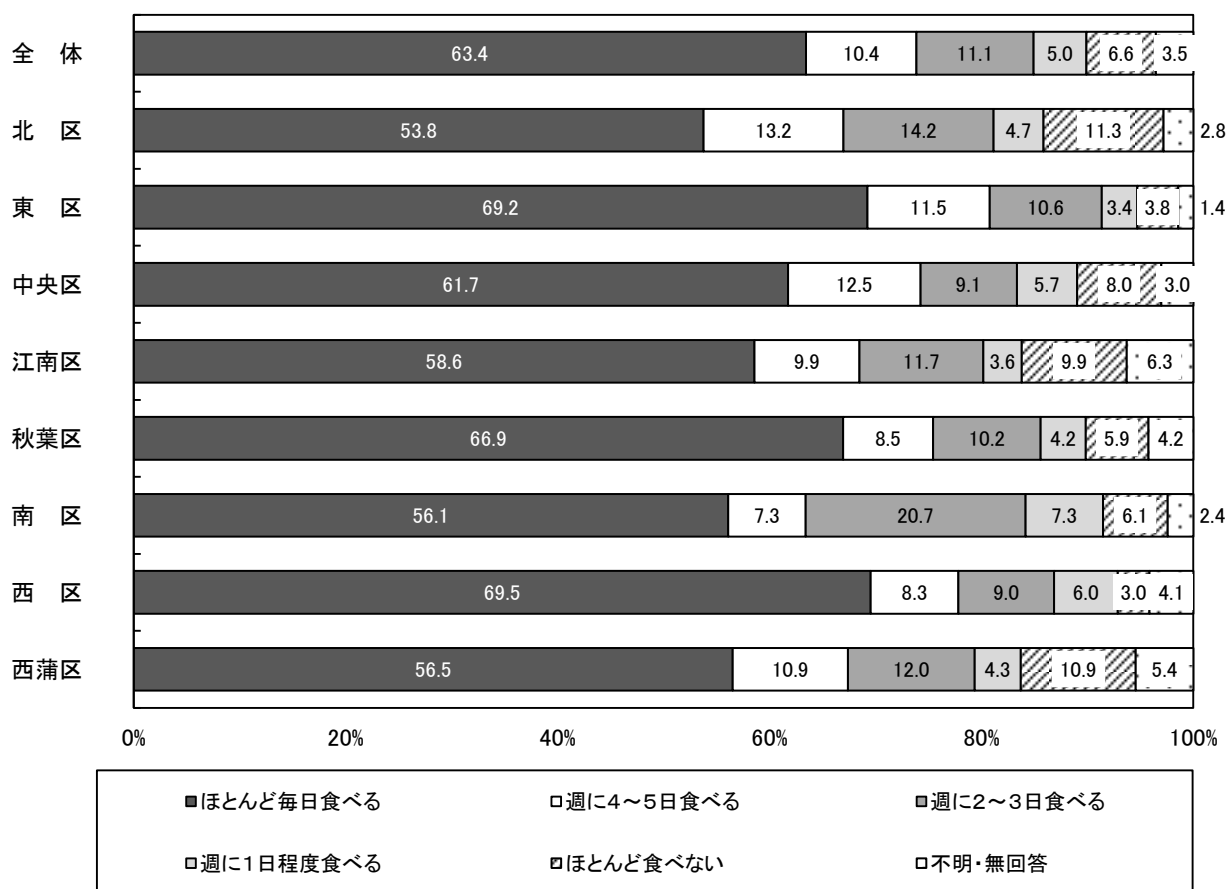
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、西区（69.5%）と東区（69.2%）で割合が高くなっている。

図 3.9-4 家族と夕食を食べる回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

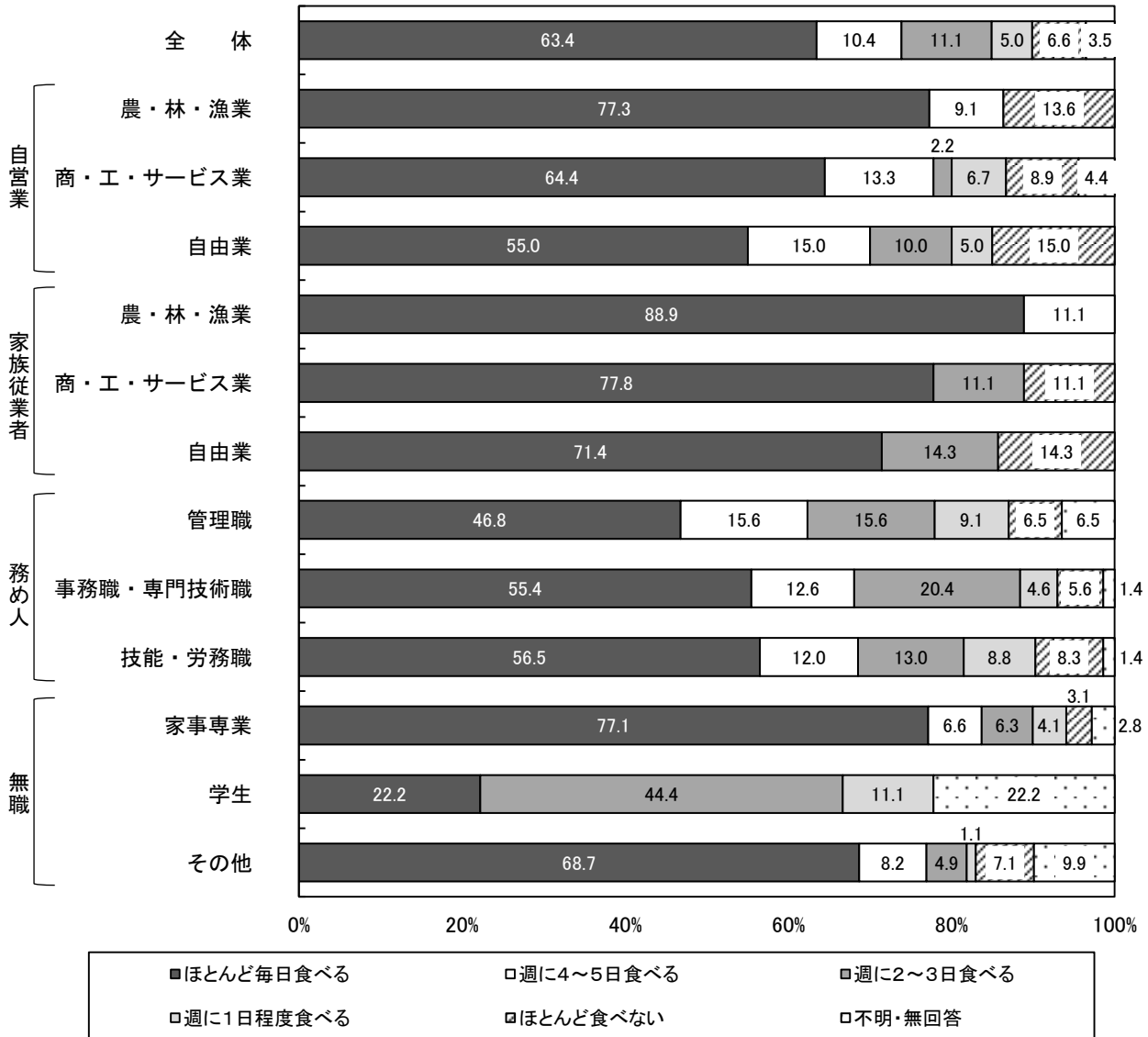
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.9-5 家族と夕食を食べる回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,247	22	45	20	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
77	285	216	319	9	182	47

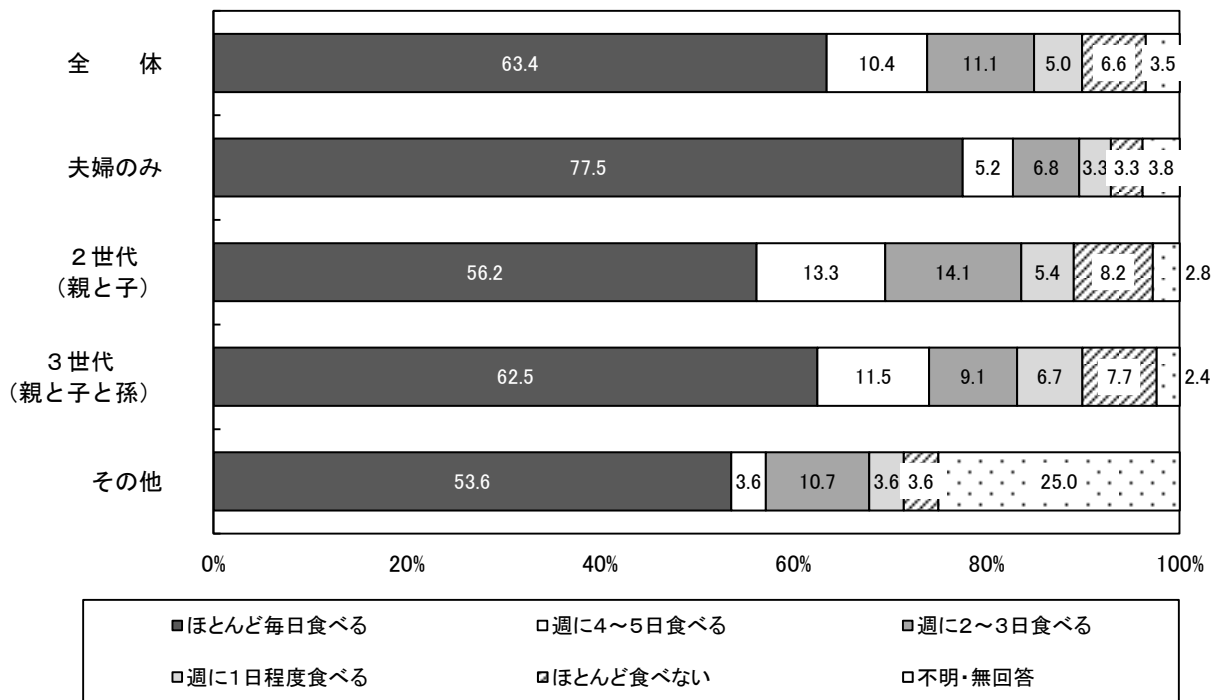
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、夫婦のみ(77.5%)で8割弱と最も高くなっている。

図 3.9-6 家族と夕食を食べる回数(家族構成別)



全 体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,247	0	365	646	208	28	0

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (10) この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

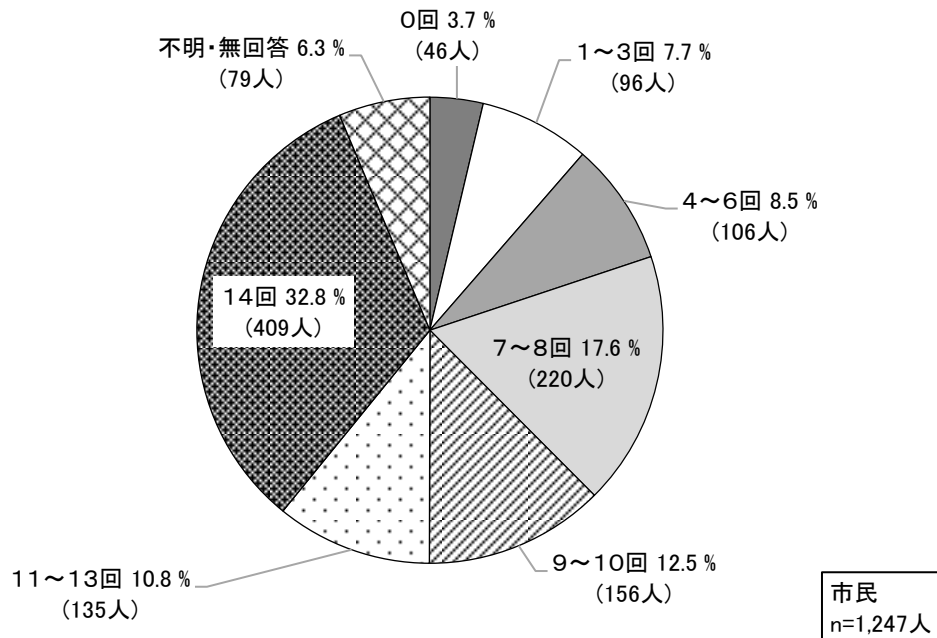
ウ) この1週間で朝食及び夕食を家族と一緒に食べた回数は何回ですか。

3割強が「14回」家族と食事をしたと回答

この1週間で家族と一緒に朝食または夕食を食べた回数が「14回（毎回）」（32.8%）と回答した人が最も多く、次いで「7～8回」（17.6%）、「9～10回」（12.5%）、「11～13回」（10.8%）と続いている。

一方、「0回」（3.7%）、「1～3回」（7.7%）と回答した、家族と食べた回数が少ない人は1割強（11.4%）となっている。

図 3.10 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数



【性別・年齢別】

20歳代では「7～8回」と回答した人が最も多く、その他の年齢層では「14回」と回答した人が最も多くなっている。

また、性別で見ると、「14回」の割合は20歳代と70歳以上では男性の方が女性より高くなっている。

図 3.10-2 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（年齢別）

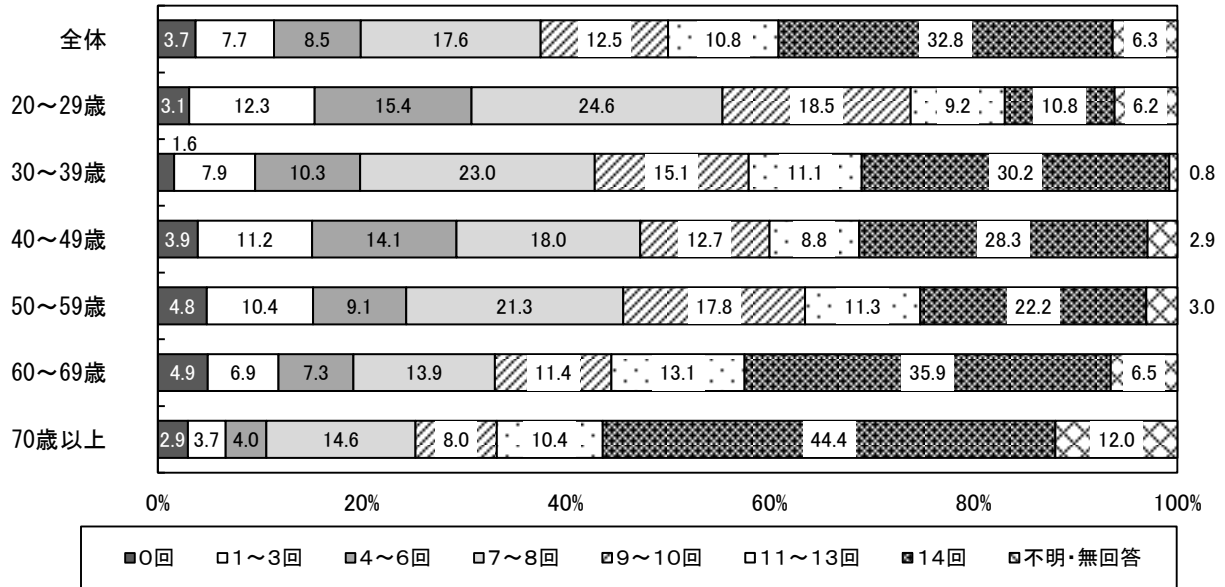
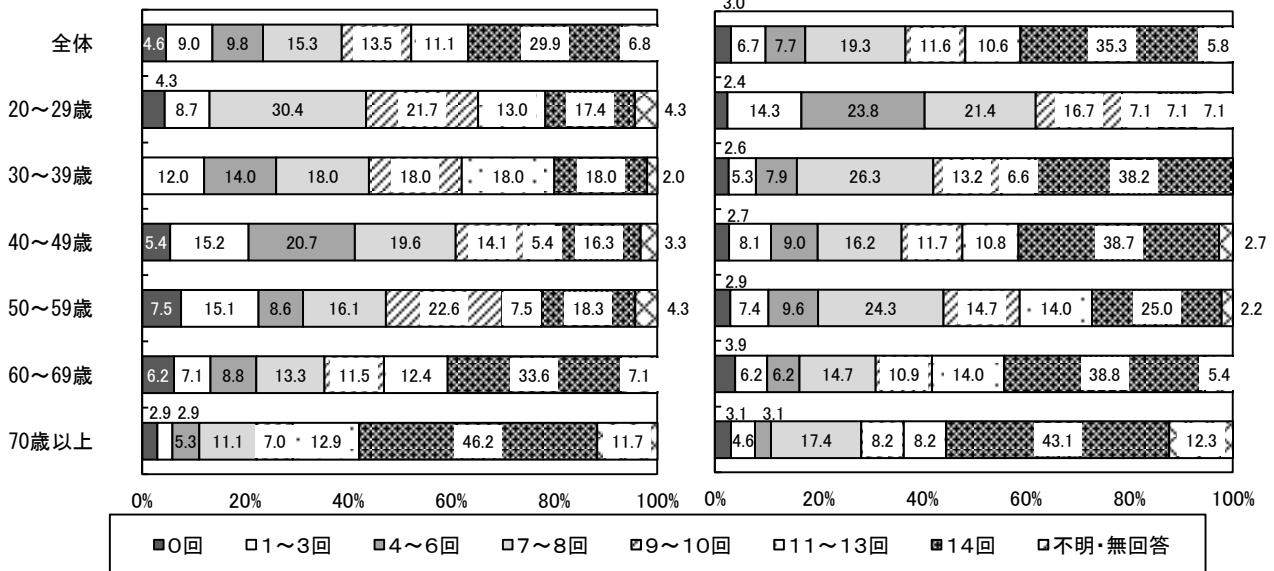


図 3.10-3 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

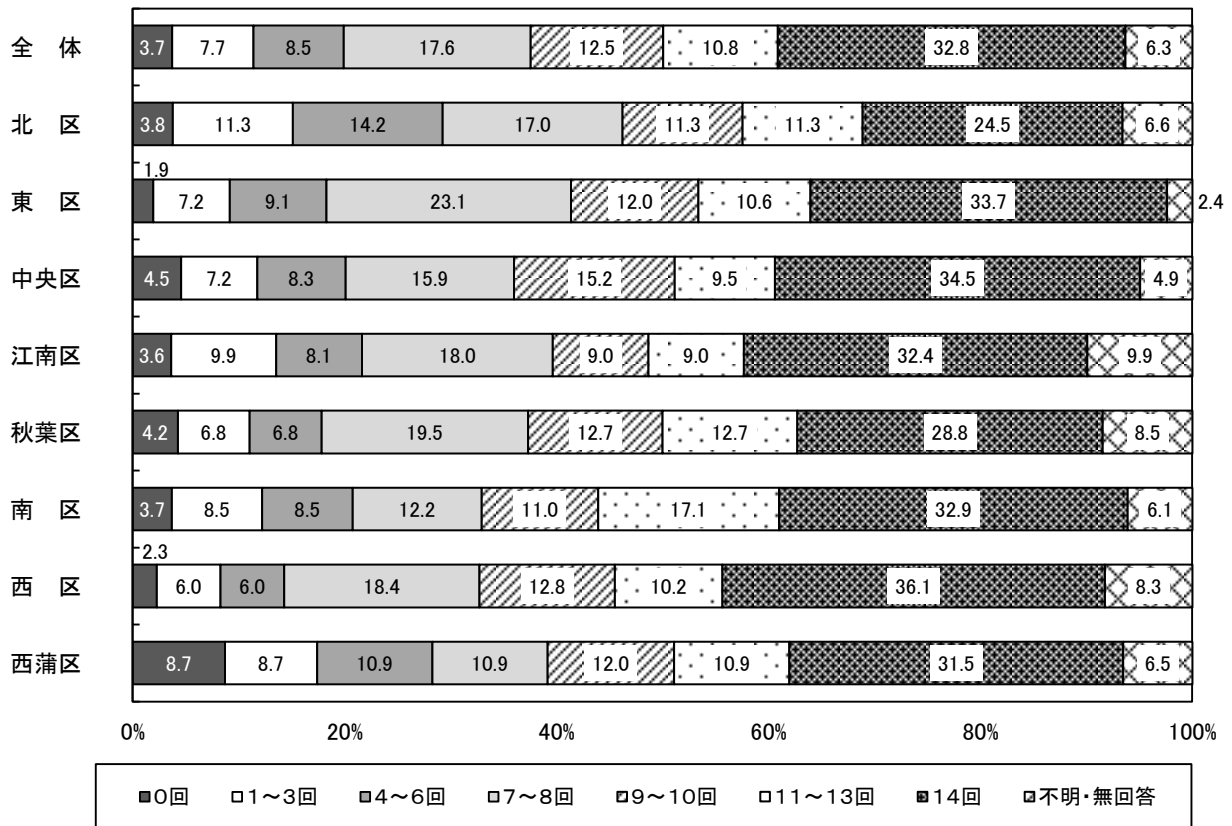
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「14回」と回答した人が最も多くなっている。

図 3.10-4 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

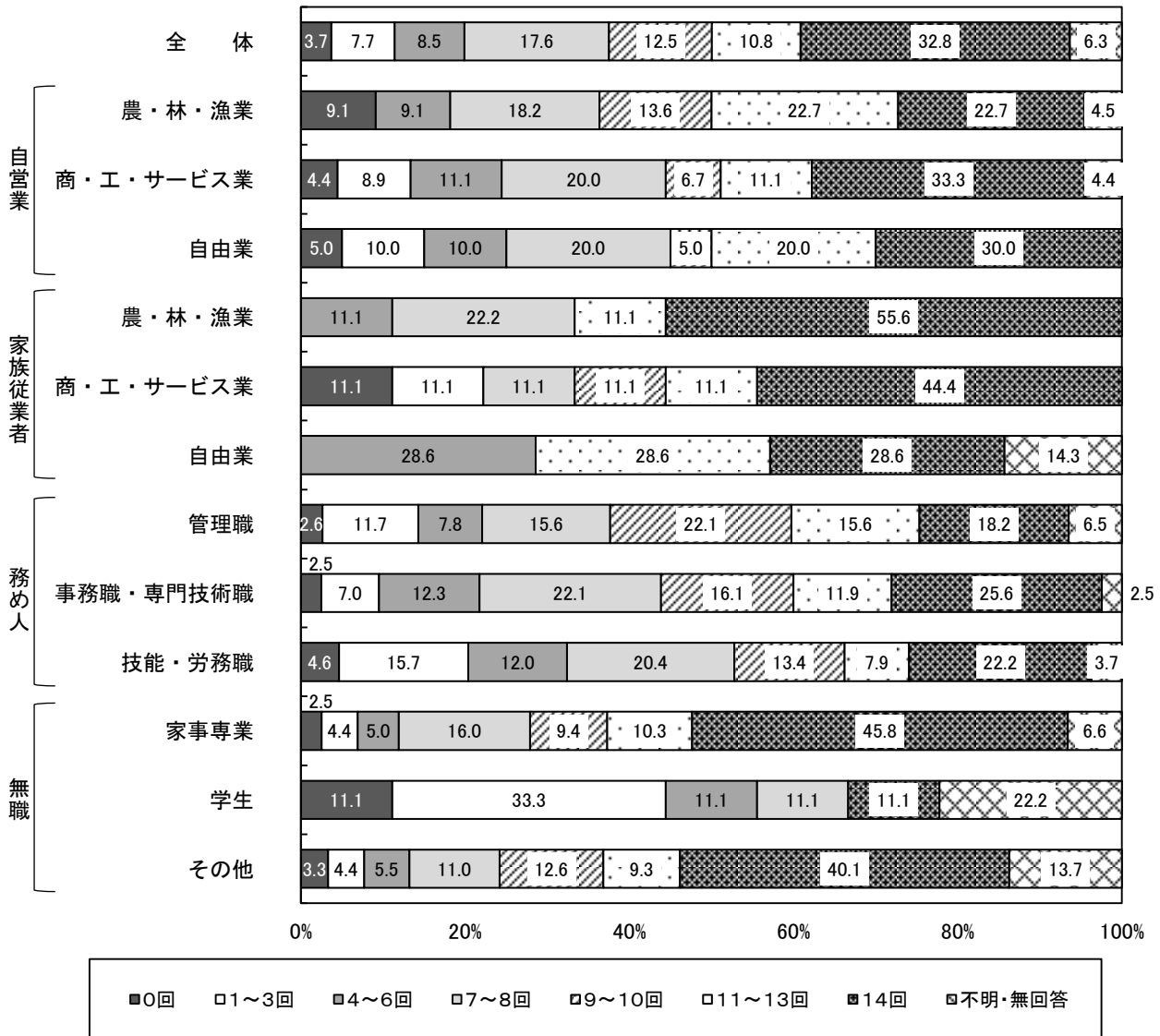
※地区不明者のグラフは省略した。



【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.10-5 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,247	22	45	20	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
77	285	216	319	9	182	47

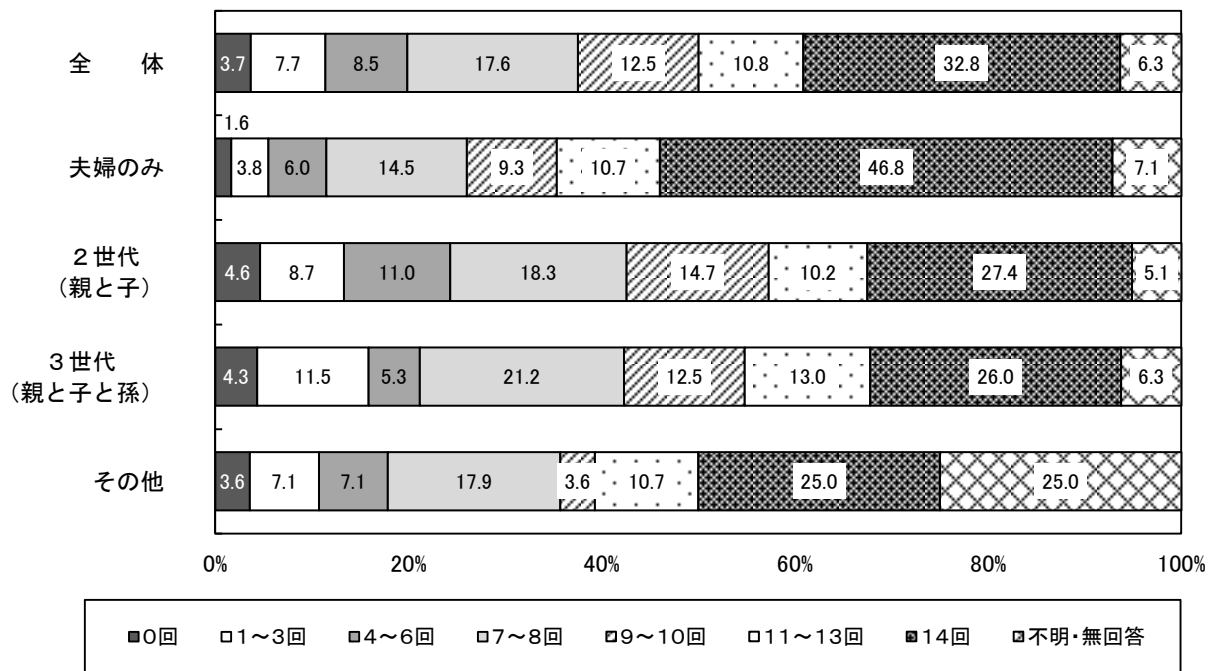
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「14回」と回答した人の割合は、夫婦のみ（46.8%）で最も高く、5割弱となっている。

図 3.10-6 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,247	0	365	646	208	28	0

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

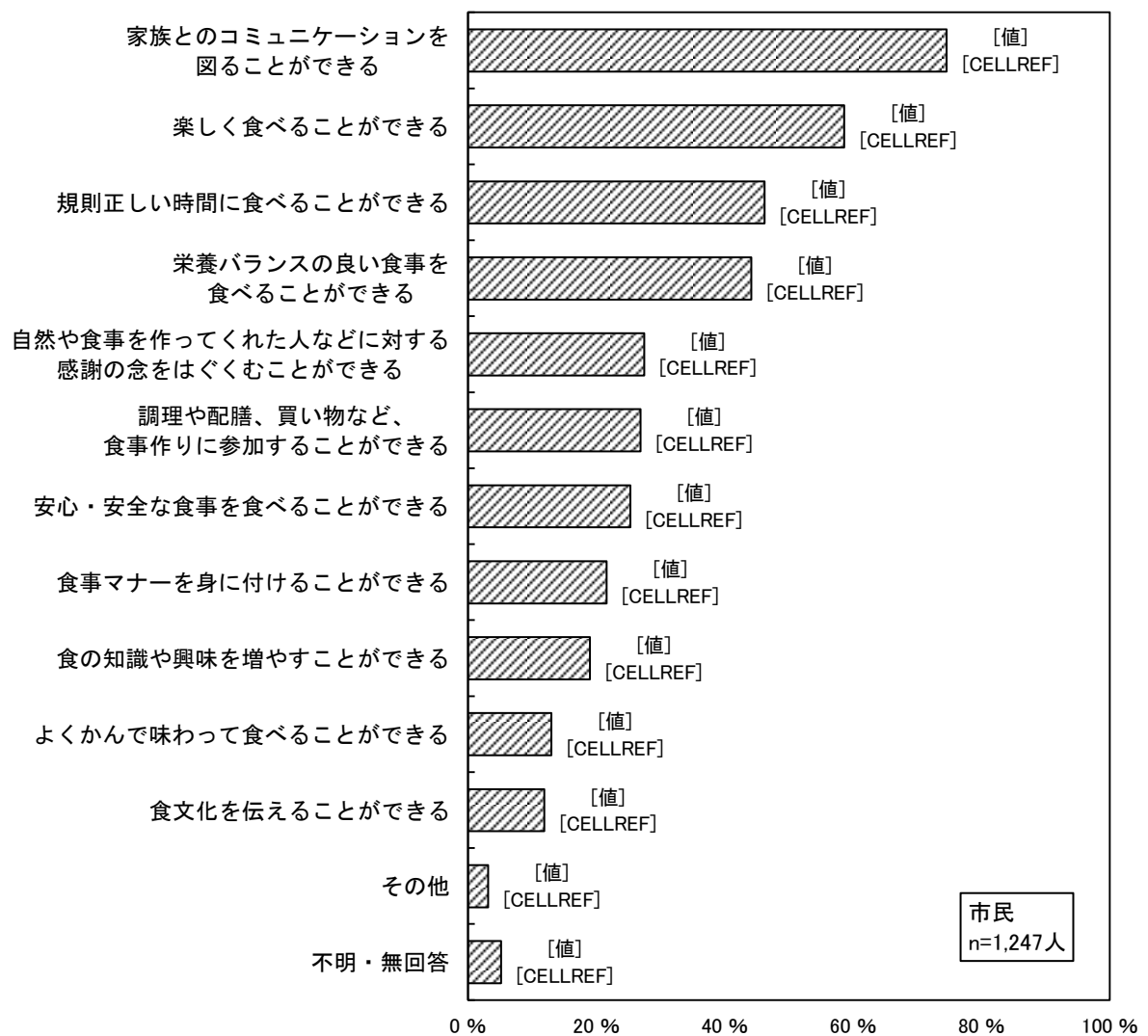
## (11) 家族と食事を一緒に食べることの良い点

問19 食事を家族と一緒に食べることは、一人で食べるよりどのような良い点があると思いますか。  
(〇はいくつでも)

8割弱が「家族とのコミュニケーションを図ることができる」と回答

家族と食事を一緒にすることの良い点は、「家族とのコミュニケーションを図ることができる」(74.6%)をあげる人が最も多くなっている。以下「楽しく食べることができる」(58.6%)、「規則正しい時間に食べることができる」(46.2%)、「栄養バランスの良い食事を食べることができる」(44.1%)と続いている。

図 3.11 家族と食事を一緒に食べることの良い点



## 【性別・年齢別】

各年代とも、「楽しく食べることができる」、「家族とのコミュニケーションを図ることができる」の割合が高くなっている。60歳以上では「規則正しい時間に食べることができる」の割合も高くなっている。

表 3.1 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・全体）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	安心・安全な食事を食べることができる	食事マナーを身に付けることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よくかんで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	1247	74.6	58.6	46.2	44.1	27.4	26.9	25.3	21.6	19.0	13.0	11.9	3.1	5.1
20～29歳	65	80.0	61.5	35.4	43.1	23.1	26.2	21.5	16.9	10.8	7.7	6.2	7.7	4.6
30～39歳	126	82.5	72.2	34.9	45.2	31.0	32.5	19.8	39.7	23.0	10.3	14.3	0.8	1.6
40～49歳	205	84.4	66.8	34.1	35.6	27.8	26.3	14.1	32.2	19.5	9.8	10.2	2.9	3.4
50～59歳	230	83.9	60.9	40.9	47.4	27.4	24.3	20.4	21.7	16.5	8.7	12.6	2.2	3.5
60～69歳	245	73.1	55.1	55.5	45.3	22.9	28.6	28.6	12.7	20.0	12.2	13.5	3.3	5.7
70歳以上	376	60.9	50.0	55.6	45.7	29.8	25.8	34.6	16.2	19.7	19.7	11.4	3.7	8.0
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表 3.2 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・男性）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	安心・安全な食事を食べることができる	食事マナーを身に付けることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よくかんで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	542	74.7	57.7	41.7	39.9	32.1	24.5	23.8	17.9	15.5	11.3	10.0	2.2	7.2
20～29歳	23	82.6	73.9	47.8	69.6	17.4	30.4	21.7	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3
30～39歳	50	74.0	70.0	30.0	34.0	36.0	22.0	20.0	32.0	18.0	10.0	12.0	2.0	4.0
40～49歳	92	87.0	62.0	30.4	32.6	28.3	22.8	10.9	27.2	13.0	5.4	5.4	0.0	3.3
50～59歳	93	84.9	60.2	33.3	38.7	38.7	19.4	16.1	19.4	14.0	4.3	12.9	1.1	6.5
60～69歳	113	74.3	56.6	46.9	37.2	24.8	23.9	24.8	8.8	14.2	13.3	8.0	3.5	8.0
70歳以上	171	62.0	49.1	51.5	43.9	36.3	28.7	35.7	14.0	18.7	18.1	12.3	2.9	10.5
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

表 3.3 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・女性）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	安心・安全な食事を食べることができる	食事マナーを身に付けることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よくかんで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	689	75.3	59.8	49.6	47.6	23.9	28.6	26.4	24.5	21.6	14.4	13.4	3.6	3.2
20～29歳	42	78.6	54.8	28.6	28.6	26.2	23.8	21.4	16.7	11.9	9.5	7.1	9.5	4.8
30～39歳	76	88.2	73.7	38.2	52.6	27.6	39.5	19.7	44.7	26.3	10.5	15.8	0.0	0.0
40～49歳	111	83.8	71.2	36.9	37.8	27.9	28.8	16.2	36.9	24.3	12.6	13.5	4.5	3.6
50～59歳	136	83.8	61.8	46.3	53.7	19.9	27.9	23.5	23.5	18.4	11.8	12.5	2.9	0.7
60～69歳	129	72.9	54.3	63.6	52.7	21.7	33.3	32.6	16.3	25.6	11.6	18.6	3.1	3.1
70歳以上	195	60.5	51.3	59.0	47.7	24.1	22.6	33.8	17.4	20.0	21.5	10.8	4.1	5.6
年齢不明	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

対象者：人／回答：%

(12) 家族との食事に対する意識

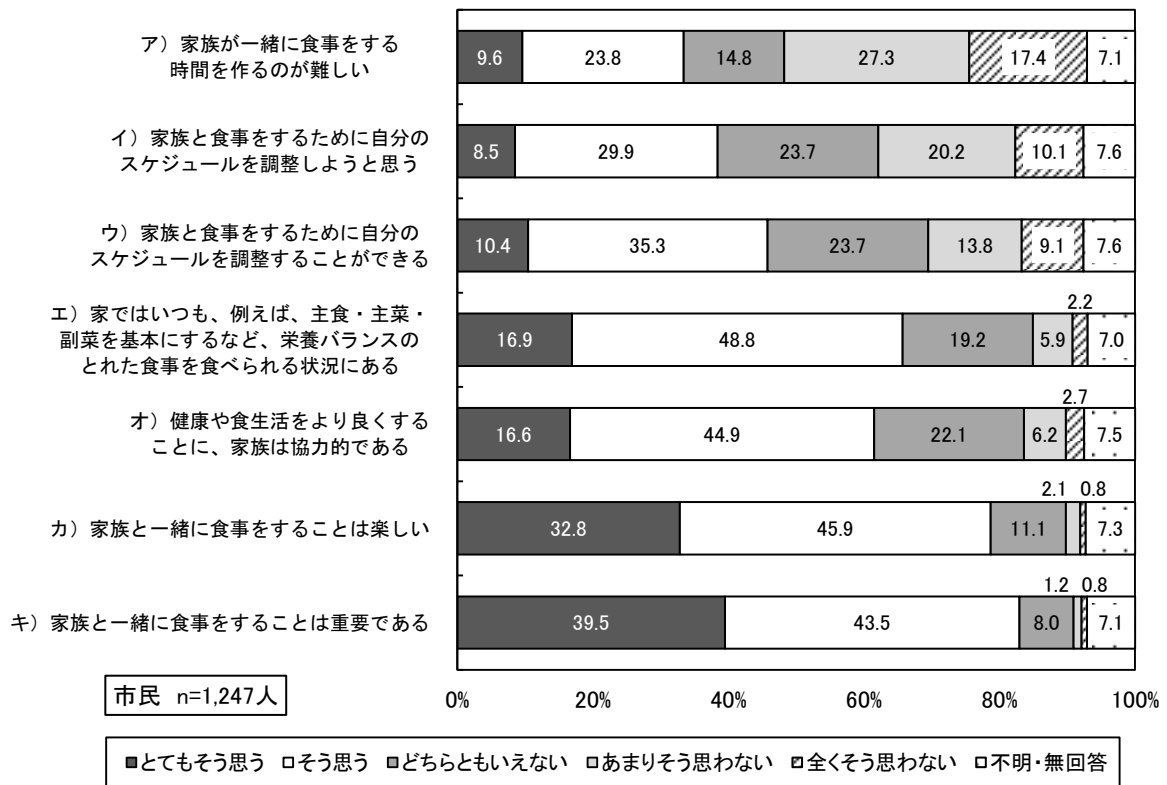
問20 家族との食事について伺います。(項目毎に○は1つだけ)

8割強が「家族と一緒に食事をすることは重要である」、  
8割弱が「家族と一緒に食事をすることは楽しい」と回答

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人を合わせた割合は、『キ) 家族と一緒に食事をするこ  
とは重要である』の項目で8割強 (82.9%)、『カ) 家族と一緒に食事をするこは楽しい』の項目で8割  
弱 (78.7%) と高くなっている。

一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した人を合わせた割合は、『ア) 家族が一  
緒に食事をする時間を作るのが難しい』の項目が5割弱 (44.7%) と高くなっている。

図 3.12 家族との食事に対する意識



	全体	とてもそ う思う	そう思 う	どちら ともい えない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	無回 答
ア) 家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい	1,247	120	297	185	340	217	88
イ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う	1,247	106	373	295	252	126	95
ウ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる	1,247	130	440	296	172	114	95
エ) 家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある	1,247	211	609	240	73	27	87
オ) 健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である	1,247	207	560	276	77	34	93
カ) 家族と一緒に食事をするこは楽しい	1,247	409	572	139	26	10	91
キ) 家族と一緒に食事をするこは重要である	1,247	492	542	100	15	10	88

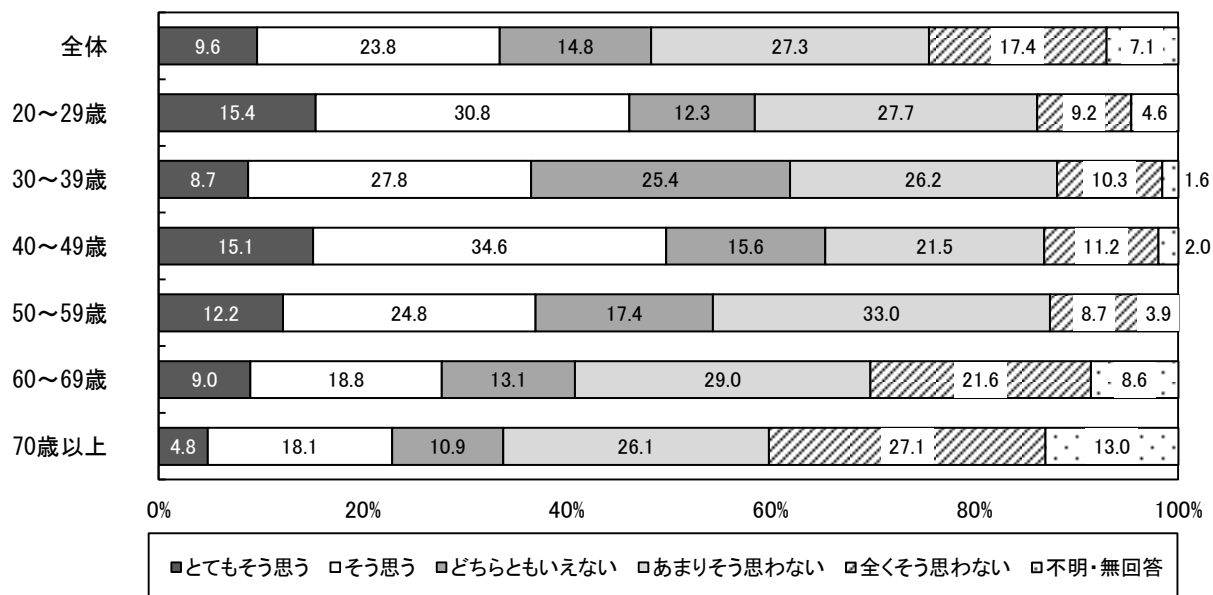
(人)

## ア) 家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい

## 【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、40歳代(49.8%)で最も高く、70歳以上(22.9%)で最も低くなっている。

図 3.12-2 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい〕  
(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

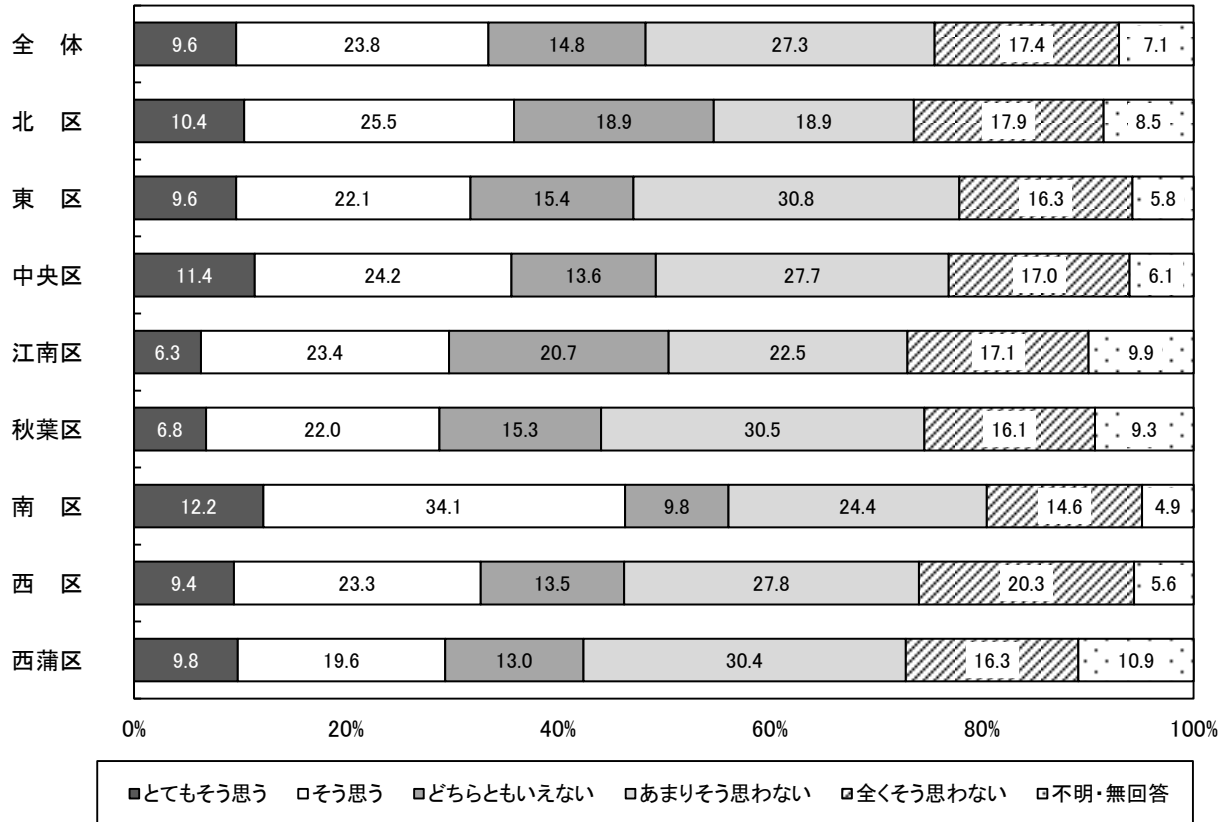
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、南区（46.3%）で最も高く、秋葉区（28.8%）で最も低くなっている。

図 3.12-3 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

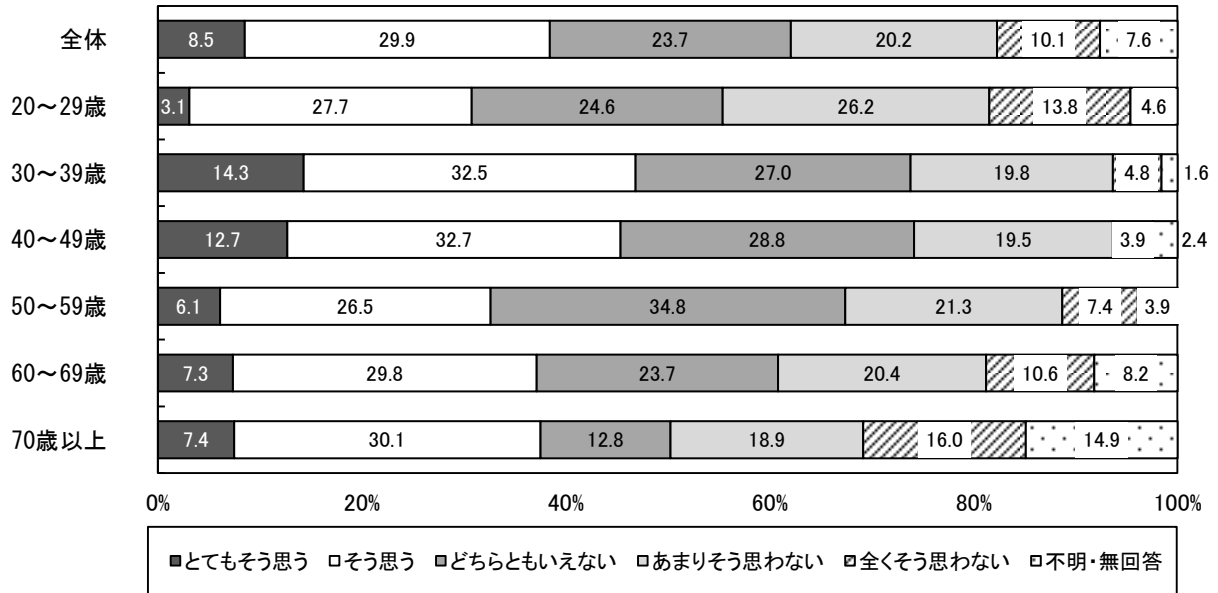


イ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(46.8%)で最も高く、20歳代(30.8%)で最も低くなっている。

図 3.12-4 家族との食事に対する意識  
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う〕(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

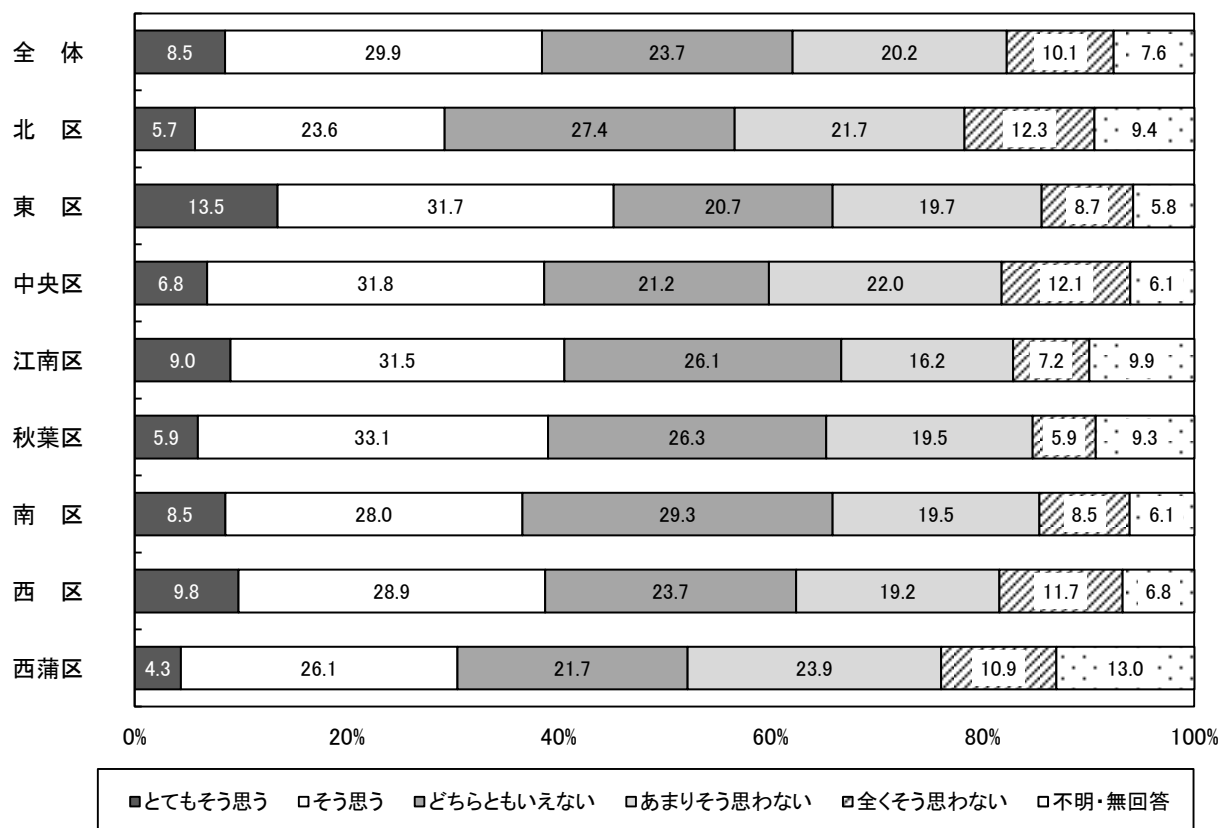
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、東区（45.2%）で最も高く、北区（29.2%）で最も低くなっている。

図 3.12-5 家族との食事に対する意識  
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

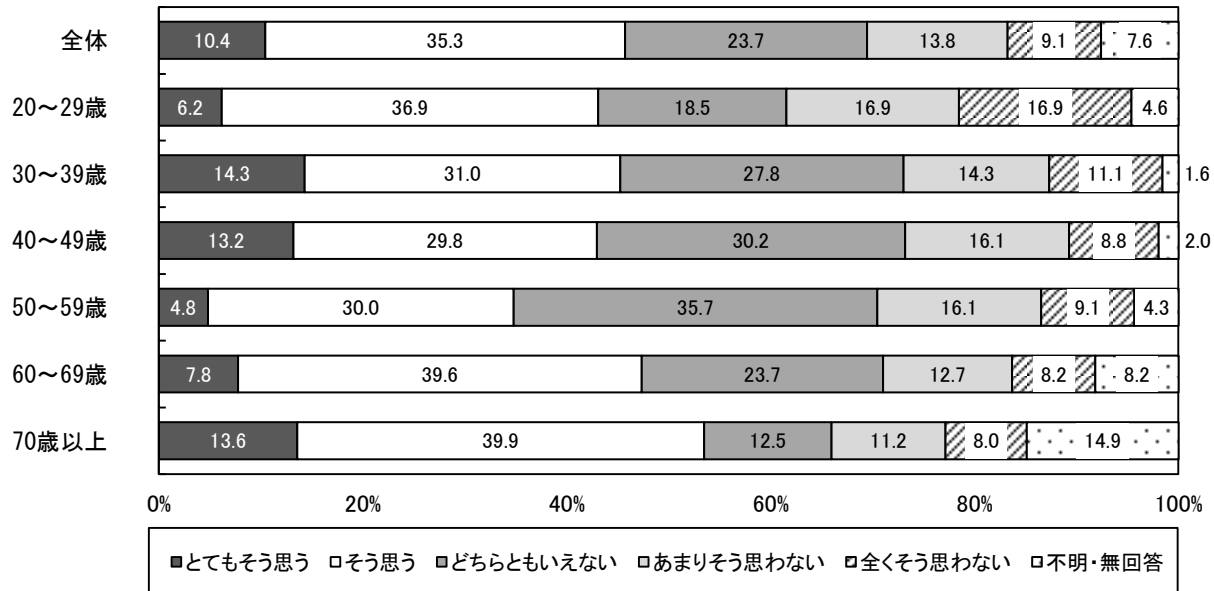
## ウ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる

## 【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、70歳以上(53.5%)で最も高く、50歳代(34.8%)で最も低くなっている。

図 3.12-6 家族との食事に対する意識

〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる〕(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

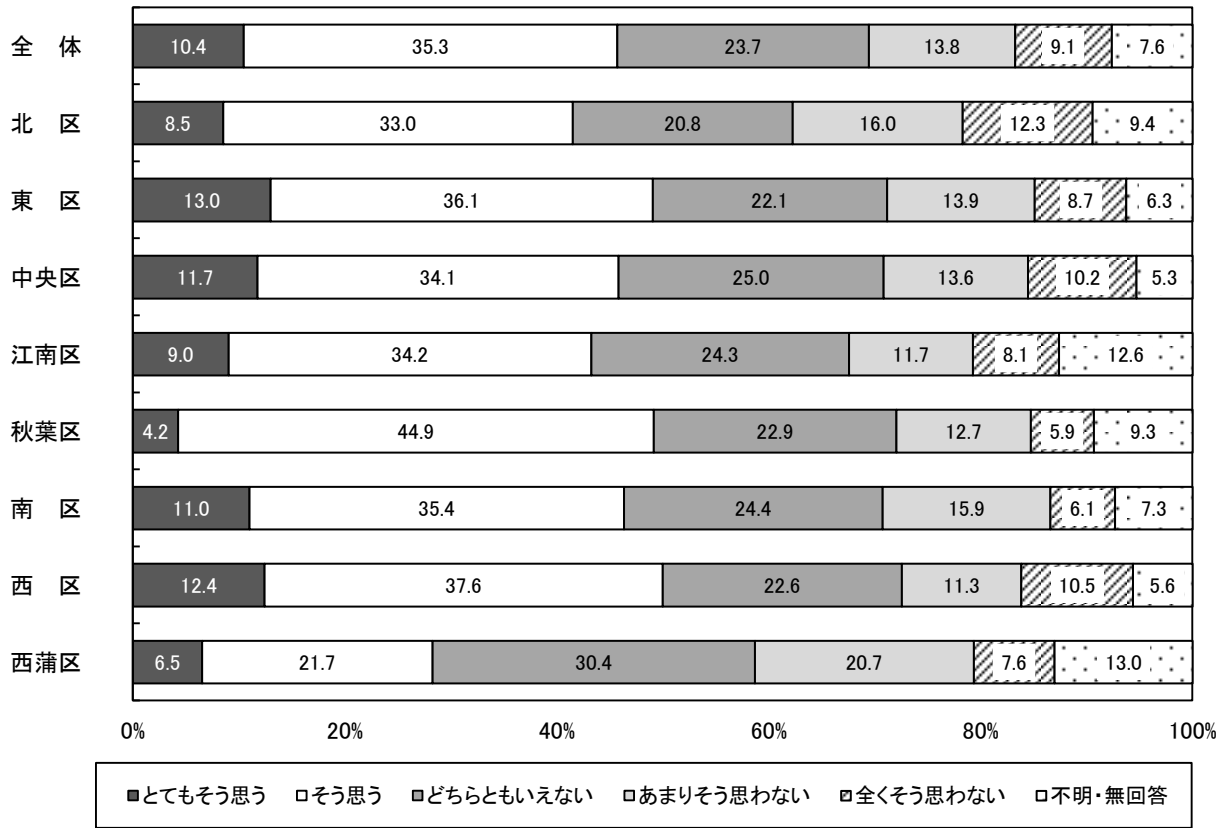
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、東区(49.0%)、秋葉区(49.2%)、西区(50.0%)で高く、西蒲区(28.3%)で最も低くなっている。

図 3.12-7 家族との食事に対する意識  
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる〕(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

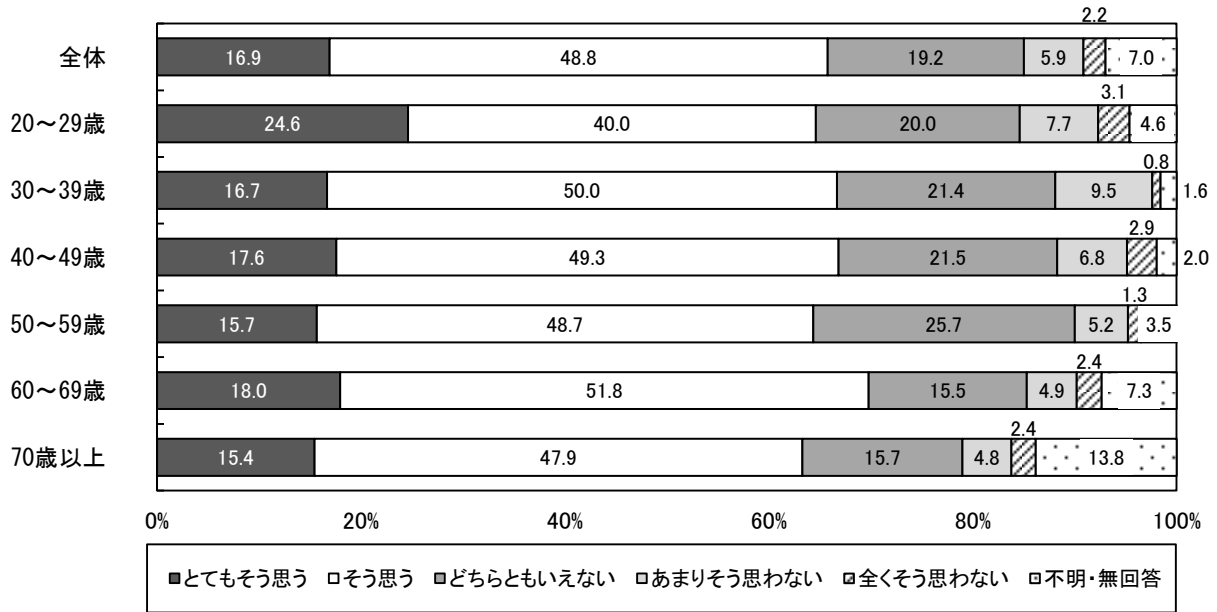
※地区不明者のグラフは省略した。

エ) 家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、60歳代(69.8%)で最も高く、70歳代(63.3%)で最も低くなっている。

図 3.12-8 家族との食事に対する意識  
 [家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、  
 栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある] (年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

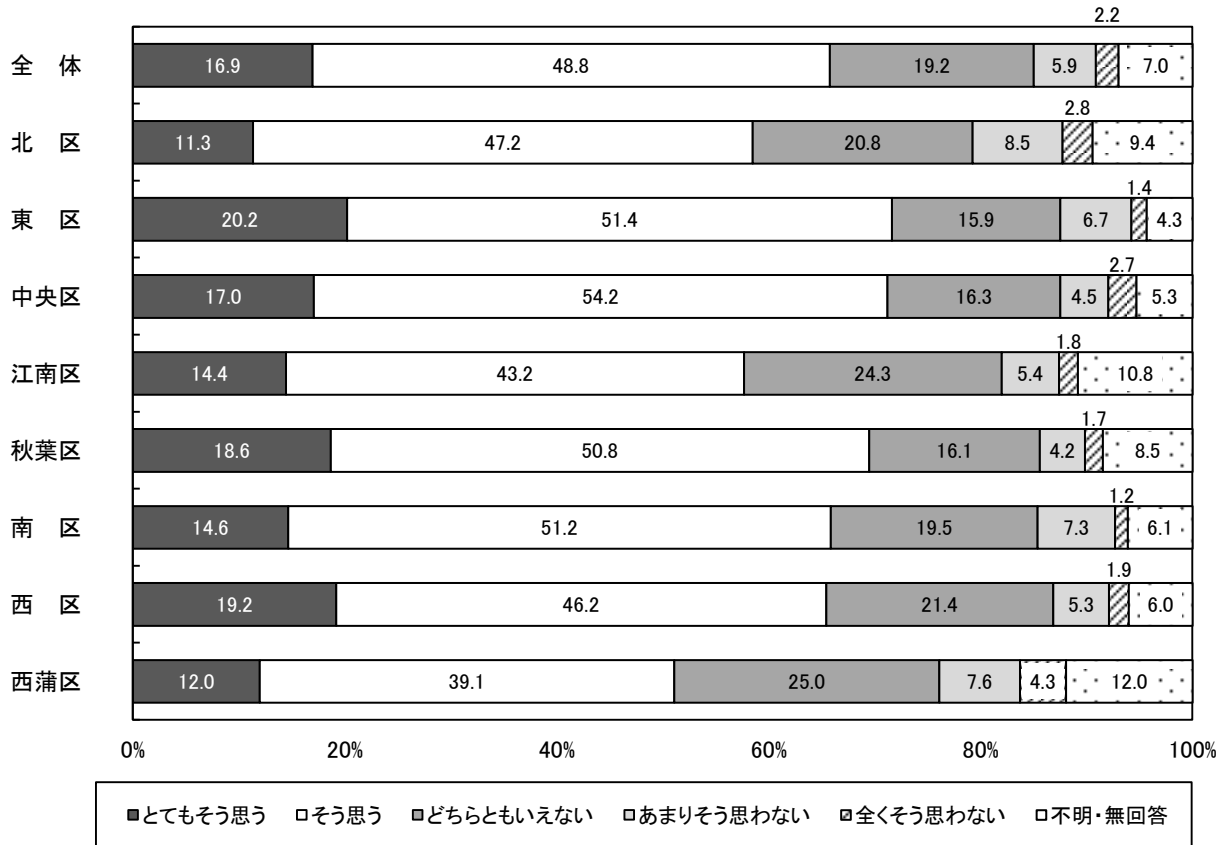
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、東区（71.6%）、中央区（71.2%）、秋葉区（69.5%）で高く、西蒲区（51.1%）で最も低くなっている。

図 3.12-9 家族との食事に対する意識  
 [家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、  
 栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある]（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

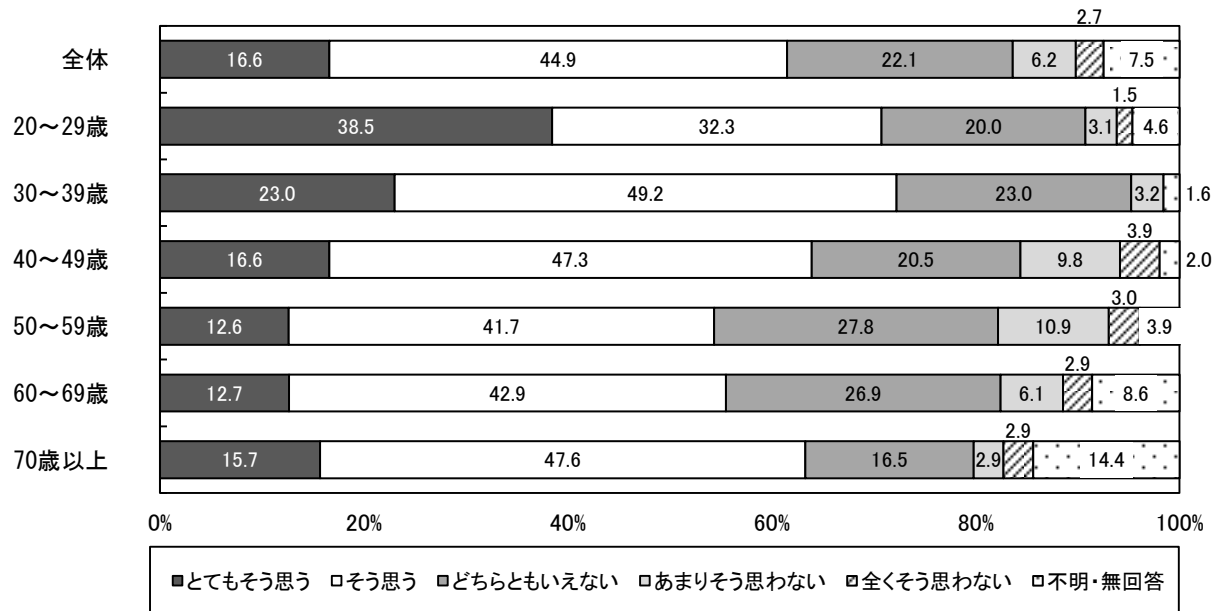
## オ) 健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である

## 【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(72.2%)で最も高く、50歳代(54.3%)で最も低くなっている。

図 3.12-10 家族との食事に対する意識〔健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である〕

(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男 性	542	23	50	92	93	113	171	0
女 性	689	42	76	111	136	129	195	0

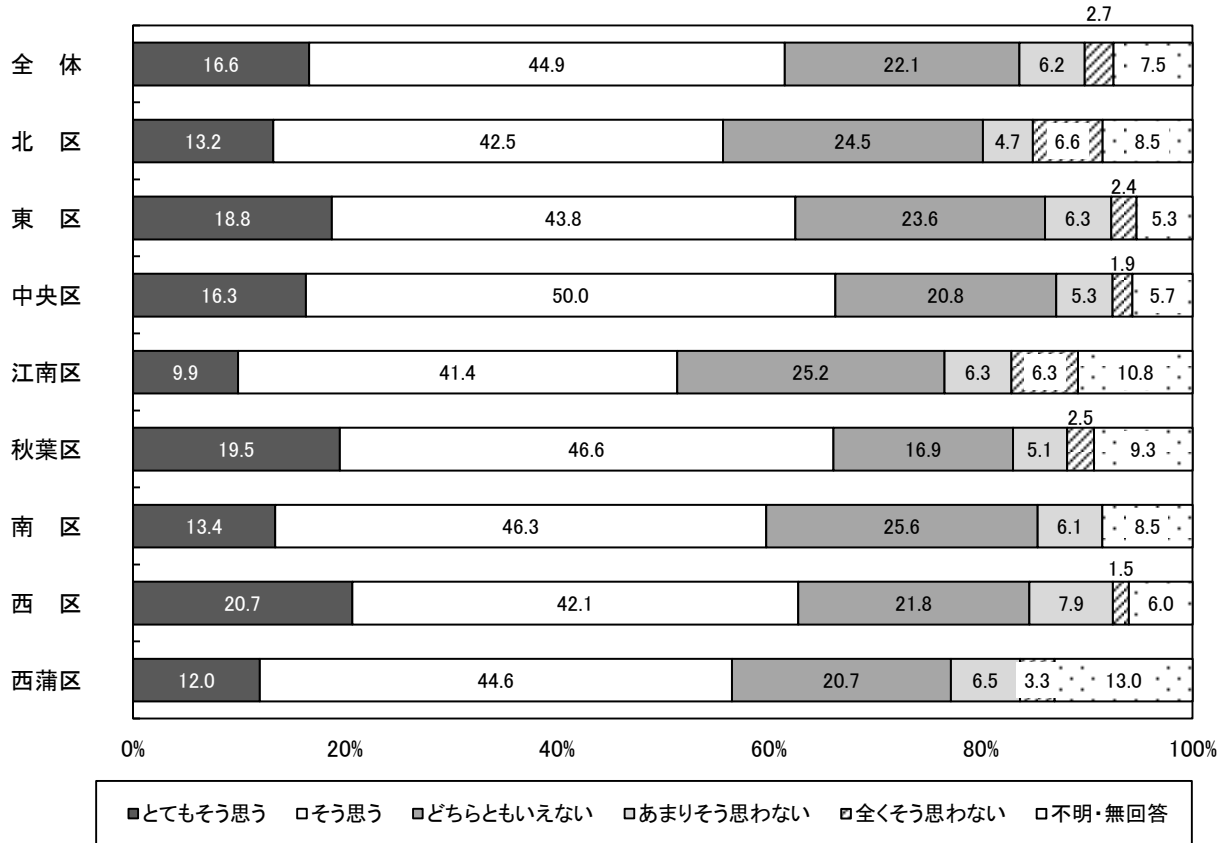
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、中央区（66.3%）、秋葉区（66.1%）で高く、江南区（51.4%）で最も低くなっている。

図 3.12-11 家族との食事に対する意識〔健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である〕  
(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。



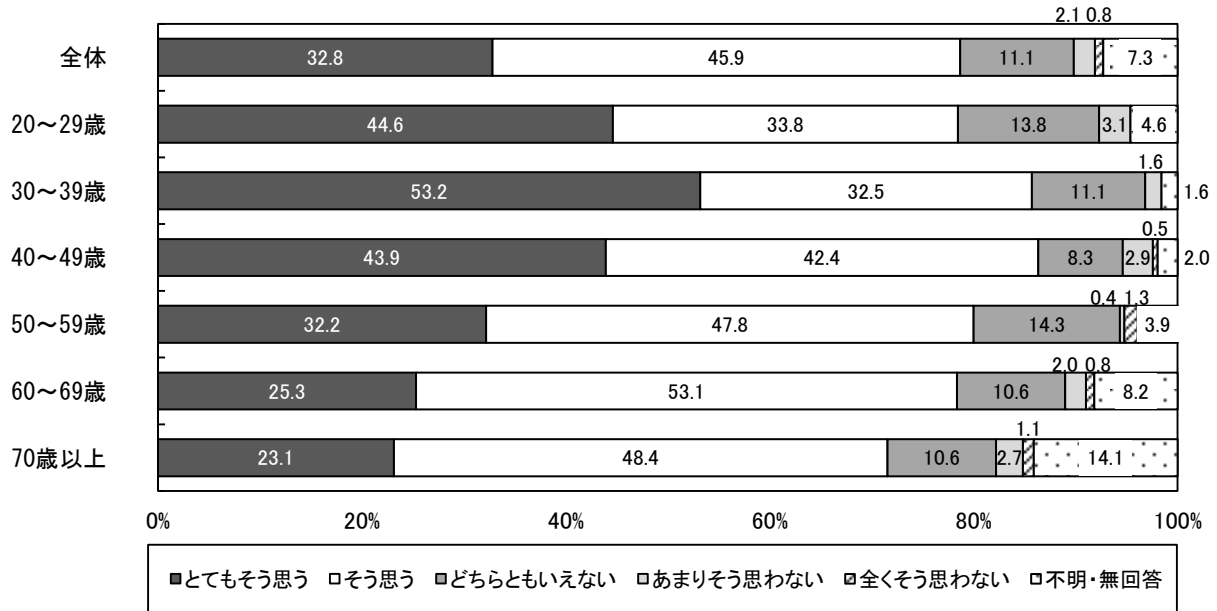
## カ) 家族と一緒に食事をするのは楽しい

## 【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(85.7%)と40歳代(86.3%)で高く、70歳以上(71.5%)で最も低くなっている。

図 3.12-12 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をするのは楽しい〕

(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

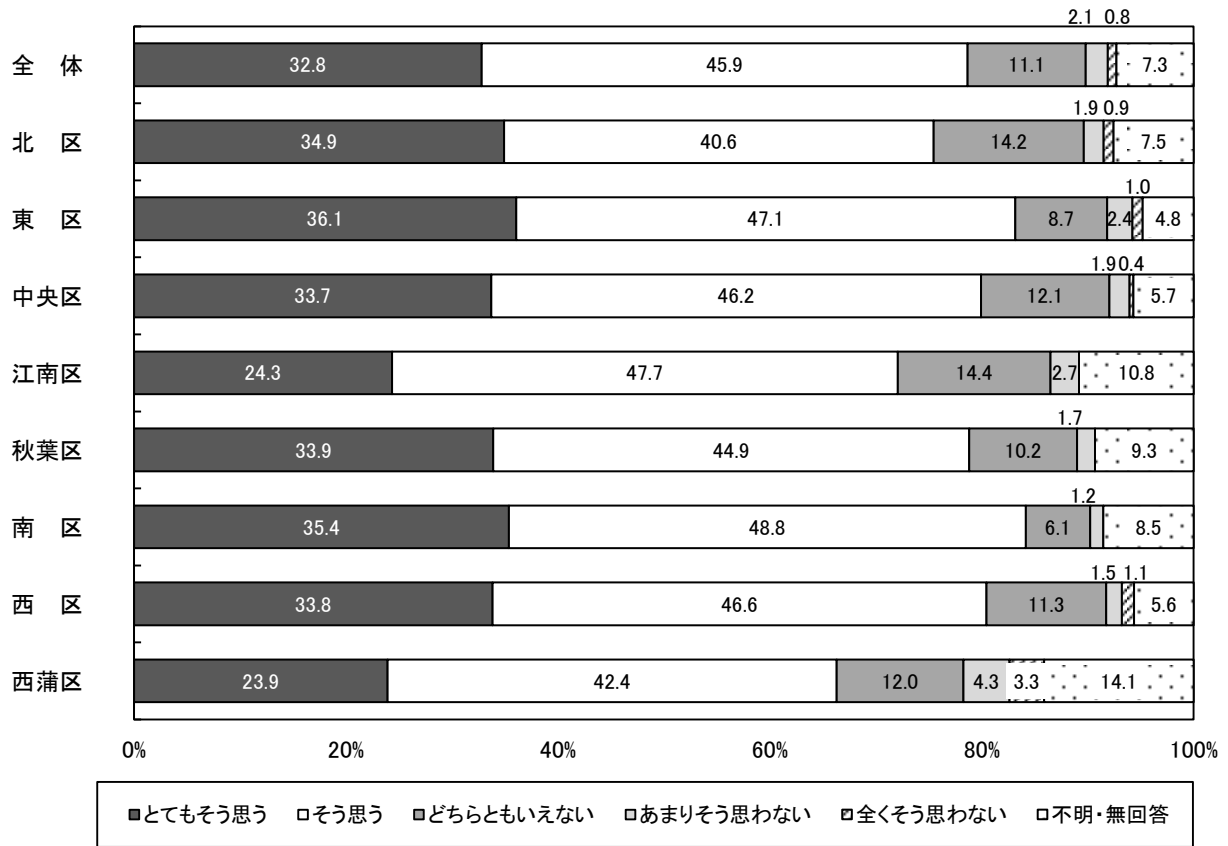
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、南区 (84.1%) で最も高く、西蒲区 (66.3%) で最も低くなっている。

図 3.12-13 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をするのは楽しい〕(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

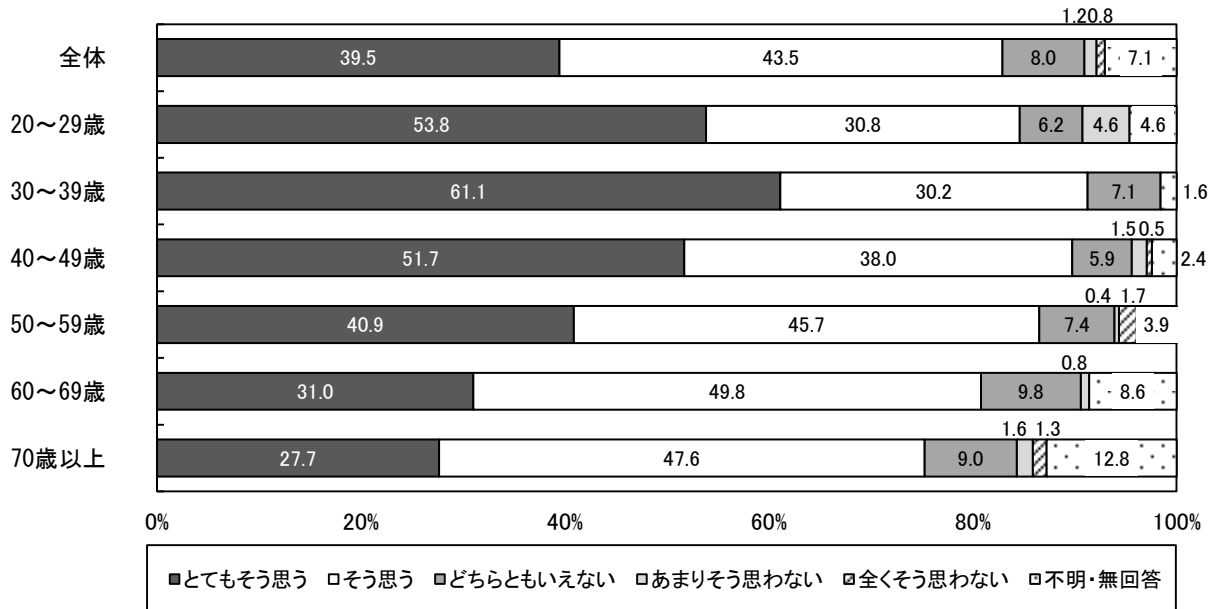
## キ) 家族と一緒に食事をすることは重要である

## 【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(91.3%)で最も高く、70歳以上(75.3%)で最も低くなっている。

図 3.12-14 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をすることは重要である〕

(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,247	65	126	205	230	245	376	0
男性	542	23	50	92	93	113	171	0
女性	689	42	76	111	136	129	195	0

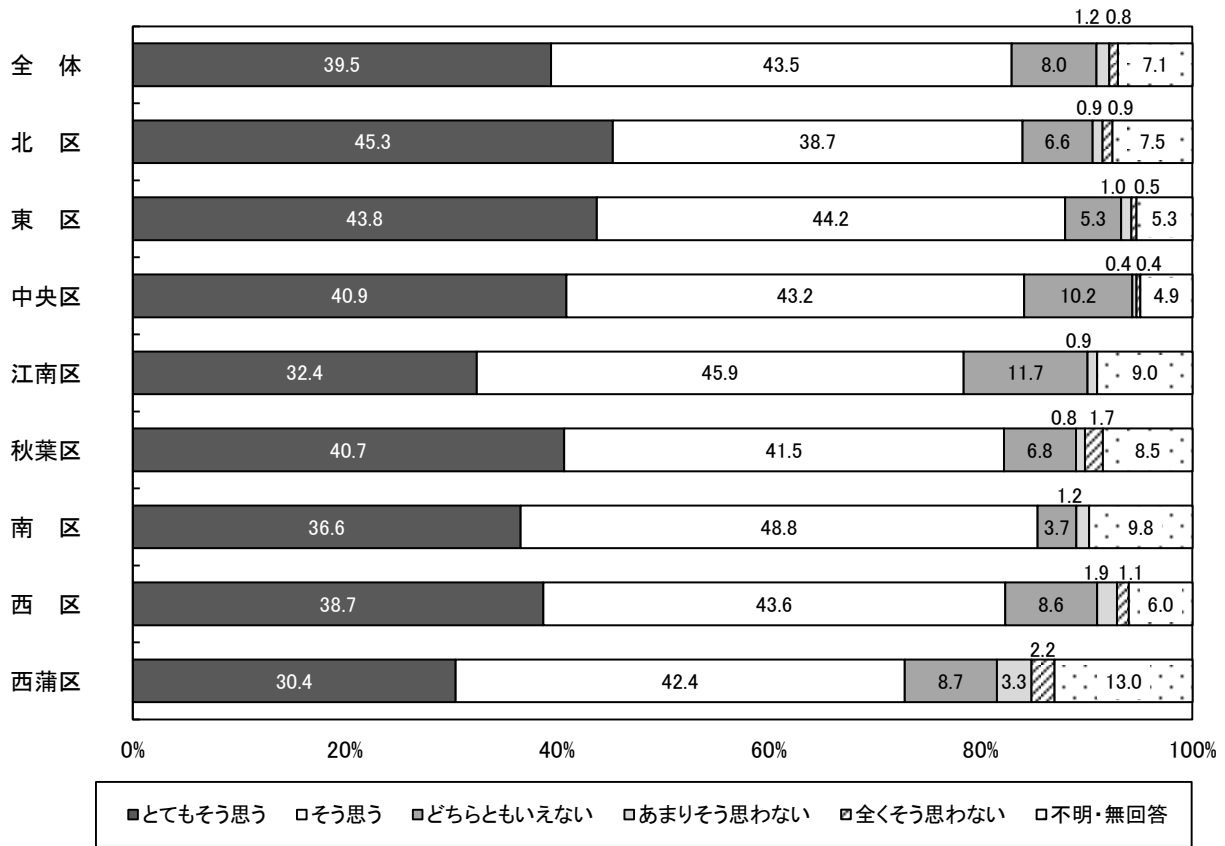
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、東区(88.0%)で最も高く、西蒲区(72.8%)で最も低くなっている。

図 3.12-15 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事することは重要である〕(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,247	106	208	264	111	118	82	266	92	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

## (13) ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度

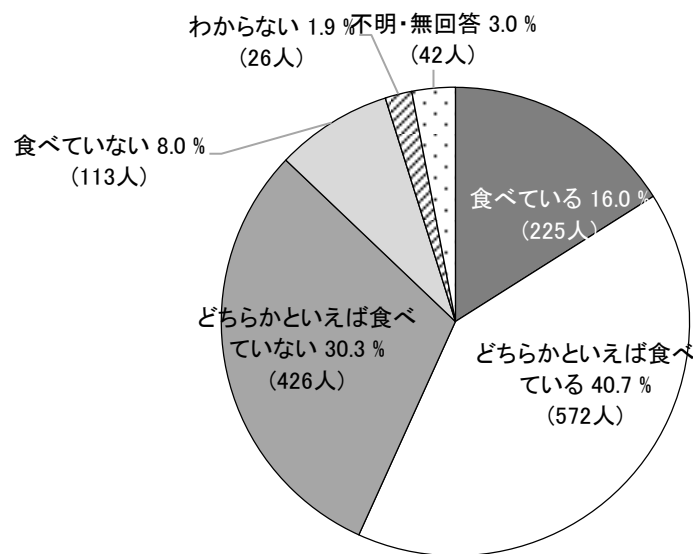
問21 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで味わって食べていますか。(○は1つだけ)

6割弱が「食べている」「どちらかと言えば食べている」と回答

「食べている」(16.0%)、「どちらかと言えば食べている」(40.7%)と回答した人を合わせた割合は6割弱(56.8%)となっている。

一方、「どちらかと言えば食べていない」(30.3%)、「食べていない」(8.0%)と回答した人を合わせた割合は4割弱(38.4%)となっている。

図 3.13 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度



【性別・年齢別】

「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した人を合わせた割合は、70歳以上（73.6%）で最も高く、30歳代（45.2%）で最も低くなっている。

性別では、「食べている」「どちらかといえば食べている」を合わせた割合は、20歳代を除く、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 3.13-2 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（年齢別）

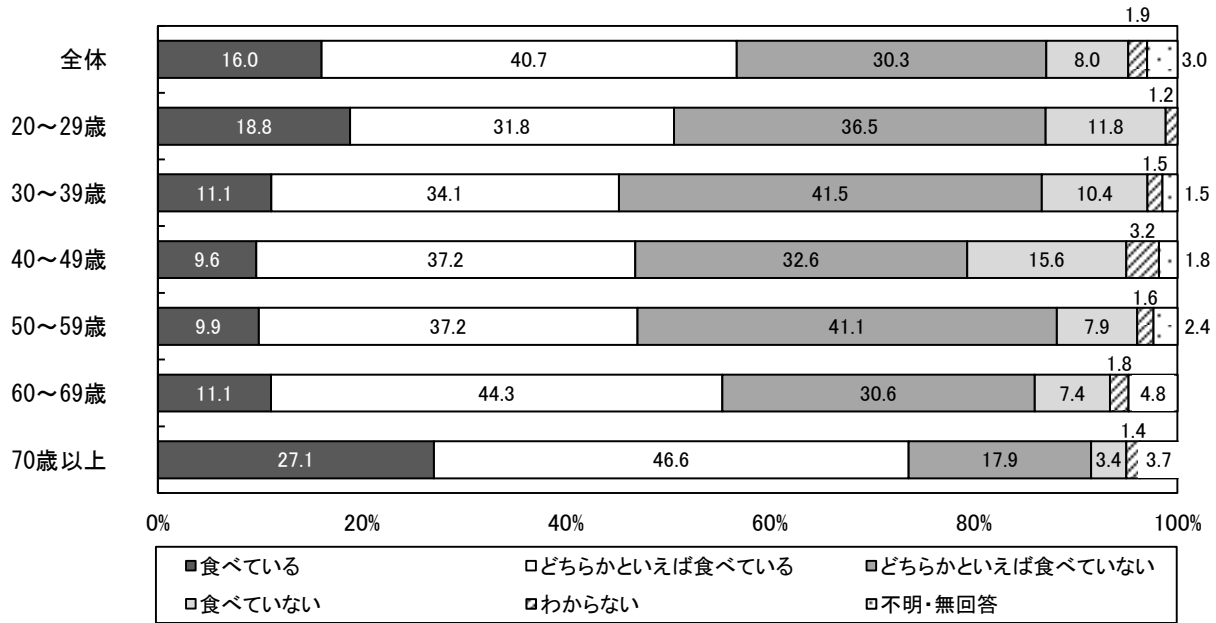
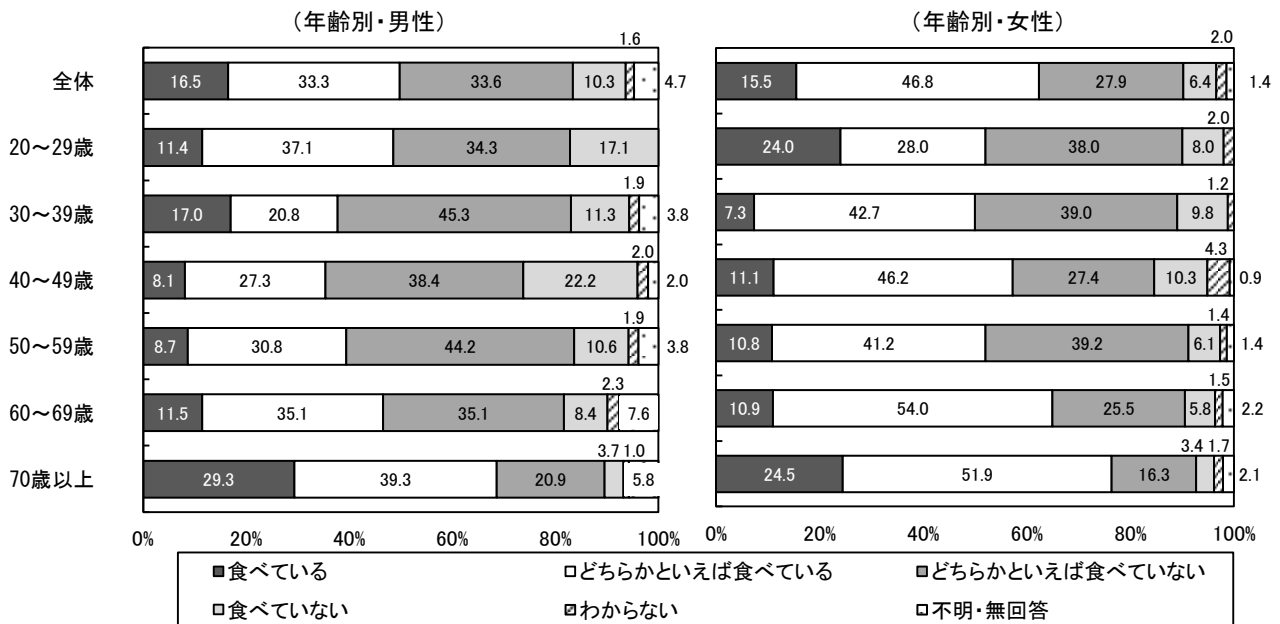


図 3.13-3 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

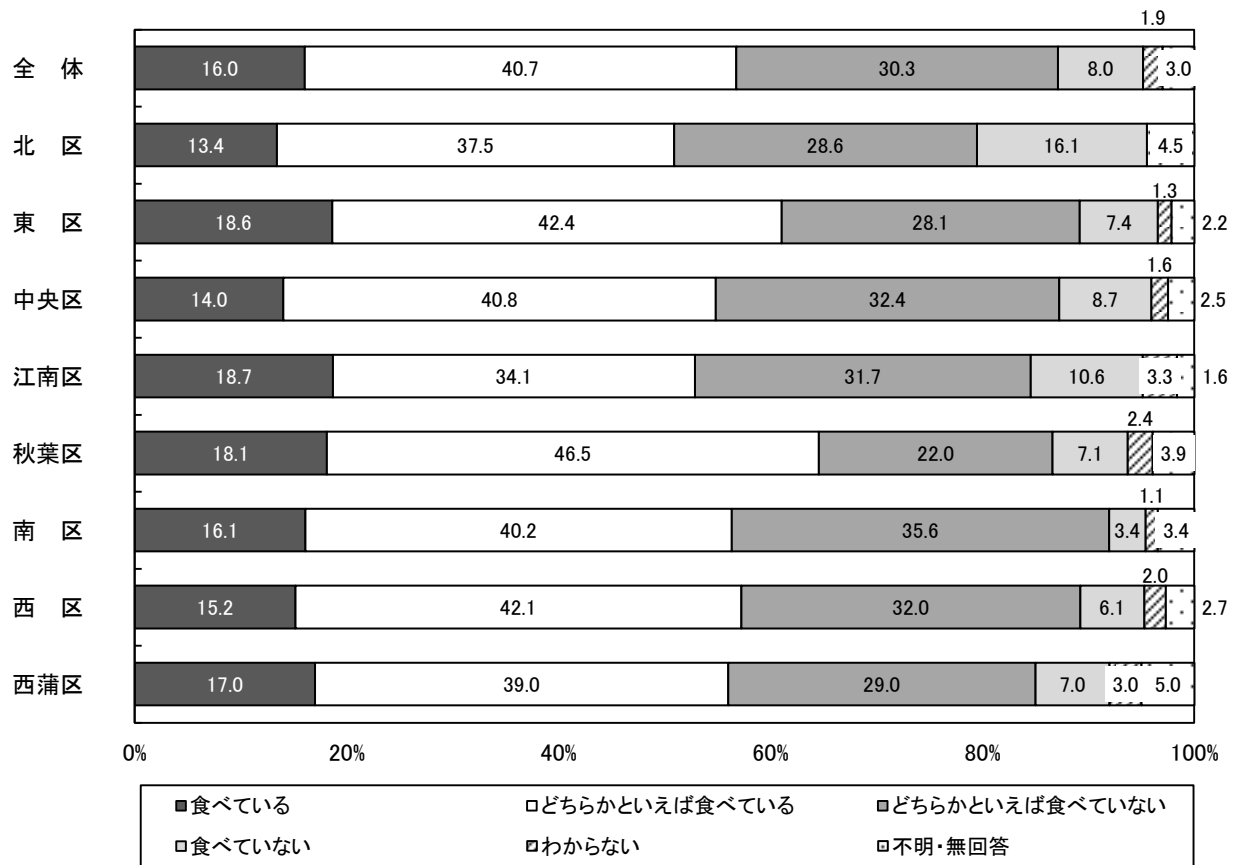
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した人を合わせた割合は、秋葉区（64.6%）で最も高く、北区（50.9%）で最も低くなっている。

図 3.13-4 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

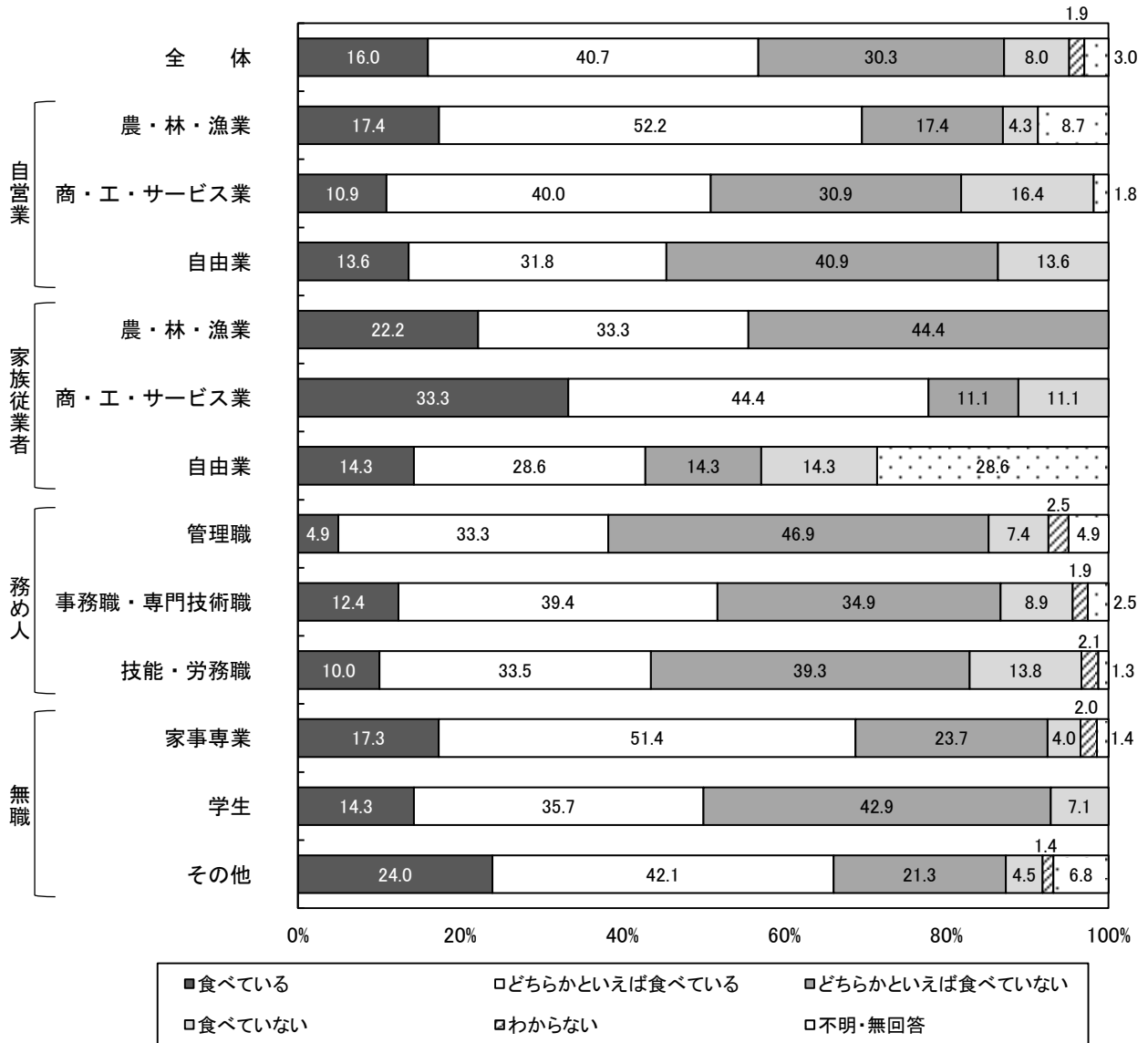
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.13-5 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

(人)

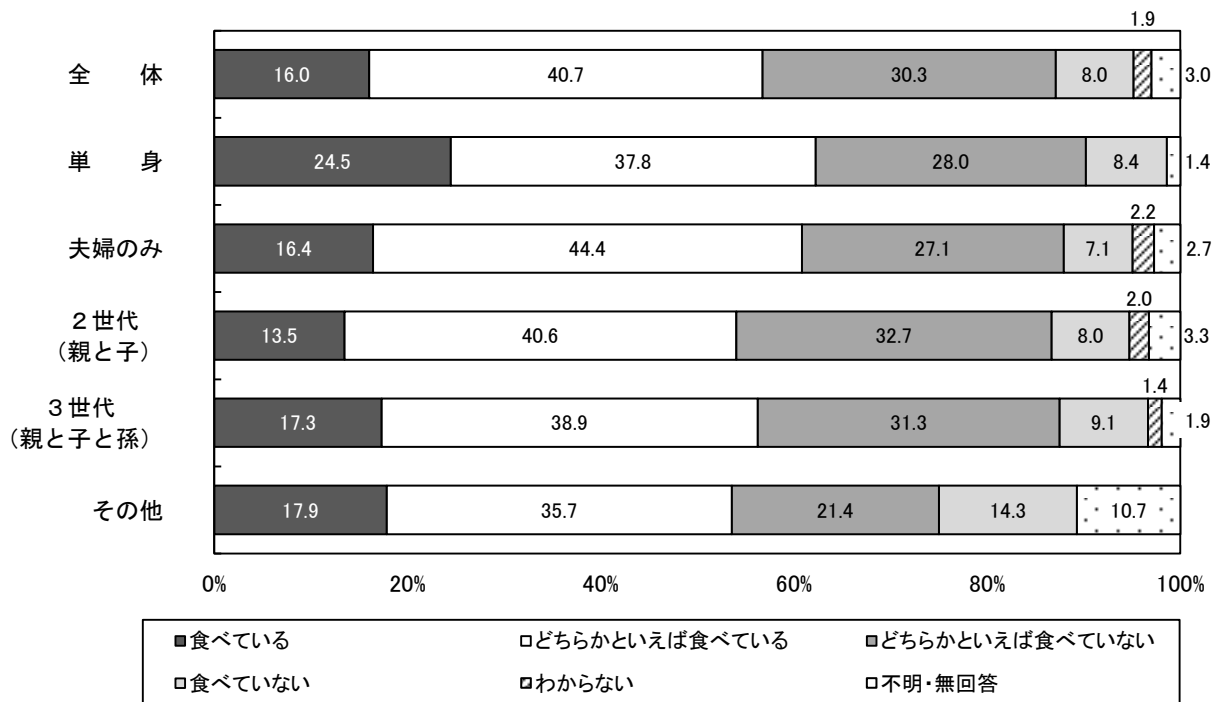
※無回答者のグラフは省略した。



【家族構成別】

「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した人を合わせた割合は、単身（62.2%）で最も高くなっている。

図 3.13-6 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

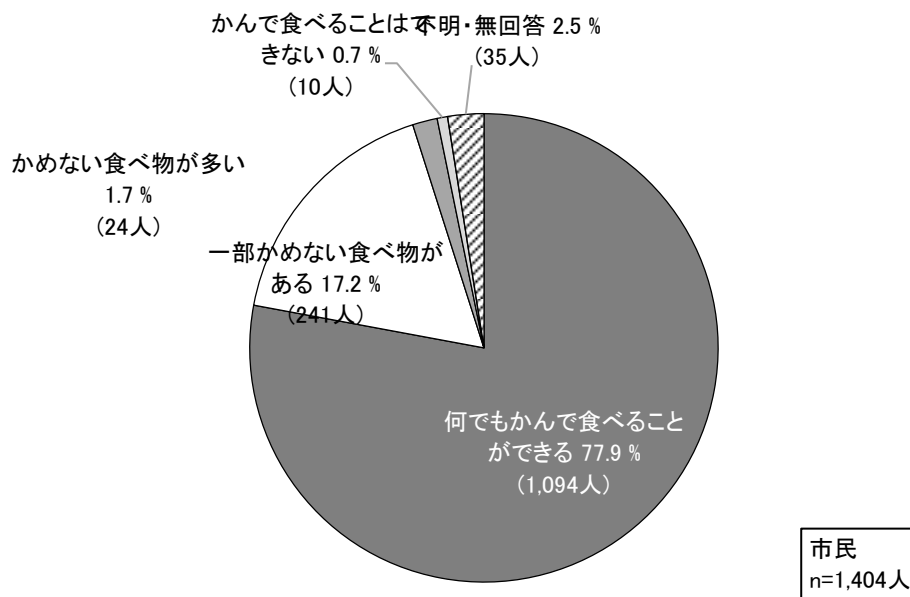
## (14) かんで食べる時の状態

問22 かんで食べる時の状態についてあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。  
(○は1つだけ)

8割弱が「何でもかんで食べることができる」と回答

「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合は8割弱 (77.9%) となっている。以下「一部かめない食べ物がある」(17.2%)、「かめない食べ物が多い」(1.7%)、「かんで食べることはできない」(0.7%) となっている。

図 3.14 かんで食べる時の状態



【性別・年齢別】

各年代とも、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっており、30歳代(93.3%)で最も高く、70歳以上(63.8%)で最も低くなっている。「一部かめない食べ物がある」は60歳代で約2割、70歳以上で3割弱となっている。

図 3.14-2 かんで食べる時の状態 (年齢別)

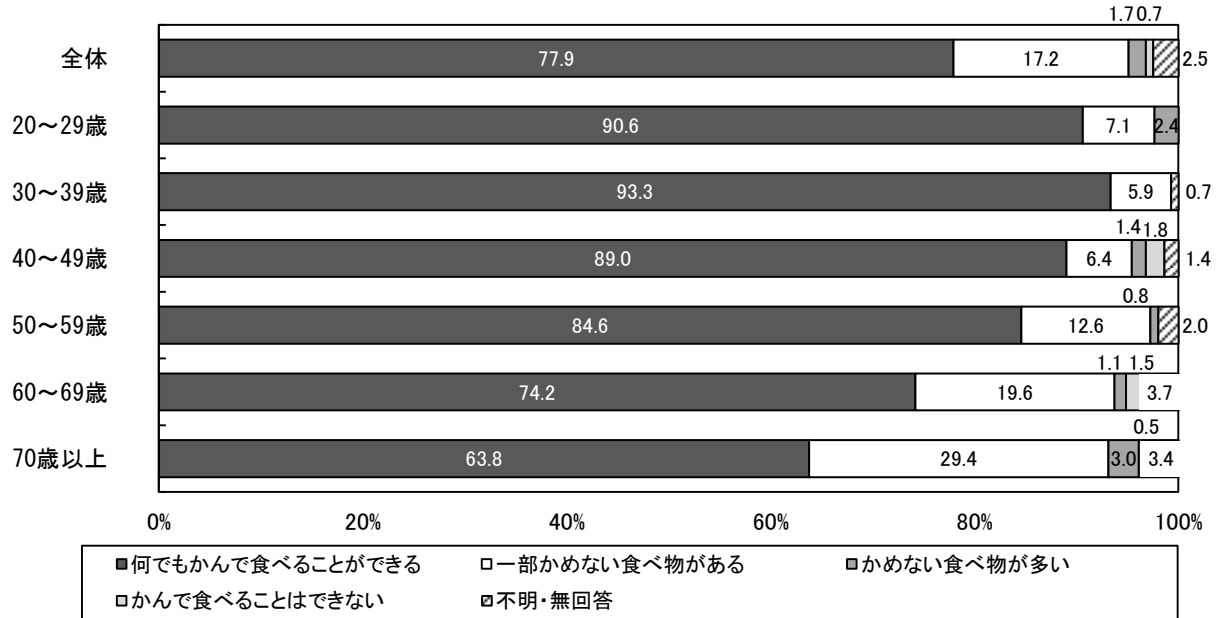
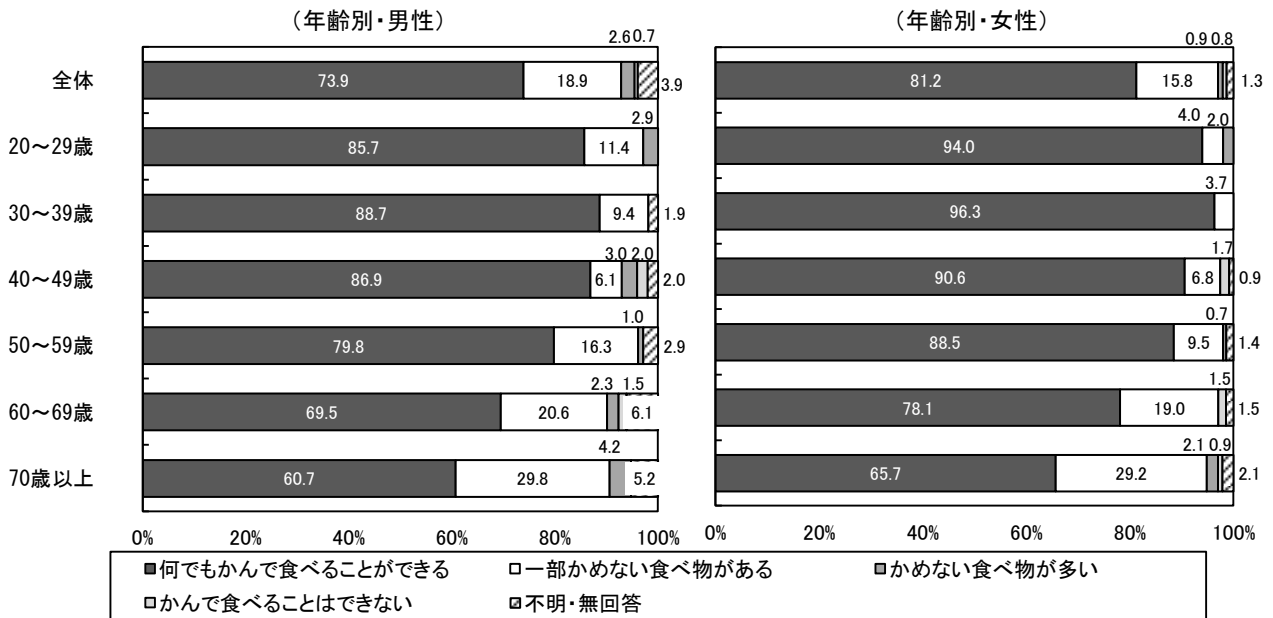


図 3.14-3 かんで食べる時の状態



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

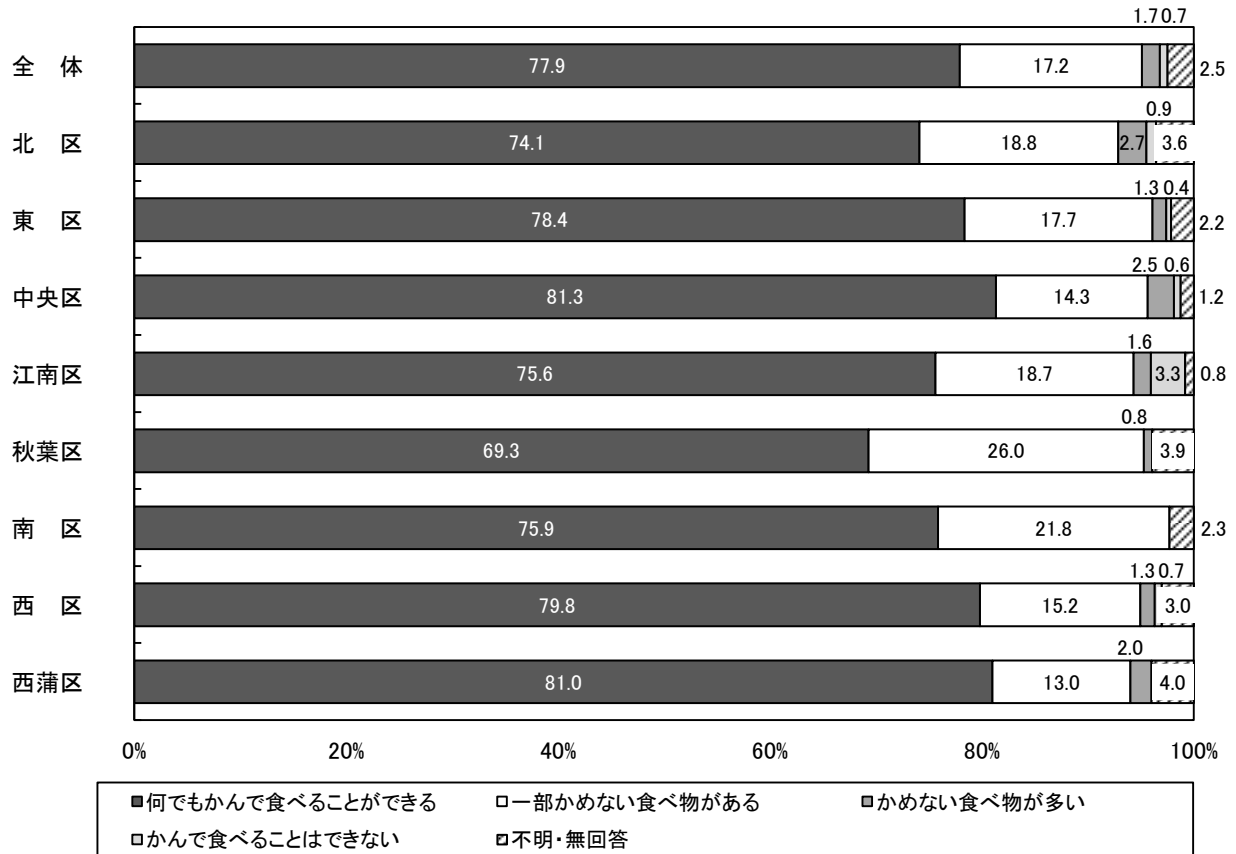
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

各地区ともに、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっている。秋葉区では「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が7割弱にとどまり、「一部かめなない食べ物がある」が3割弱で、他の地区と差がみられる。

図 3.14-4 かんで食べる時の状態（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

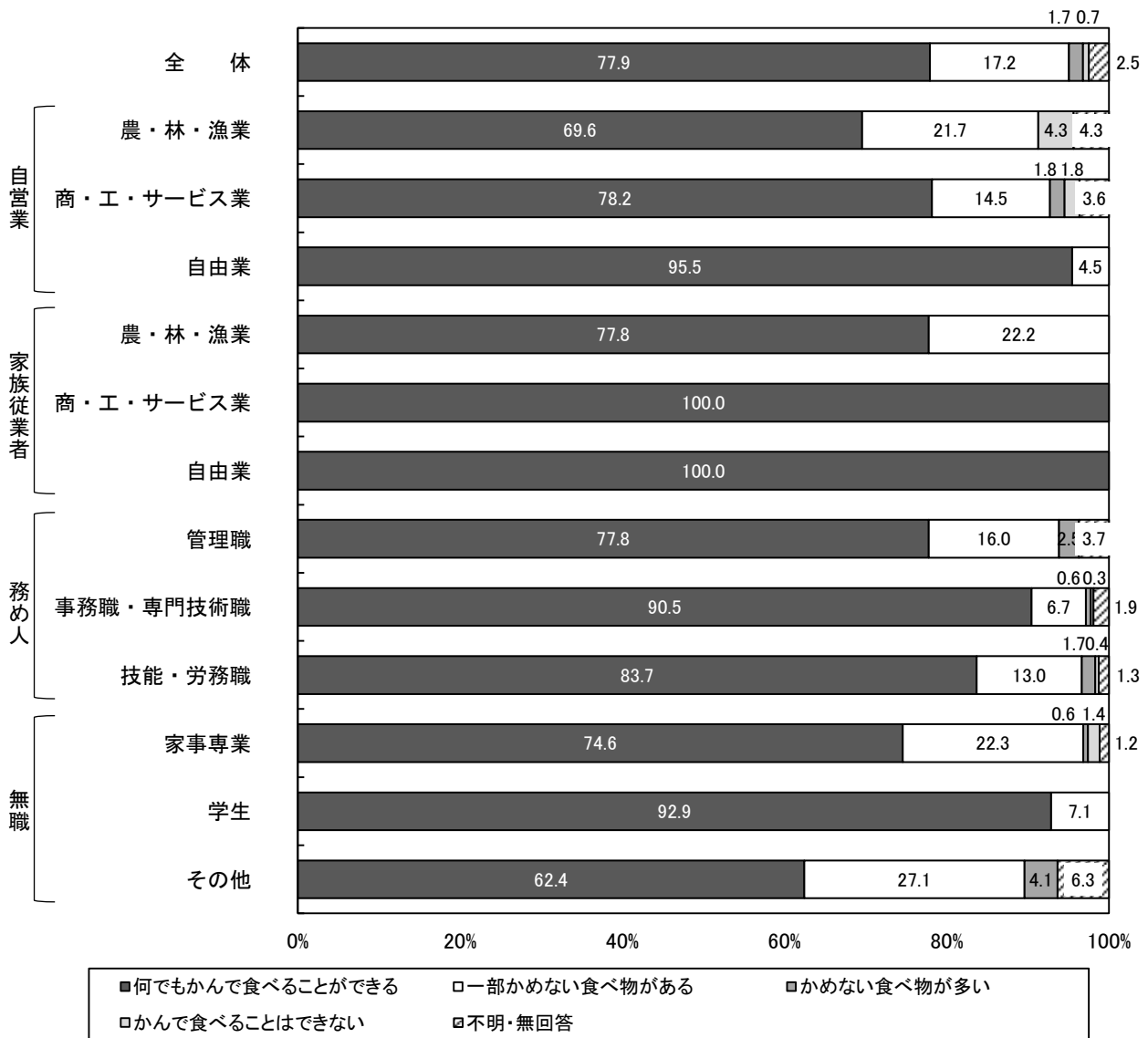
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.14-5 かねで食べる時の状態（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

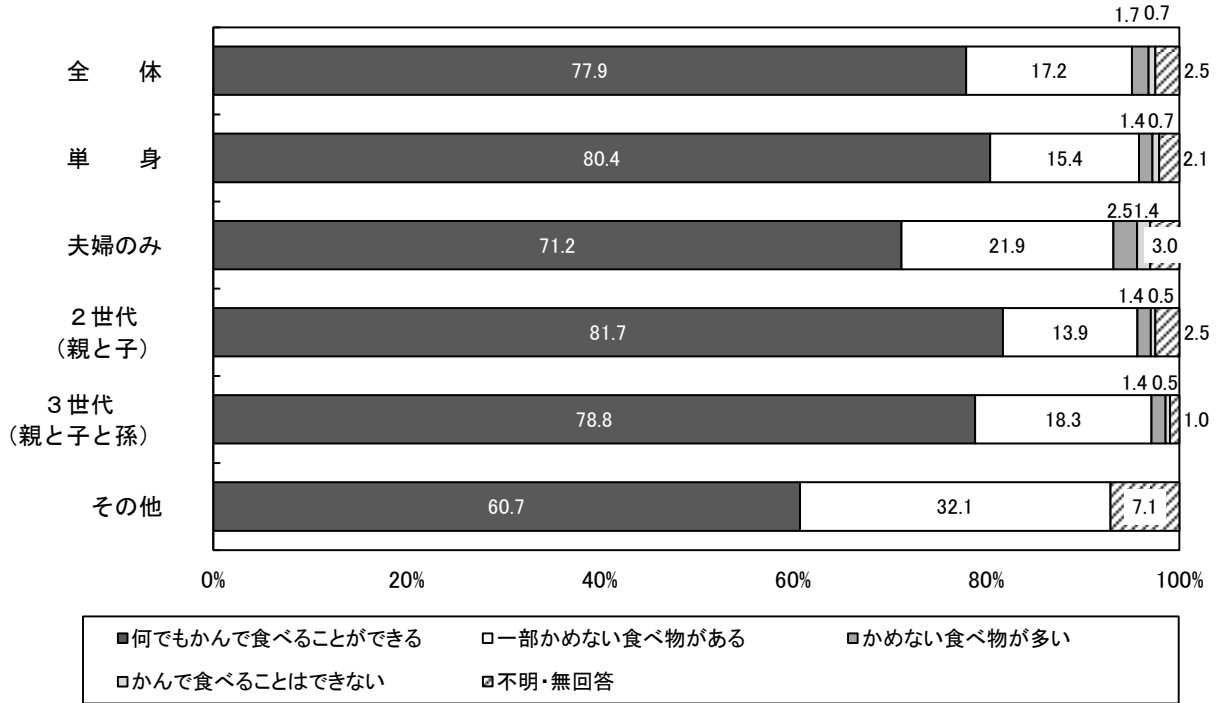
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

すべての家族構成で、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 3.14-6 かんで食べる時の状態（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。